

# 参考資料集

## 目次

岐阜市立女子短期大学（岐女短）の現状	2
人口動態・進学動向	27
男女別の進学・就業状況	45
労働力人口・採用動向	61
求められる能力や学問分野	73
地域連携・機関間連携	90

# 岐阜市立女子短期大学（岐女短）の現状



**住所**：岐阜市一日市場北町7番1号 23,077m<sup>2</sup> R5.5.1現在

**学生数**：374名（1年生170 2年生204） ※定員430名（1年生200、2年生230）

**教員数**：35名（学長1 教授9 准教授10 講師10 助教1 助手4）

**職員数**：22名（一般職11 会計年度任用職11）

**学科数**：3学科

**学費**：入学料 市内生169,200円、市外生302,100円  
授業料 年額 390,000円

**設備・施設等**：

- ・講義棟1 実習棟1 研究棟1 運動場2 体育館1
- ・附属図書館1 学生ホール1

**交通アクセス**：JR岐阜駅からバス、タクシーで約20分



## 1946年 岐阜女子専門学校としてスタート

(英文科・生活科・被服科)

1949年 岐阜専門学校に改称

1950年 岐阜短期大学 設置

生活科と被服科を家政科に統合

1954年 岐阜女子短期大学に改称

1955年 家政科を改組して生活科と被服科に変更

1969年 英文科を英文学科、生活科を**食物栄養学科**、被服科を被服学科に変更

## 1988年 岐阜市立女子短期大学に改称

## 2000年 キャンパス移転、1学科を新設・名称変更

国際文化学科を新設、

英文学科を**英語英文学科**、被服学科を**生活デザイン学科**に変更

## 2023年 3学科に変更

国際コミュニケーション学科、健康栄養学科、デザイン環境学科

# 岐女短の沿革と社会背景の変化

岐阜女子専門学校（現 岐阜市立女子短期大学） 設立理由書（昭和21年3月文部省提出添付書類） 《抜粋》

「今や戦後日本建設の力として期待するものは、実に女子なり。  
女子の力を期待する以上、女子教育の向上発展を企図せざるべからず。」

## 岐阜市立女子短期大学の沿革

- 1946年（S21）  
東海地区最初の公立女子専門学校として  
岐阜女子専門学校設置
- 1949年（S24）  
岐阜専門学校に改称（男女共学）
- 1950年（S25）  
岐阜短期大学に移行
- 1954年（S29）  
岐阜女子短期大学に改称（女子）
- 1988年（S63）  
「岐阜市立女子短期大学」に改称

女子短期大学となった1954年（昭和29年）と直近2023年（令和5年）の比較

	1954年（S29）	2023年（R5）
女子の大学短大進学率	4.6%	60.6%
男女の大学短大進学率の差 （女子進学率：男子進学率）	1：3.3 （4.6%：15.3%）	1：1.02 （60.6%：61.6%）
別学共学比率（大学） （別学：共学）	1：4.3 （43校：184校）	1：9.7 （73校：710校）
別学共学比率（短大） （別学：共学）	1：0.85 （136校：115校）	1：2.7 （80校：215校）

文部科学省「学校基本調査」より作成



## 教育目標

社会において、一人ひとりが、生きたいと思う人生を描き、実現するために、

- ・ 多様な価値観を許容する力
- ・ 自分、身近な人、地域にとって何が必要かを考え、新たな価値を見出す力
- ・ 共感と協調に基づく人間力を涵養する教育を行う。

## 設置学科と専門領域

### 国際コミュニケーション学科

【現代社会領域】 【文化交流領域】 【英語領域】 【東アジア言語領域】

### 健康栄養学科

【医療・福祉領域】 【食環境領域】

### デザイン環境学科

【ファッション領域】 【建築・インテリア領域】 【ヴィジュアル・情報領域】



## 【領域】 現代社会、文化交流、英語、東アジア言語

### 教育目標

グローバルな視点を養いつつ、地域社会に根差した実践教育を通じ、さまざまな文化的背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションを取りながら協働して地域の魅力を高め、よりよい地域・社会をつくっていく際に中心的な役割を果たすことのできる人材の養成

### 【特色】

- ・ 4つの領域から、地域社会に根ざした多様な学びを選べる
- ・ ネイティブスピーカー教員による外国語授業で、コミュニケーション力UP！
- ・ 日本国内の多文化共生にも目を向け、自ら課題を見つけ解決する力を磨く



資格取得

TOEIC、実用英語技能検定  
中国語検定、HSK（漢語水平考試）  
韓国語検定、TOPIC（韓国語能力試験）  
情報処理検定 など



## 【領域】 医療・福祉、食環境

### 教育目標

少子・超高齢社会の現代における諸問題の解決に必要な知識とスキルを身につけ、地域の食環境を生かした食の力で、地域住民の健康寿命の延伸、生活の質（QOL）の向上に寄与し、幸せな健康長寿社会の実現に貢献できる栄養士の養成

### 【特徴】

- ・ 卒業と同時に栄養士資格取得可能
- ・ 食を通じて健康づくりに貢献できる人材を養成
- ・ 地域との交流からの多彩な学びを提供



資格取得

栄養士  
管理栄養士 受験資格  
情報処理検定 など



## 【領域】ファッション、建築・インテリア、デジタル・情報

### 教育目標

持続可能な社会の実現のため「自然環境との共生」「素材から取り組む本物志向」「人々を動かす力の向上」を軸に、デザインの思想や意義と地域産業への理解を深め、共感と協調に基づいて社会生活における諸課題を解決する能力を身につけた人材の養成

### 【特色】

- ・ 持続可能な社会の実現のため共感と協調に基づいたデザインを実践
- ・ 領域共通のデザインの基礎を学び、3領域を選択するカリキュラム
- ・ 2級衣料管理士や、一級／二級建築士(受験資格)の資格を取得可能



資格取得

2級衣料管理士（ファッション領域）  
一級／二級建築士 受験資格（建築・インテリア）  
マルチメディア検定（デジタル・情報領

色彩能力検定 など

# 岐阜市における課題 (岐阜市未来のまちづくり構想より) と岐女短での取り組み

## 岐阜市の課題

- ・人口減少
- ・社会保障費の増加
- ・公共施設の老朽化
- ・出生数が減少傾向
- ・子どもの意欲が低調
- ・高齢者の孤立や孤独の懸念
- ・健康状態に満足している人が5割程度
- ・自治会加入率が減少傾向
- ・温室効果ガス排出量・ごみ焼却量の削減が低調
- ・南海トラフ巨大地震の被害想定が深刻
- ・就業者1人当たり総生産は県平均より低水準
- ・創業比率が中核市平均や全国平均より低水準
- ・人口集中地区の人口密度が低下傾向
- ・空き家が増加

## まちづくりの基本的な考え方

### ■ オール岐阜のまちづくり

- 市民一人ひとりが主役のまちになる！
- 「協働」がみんなの合言葉になる！
- 人を支え応援する、温かいまちになる

### ■ シビックプライドの醸成

- 新たなつながりが生まれ、多様なコミュニティが育つ！
- 一人ひとりの岐阜愛が育まれる！

### ■ DXと脱炭素化

- 暮らしを豊かにするデジタル技術の活用！
- 情報格差にも丁寧に対応！
- みんなで脱炭素化に取り組む！

### ■ 持続可能で選ばれるまち

- 誰一人取り残されないまち
- 子育てしやすく働きやすいまち

市民、企業、団体、地域、行政の異なる強みや資源を持ち寄り、一緒にアイデアを出し合い、関わり合う。そうした市民との協働や官民連携などで地域課題を解決。

→ 【自治体や周辺大学との連携事業 (SPARC、CENCER)】

→ 【市や地域への具体的貢献】

子どもや学生など若い世代もまちづくりの主役。  
若い世代も、まちをフィールドにして、起業やまちづくりに挑戦したくなる土壌。  
この岐阜の地から新しく事を成そうとする人たちを支え応援する機運を醸成。

豊かな自然環境と、新たな開発や整備の進む都市環境が融合した岐阜ならではのまちの風景や、そこでの体験が、一人ひとりのアイデンティティとして根付き、岐阜愛を育む。

→ 【岐阜学】

岐阜市がこれまでも大切にしてきた「こどもファースト」の理念に基づく幅広い子育て支援と、「ワークダイバーシティ」（多様で柔軟な働き方）の推進等による多様な雇用の創出を両輪として取り組み、「子育てしやすく働きやすいまち」を目指すことで、市内外から「選ばれるまち」につながります。

→ 【地元の進学の間】 【市外からの若者流入】  
【地元への就職・定着 (人材の供給)】

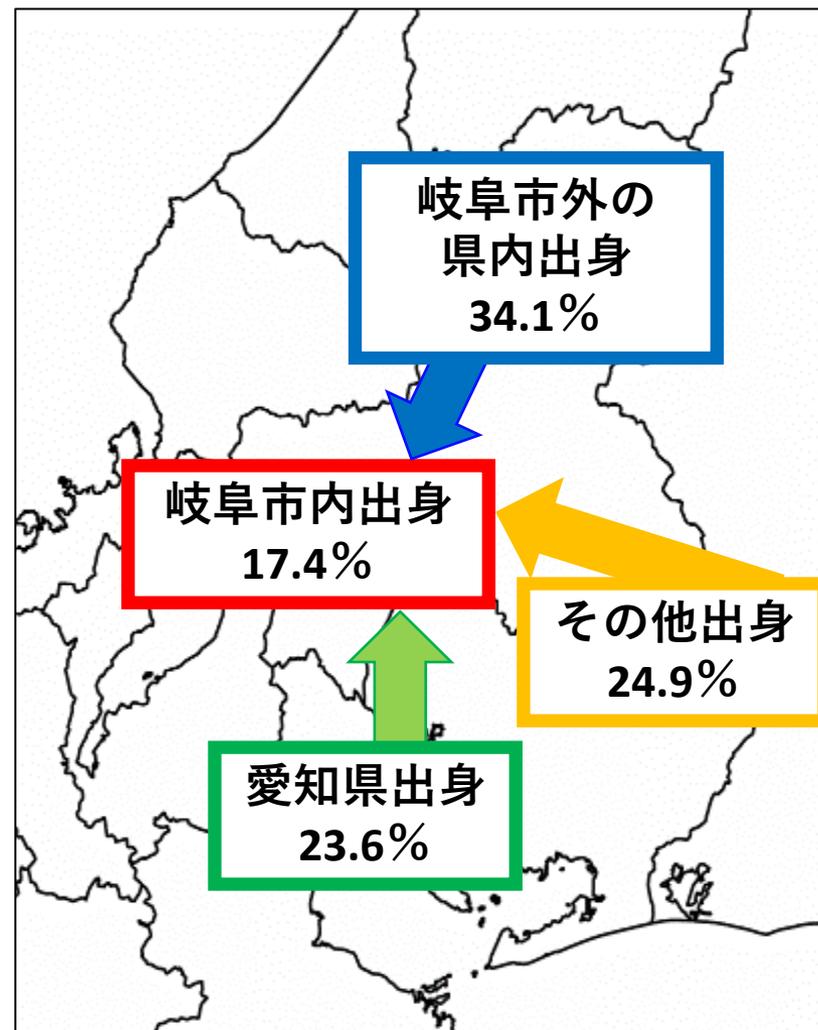
# 岐阜市における岐女短の貢献 【市外からの若者流入】

## 岐阜市への若者の流入効果

- 岐阜市の内外、県外を含む各地から学生が流入し、交流。
- ・ 岐女短の入学生のうち、市内出身者は約2割。約3割が岐阜市以外の県内、残り約半数は県外から岐阜に集まる。

上段：人数  
下段：比率

入学者 出身地	R1	R2	R3	R4	R5	合計
岐阜市内	37人 15.1%	43人 19.1%	25人 15.2%	29人 14.8%	40人 24.0%	174人 <b>17.4%</b>
岐阜県 ※市内除く	82人 33.3%	71人 31.6%	53人 32.1%	78人 39.8%	56人 33.5%	340人 <b>34.1%</b>
愛知県	66人 26.8%	58人 25.8%	39人 23.6%	44人 22.4%	29人 17.4%	236人 <b>23.6%</b>
その他	61人 24.8%	53人 23.5%	48人 29.1%	45人 23.0%	42人 25.1%	249人 <b>24.9%</b>
合 計	246人 100.0%	225人 100.0%	165人 100.0%	196人 100.0%	167人 100.0%	999人 100.0%



# 岐阜市における岐女短の貢献 【地元への就職・定着】

岐阜で学んだ人材の地元経済界への貢献と、県内外での活躍

- 入学者の割合とおおむね同程度の割合が地元で就職し、地元経済界に貢献（就職者のうち約24%が岐阜市内、約21%が岐阜市以外の県内に就職）。
- 県外就職のほか、4年制大学への進学や、海外留学を含め、「岐阜をフィールドとして」学んだ学生が内外で活躍。

## ● 過去5年間の勤務地別就職状況

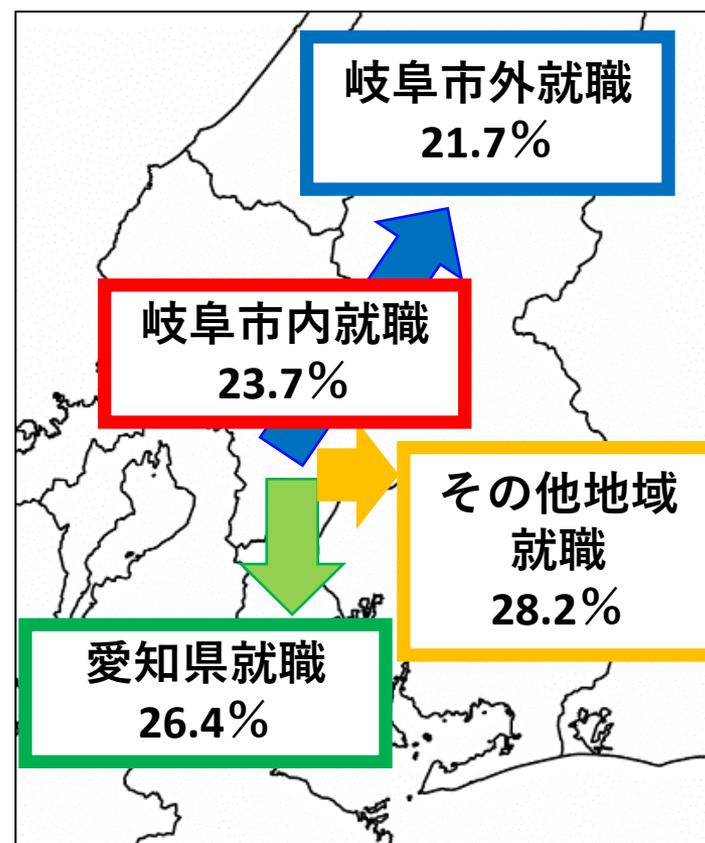
(単位:人)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	5年間の計・比率		
就職者数	199	193	176	164	112	844	100.0%	
地域	岐阜市内	44	45	43	41	27	200	23.7%
	岐阜県内 ※市内除く	41	45	42	34	21	183	21.7%
	愛知県内	62	52	41	38	30	223	26.4%
	その他	52	51	50	51	34	238	28.2%

## ● 過去5年間の地域別編入・進学等状況

(単位:人)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	5年間の計・比率		
編入・進学等	33	39	37	38	27	174	100.0%	
地域	岐阜県内	6	7	6	5	5	29	16.7%
	愛知県内	10	13	18	18	7	66	37.9%
	その他	17	19	13	15	15	79	45.4%



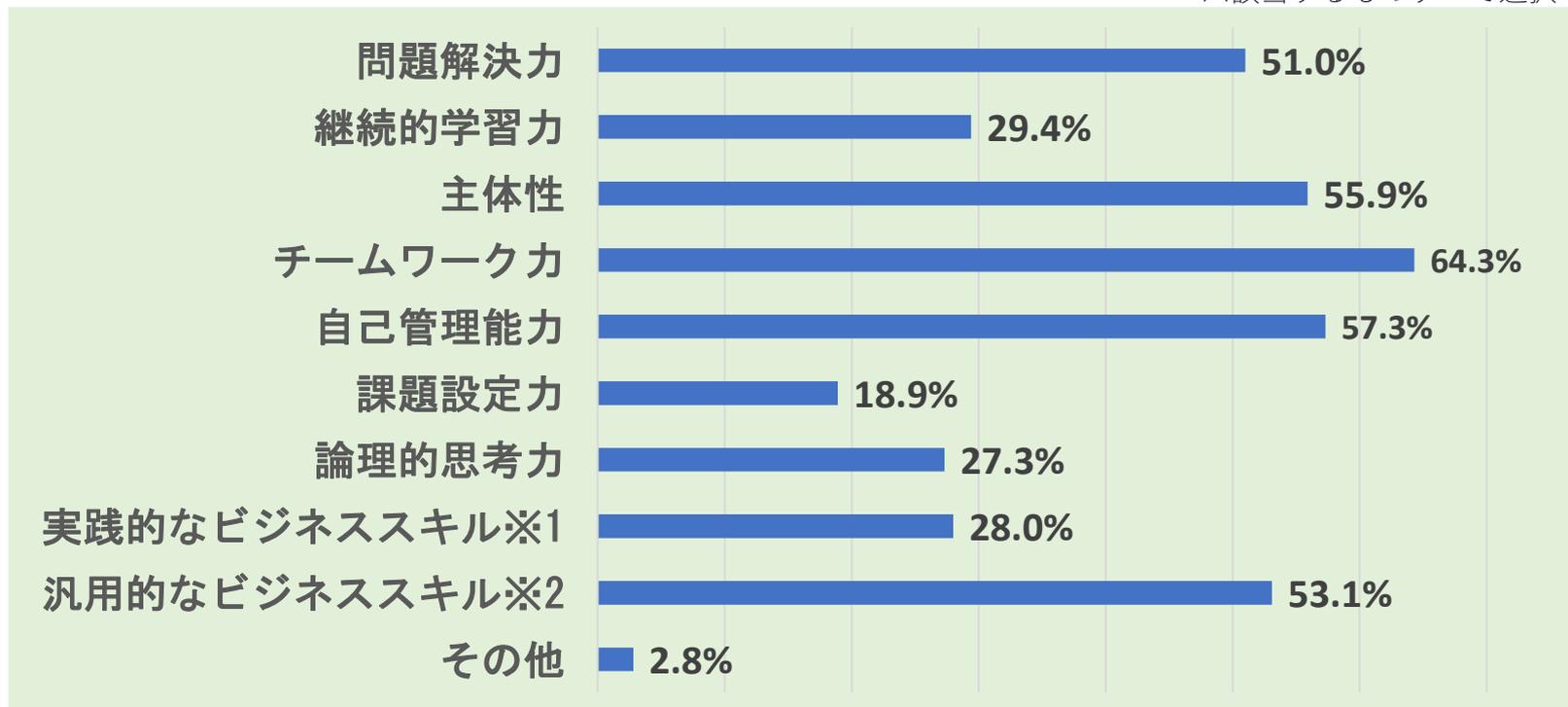
# 岐阜市における岐女短の貢献 【市や地域への具体的貢献】

地元企業が本学学生に期待する「チカラ」を地域連携活動で修得

- 「チームワーク力(64.3%)」が最も高く、
- 次いで「自己管理能力(57.3%)」が高い。

Q.学校で取得してほしいスキルを教えてください。

※該当するものすべて選択



※1 就職先で役立つ専門資格等

※2 コミュニケーション、マナー等

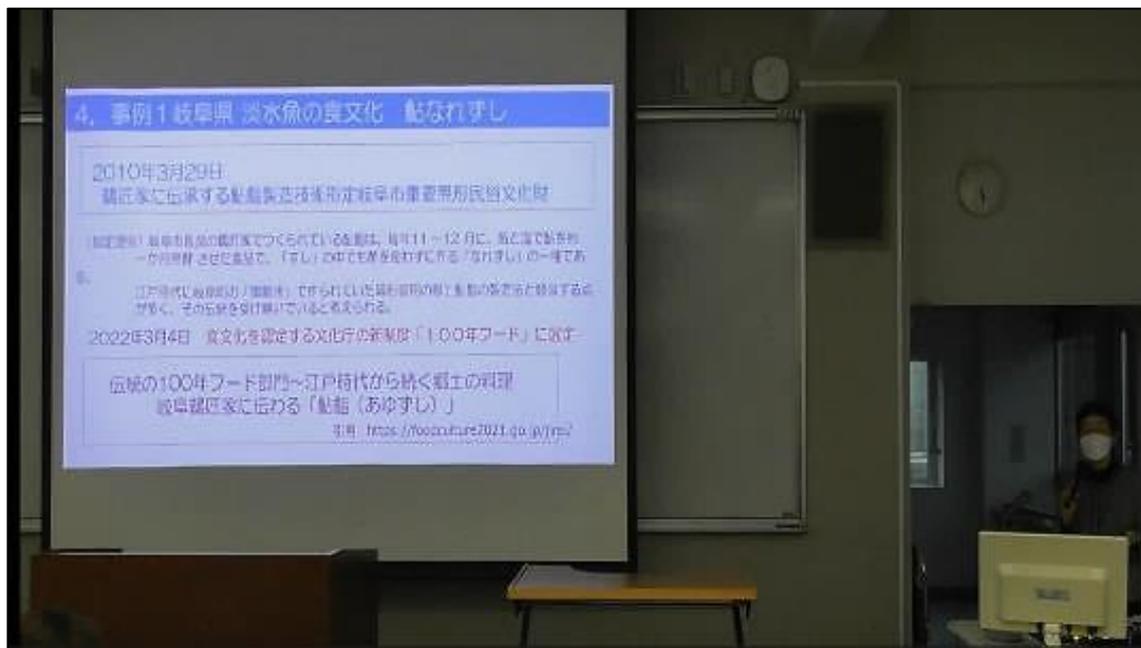
【出典：岐阜市立女子短期大学あり方検討に関するアンケート調査結果】

調査期間R3.12.1～12.17 岐阜圏域の400社 有効回答率36%

## 地元への理解醸成の取組と、教員・学生による地域貢献①

- 専門知識・技術を、岐阜という地域をフィールドに実践することを通じ、学生の地元への理解を醸成するとともに、学修と連動した地域貢献。

### ・岐阜学（R5前期からの取組み）



### 岐阜学入門（1年前期）

【目的】 岐阜の基礎知識の修得、“デザイン思考”のトレーニング、学科の学びと岐阜の繋がり意識づけ

- ① テーマに基づいた講義を受講
- ② 受講後、講義から分かったこと、テーマの課題について、指定する4つの観点(倫理面、科学面、その組合せ)から考察し、考えをまとめてレポートを提出。

- 【課題内容】
- ① ガイダンス・デザイン思考
  - ⑥～⑧ 岐阜の観光・国際化
  - ⑬ 暮らし（ジェンダー）
  - ⑮ 世界農業遺産

- ②～⑤ 岐阜の食文化と食物
- ⑨～⑫ 岐阜の産業と暮らし
- ⑭ 岐阜における環境共生

## 地元への理解醸成の取組と、教員・学生による地域貢献②【CeNCER】

- 専門知識・技術を、岐阜という地域をフィールドに実践することを通じ、学生の地元への理解を醸成するとともに、学修と連動した地域貢献。

### ・企業等との連携(CeNCER事業)



モレラ岐阜(商業施設)の通路デザインを、企業と企画。一般来場者とワークショップ形式(SDGs啓発、廃材活用)で壁面を作成。



養老町特産ブランド新商品共創ワークショップに参加。地元企業と意見交換、「養老サイダープリン」の販売促進やパッケージデザインを企画提案。

### ・市民への公開講座(R5年度講座)

- 【リカレント講座】心豊かに生きるための日本文学講座、女性のための健康栄養講話 など
- 【資格試験対策講座】販売士検定、中国語検定、TOEIC対策、管理栄養士国家試験 など
- 【ワークショップ】簡単に作れるこども服、土壁アートを作って家に飾ろう

# 岐阜市における岐女短の貢献 【自治体や周辺大学との連携事業②】

## 地元への理解醸成の取組と、教員・学生による地域貢献③【SPARC】

- 専門知識・技術を、岐阜という地域をフィールドに実践することを通じ、学生の地元への理解を醸成するとともに、学修と連動した地域貢献。

(岐阜大学・中部学院大学と協働)

### ● SPARC事業への期待

#### 短期的改革加速

岐阜学、データインス、連携開設科目で内容高度化

#### CeNCERの充実

地域ラボとの連携、大学間連携の継続化

#### 教職員の能力向上

共同研修、教職員の交流機会の増

#### 編入学の体制

短大→大学の新たな学び

地域ラボを舞台として地域課題PBL科目(岐阜学)  
地域ラボを中心とした販わい創出  
高大接続事業、リカレント教育事業



### 地域ラボ

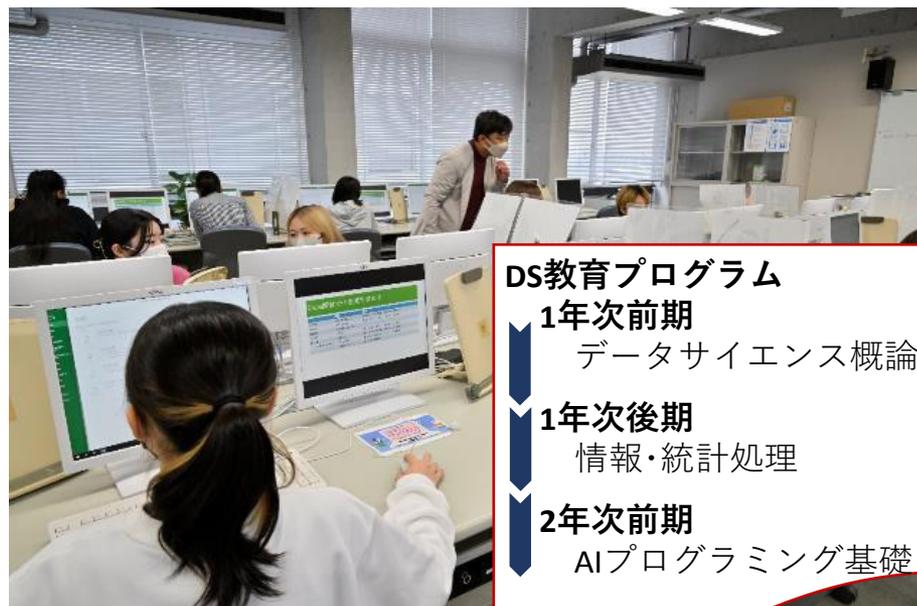


## ◆DS（データサイエンス）教育の推進 R5(2023)から全学必須へ

今後、AIを使った情報収集やデータ分析がより一般的になります。学科の特性に合わせた「DS（データサイエンス）の考え方や方法」を学ぶことで、今必要とされるスキルを身につけます。

そして、自分が持つ強みや感性を組み合わせることで、新しいアイデアやサービスを生み出す素地を養います。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム  
認定制度(MDASH-Literacy)認定 (令和5年8月25日)



- DS教育プログラム**
- 1年次前期  
データサイエンス概論
  - 1年次後期  
情報・統計処理
  - 2年次前期  
AIプログラミング基礎

# 学生の入学理由



岐阜市立女子短期大学  
Gifu City Women's College

「公立だから」1位→2位、「学びたい課程がある」2位→1位

入学者アンケートから 複数回答可 単位：%

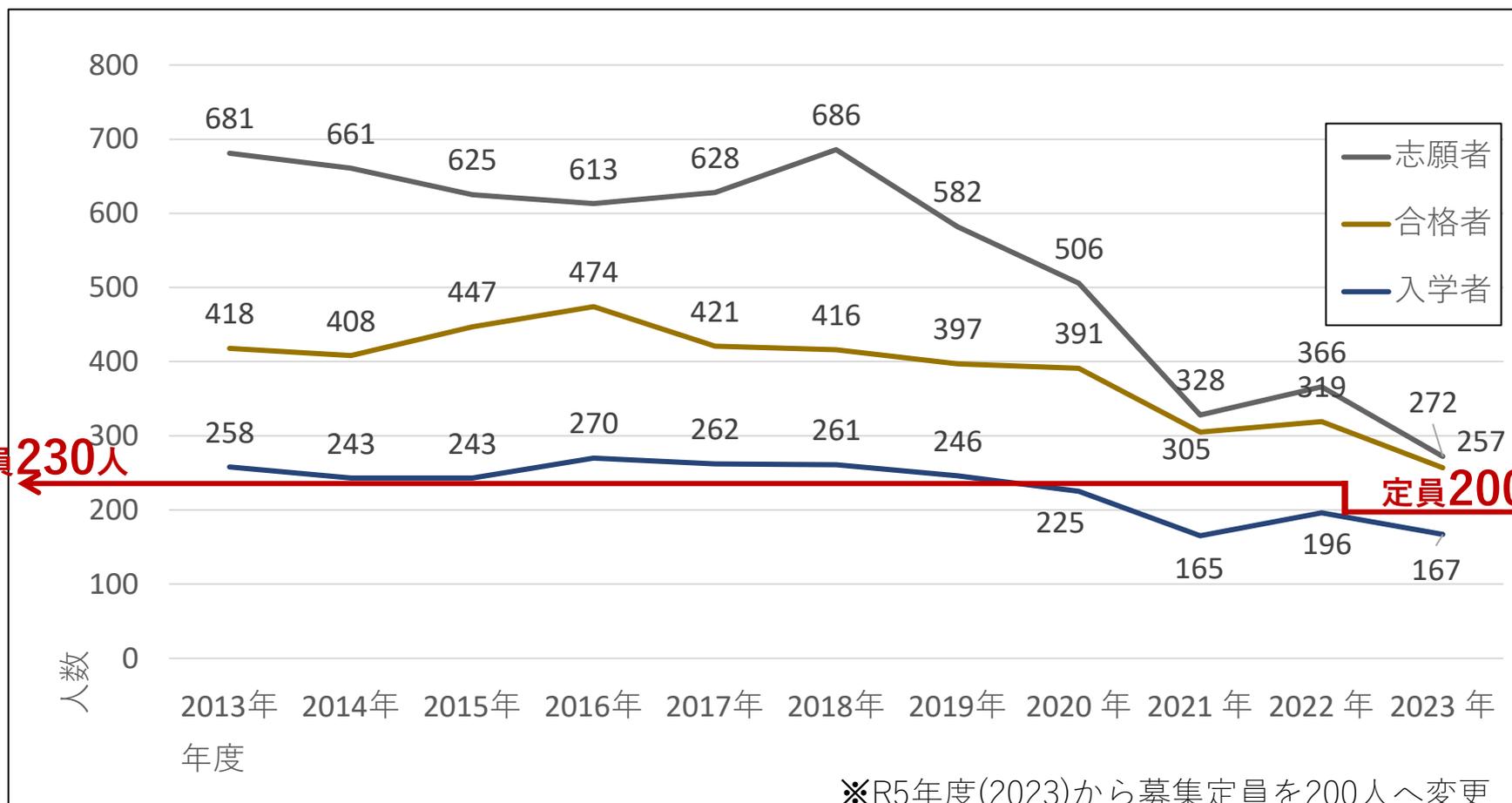
アンケート項目	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
資格が取得できるから	14.2	15.2	16.0	15.9	17.5
<b>学びたい課程があるから</b>	<b>21.3</b>	21.9	22.7	23.3	<b>24.2</b>
進学編入ができるから	13.2	12.8	13.1	13.6	14.1
就職に有利だから	7.2	6.3	6.9	5.4	3.9
<b>公立だから</b>	<b>25.9</b>	26.5	23.8	22.8	<b>22.5</b>

# 志願者数、合格者数、入学者数【グラフ】



岐阜市立女子短期大学  
Gifu City Women's College

R1(2019)から志願者が大きく減少、R2(2020)から定員未充足



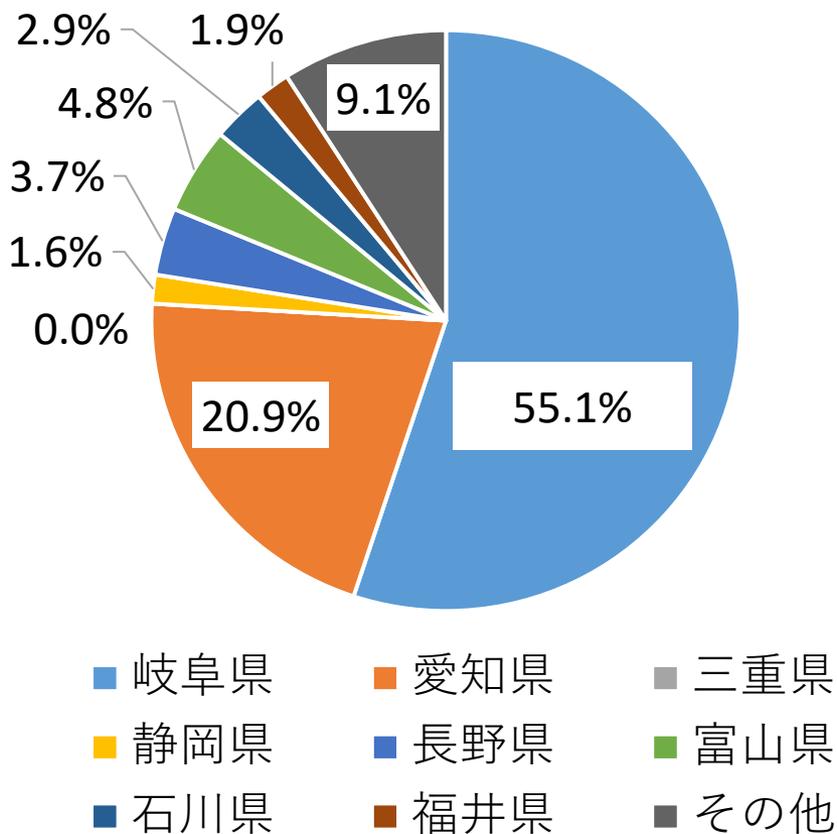
# 在学生の出身地



岐阜市立女子短期大学  
Gifu City Women's College

概ね、中部地方で9割。

## 学生の出身地別割合 (R5)

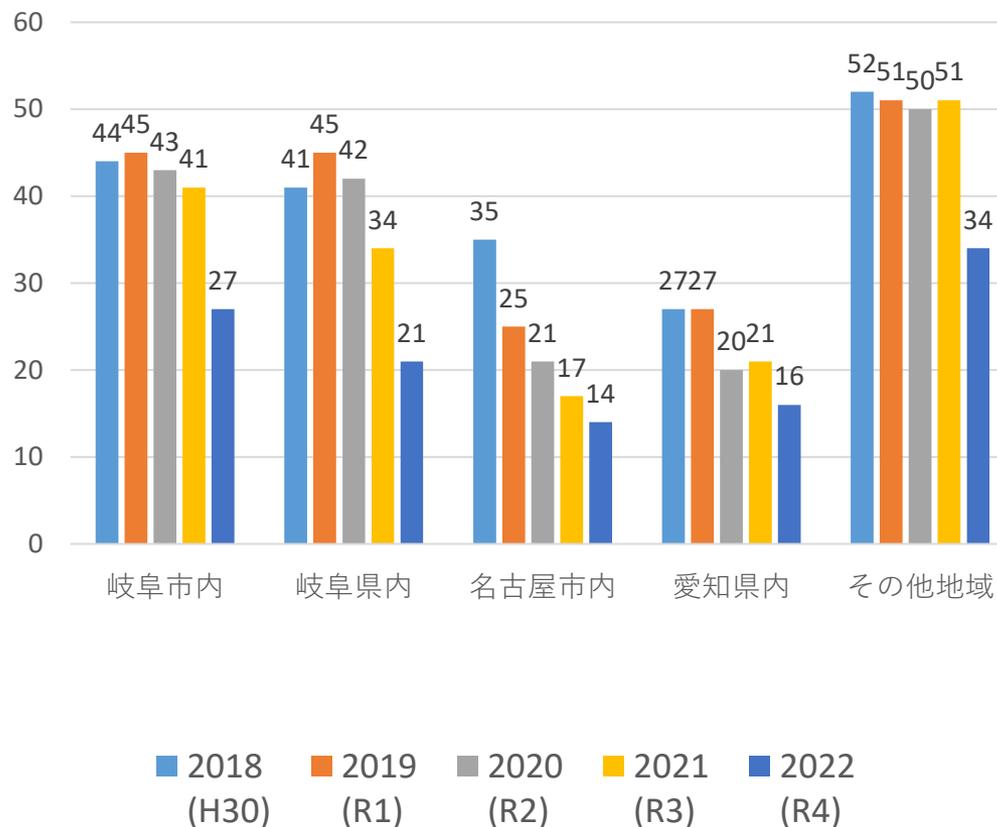


県名	人数 (R5)	比率
<b>岐阜県</b>	<b>206</b>	<b>55.1%</b>
(内、岐阜市)	<b>71</b>	<b>19.0%</b>
中部地方	愛知県	78 20.9%
	三重県	0 0.0%
	静岡県	6 1.6%
	長野県	14 3.7%
	富山県	18 4.8%
	石川県	11 2.9%
	福井県	7 1.9%
その他	34 9.1%	
<b>県内</b>	<b>206</b>	<b>55.1%</b>
県外	168 44.9%	
<b>合計</b>	<b>374</b>	<b>100.0%</b>

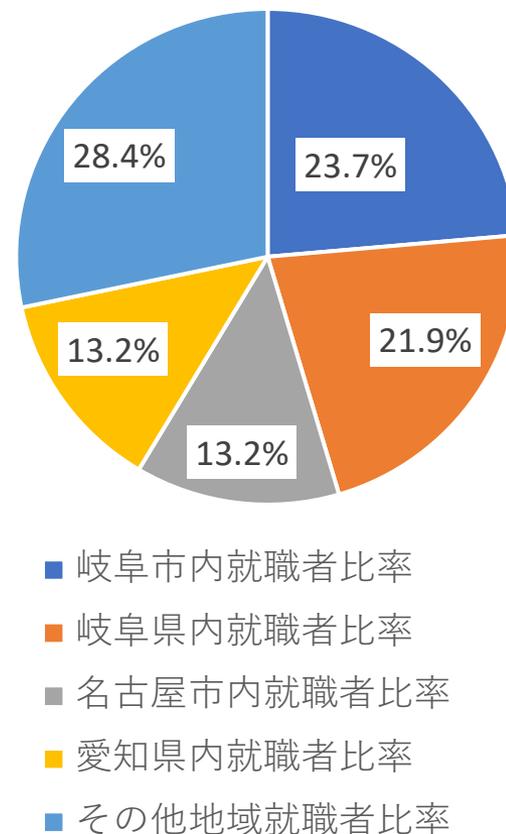


R4(2022)は卒業生減により少ないが、市内就職率は維持。

過去5年間の地域別就職者数

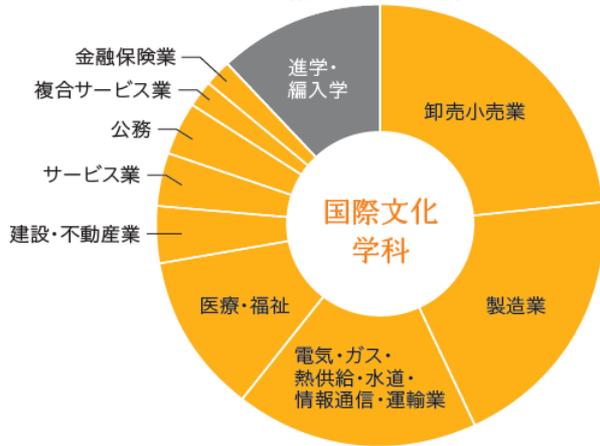


過去5年間の地域就職者比率

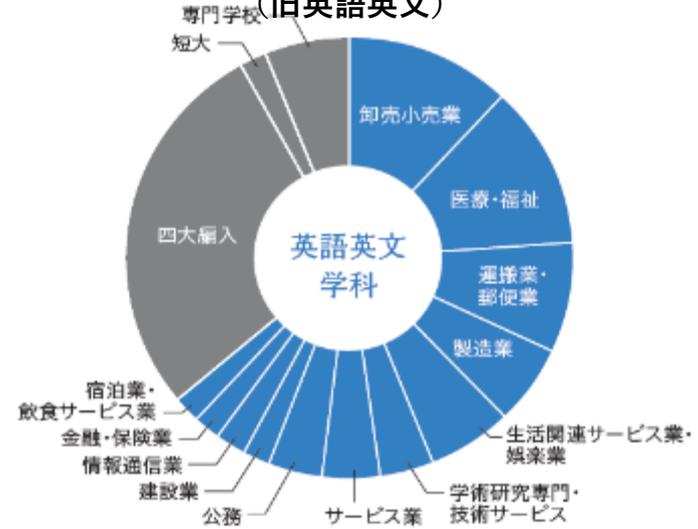


# 岐女短の学科別就職先 (R2~4年度卒業生)

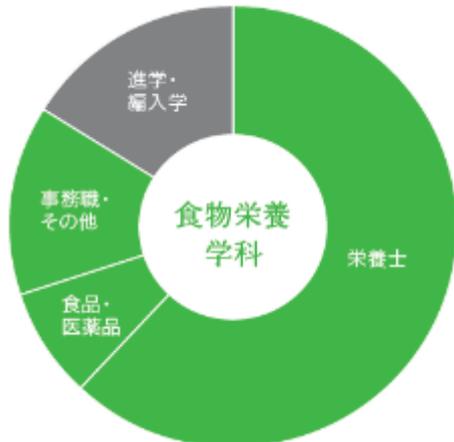
国際コミュニケーション学科  
(旧国際文化)



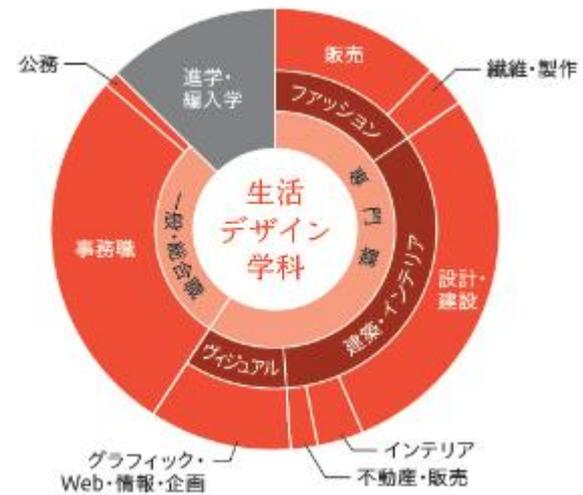
国際コミュニケーション学科  
(旧英語英文)



健康栄養学科  
(旧食物栄養)



デザイン環境学科  
(旧生活デザイン)



# 進学等 【編入・進学・留学】



岐阜市立女子短期大学  
Gifu City Women's College

概ね、進学希望者は2割。R4(2022)は27人が進学。

上段：人数  
下段：比率

区分	大学編入・進学			専門学校進学			留学・その他			合計		
	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)									
英語 英文	9	15	14	1	3	1	0	0	1	10	18	16
国際 文化	14	6	4	1	1	1	0	0	1	15	7	6
食物 栄養	3	6	1	0	2	0	0	0	0	3	8	1
生活 デザイン	4	4	2	5	1	2	0	0	0	9	5	4
計	30	31	21	7	7	4	0	0	2	37	38	27
卒業生数 との比率	<b>12.0%</b>	<b>14.2%</b>	<b>14.1%</b>	<b>2.8%</b>	<b>3.2%</b>	<b>2.7%</b>	-%	-%	<b>1.3%</b>	<b>14.7%</b>	<b>17.4%</b>	<b>18.1%</b>

※卒業生数：2020年度 251名 2021年度 218名 2022年度 149名



国際コミュニケーション学科は、中国、韓国、米国  
デザイン環境学科は、欧州と交流

## 連携協定 大学 交換留学(1年)



大韓民国 威徳大学  
2000年11月13日～  
国際コミュニケーション学科



中華人民共和国 大連大学  
2012年7月6日～  
国際コミュニケーション学科

## 連携協定 専門学校 留学受講



イタリア ポリモーダ専門学校  
2007年1月23日～  
デザイン環境学科

フィレンツェ市  
外交顧問来学  
2023年5月15日  
外交顧問と学長が  
連携協定改定を確認後、  
対話劇観覧と学生交流

## 海外演習 言語・文化(短期)



大韓民国 威徳大学  
韓国語文化演習  
2019年8月19日～8月26日  
国際コミュニケーション学科



カリフォルニア州立大学  
英語演習  
2022年9月1日～9月16日  
国際コミュニケーション学科

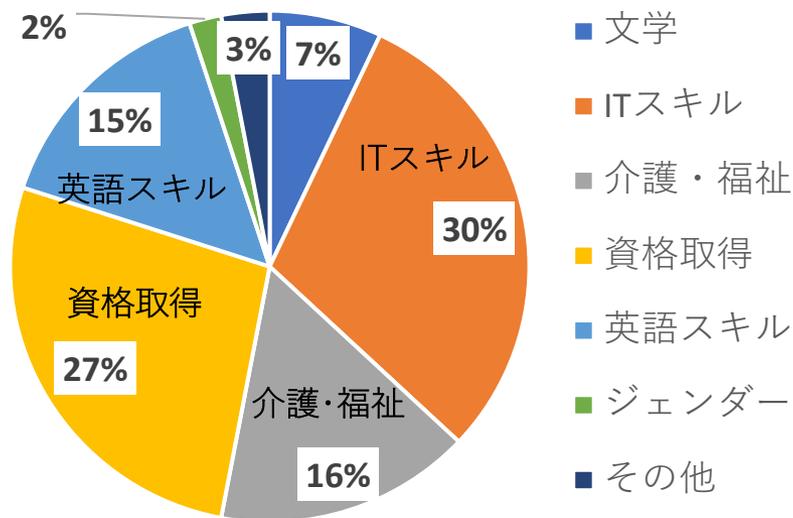


イタリア ポリモーダ専門学校  
表敬訪問  
2019年2月14日～21日  
デザイン環境学科



在学中に学んだ分野のリスキリング、  
社会進出を後押しする資格講座を望む声がある。

## Q.教育講座としてどのような分野を希望しますか？



### 【自由記述抜粋】

- ・栄養学は日々変化しているので最新情報を提供する講座ができないか。
- ・今からでも働くべきか、行動のきっかけが持てる講座があるとよい。
- ・実践につなげていける知識や技術が得られる魅力的な講座を望む。
- ・社会の変化に対応できる適応力を得ることができるとよい。

【出典：女性のためのリカレント教育に関するアンケート調査結果】  
調査期間R5.4.6～5.31 本学同窓会員444名 有効回答率42%

## 卒業生への対応② 【リカレント教育】



岐阜市立女子短期大学  
Gifu City Women's College

卒業生を含むスキルアップ講座の他に、  
女性のメンタルヘルス、健康栄養講座を開催

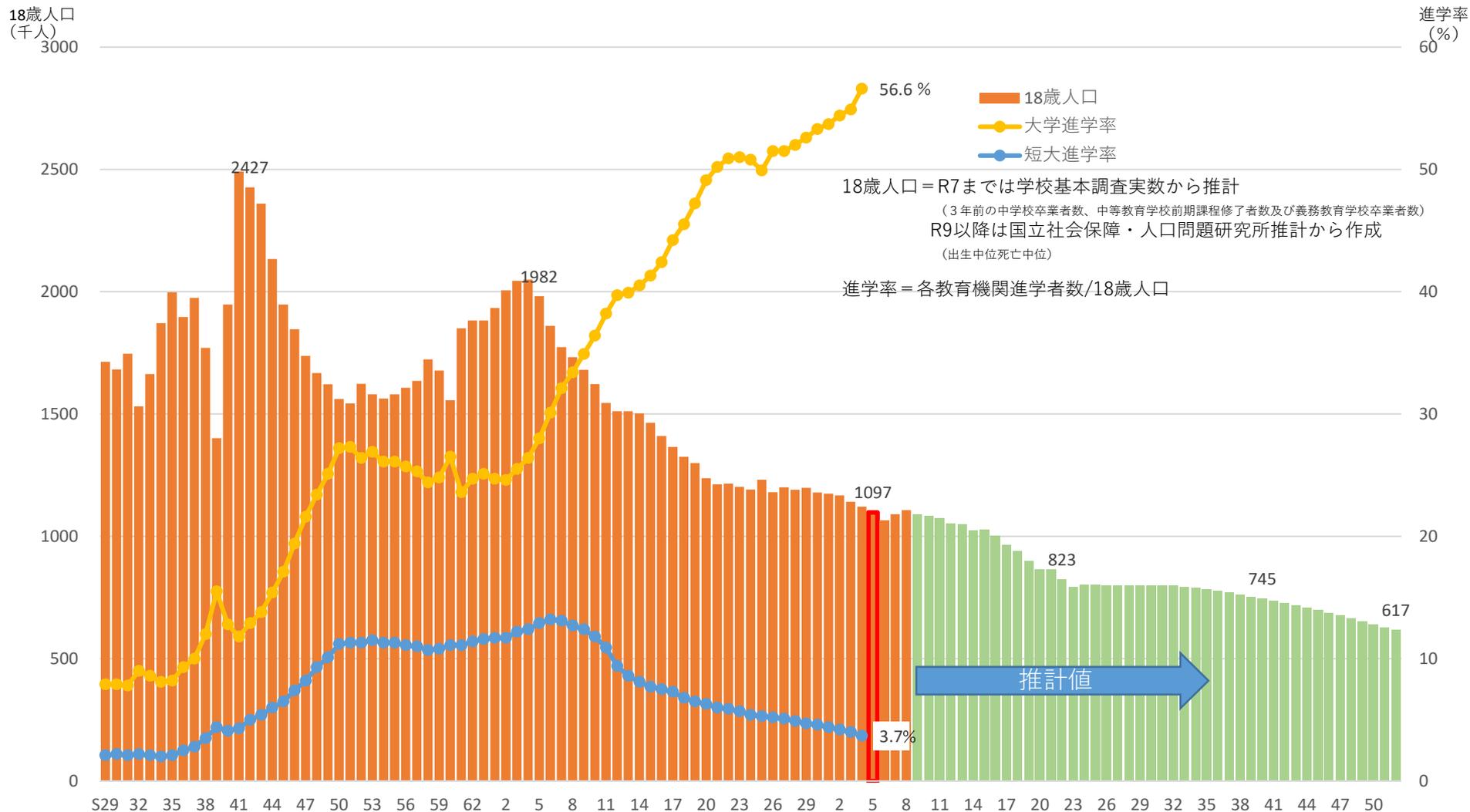
講座	H30	R1	R2	R3	R4	R5
管理栄養士国家試験受験対策講座	50人	32人	中止	中止	30人	
繊維製品品質管理士受験対策講座	42人	5人	中止	中止	7人	
TOEIC対策講座						新設
中国語検定対策講座						新設

※その他の本学公開講座(R5)：「心豊かに生きるための日本文学講座」「女性のための健康栄養講話」  
「女性の活躍に向けて」「販売士検定試験受験対策講座」「日本の伝統的な保存食の活用」  
「ワークショップ簡単に作れる子ども服」「土壁講座」

## 人口動態・進学動向

# 18歳人口の推計と大学等進学率

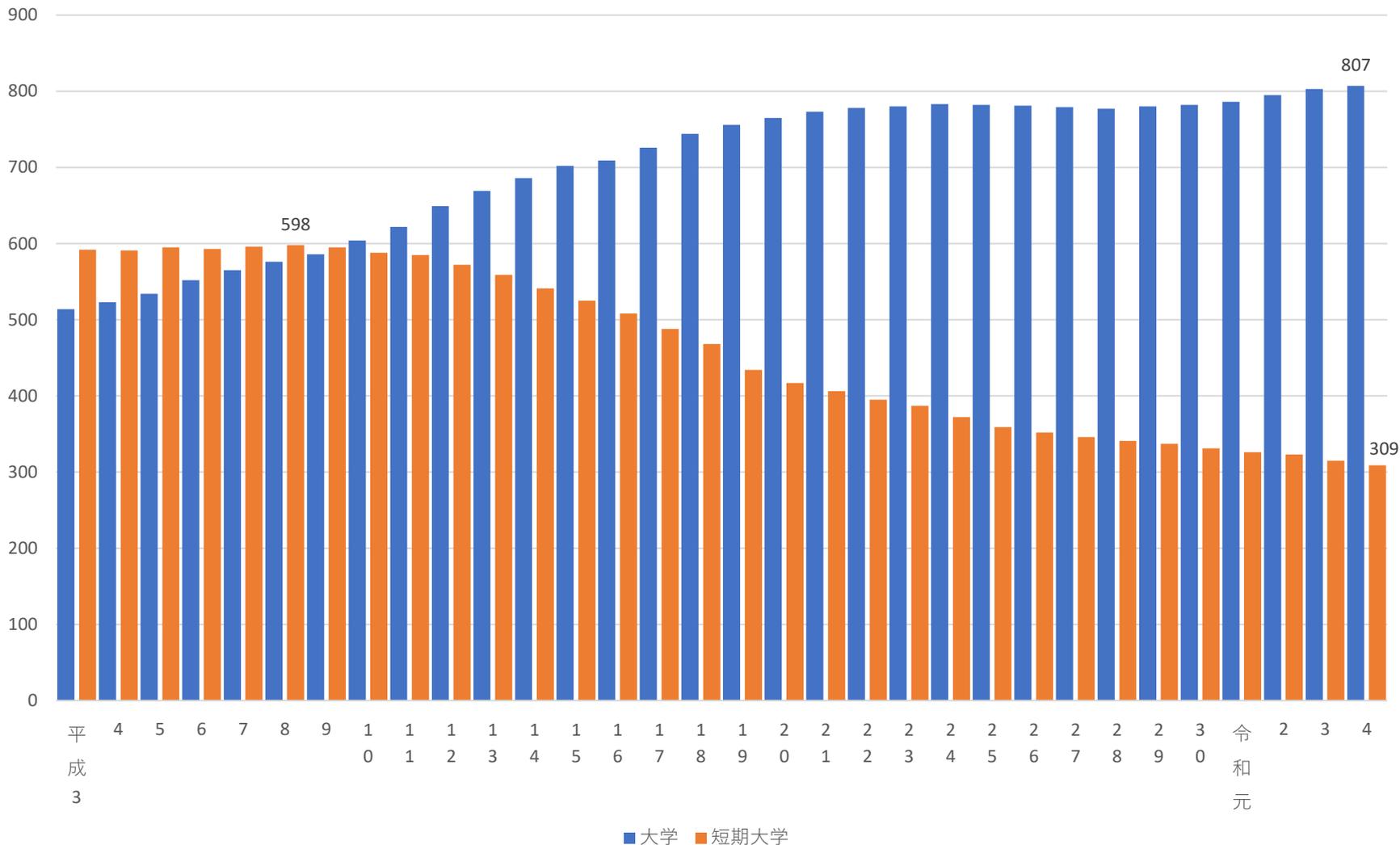
18歳人口は40年後には4割減少の推計  
 大学進学率が上昇してきた半面、短大進学率は減少



# 大学短期大学学校数の推移

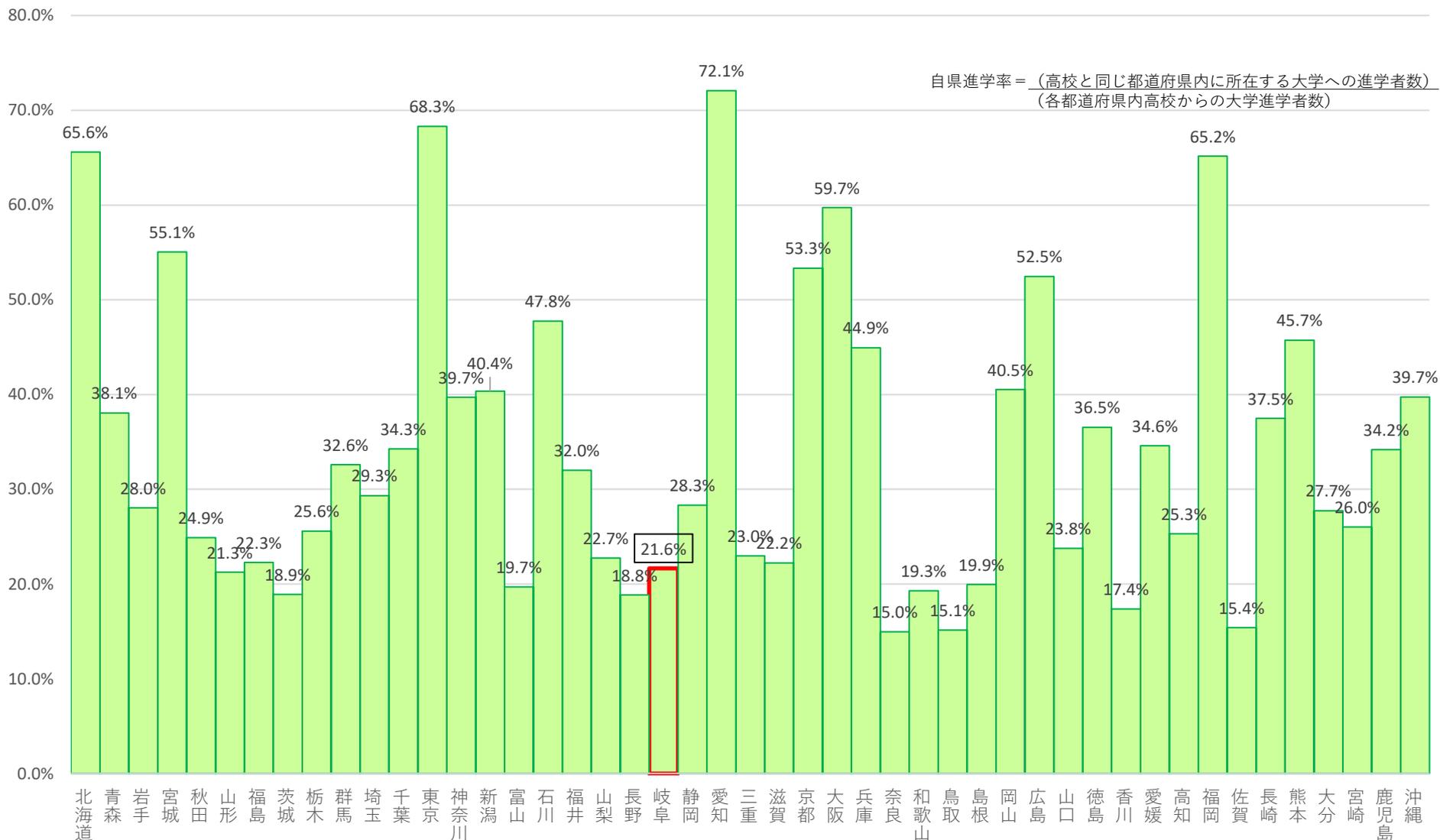
短大と大学の学校数は平成10年に逆転、短大はピークの約半数に

(校)



# 自県進学率【大学】 (R5)

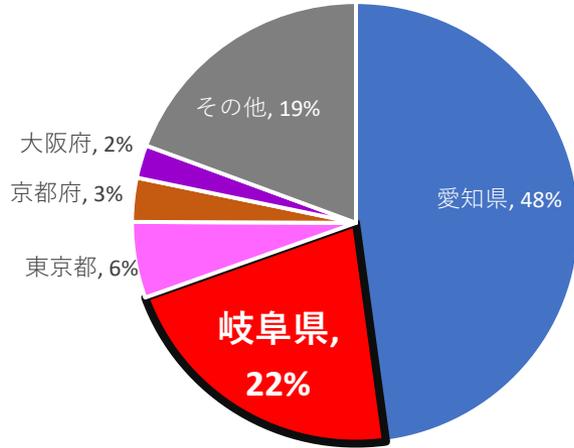
大学への自県進学率は大都市は高いが地方は低い（岐阜県は21.6%で全国37位と低い）



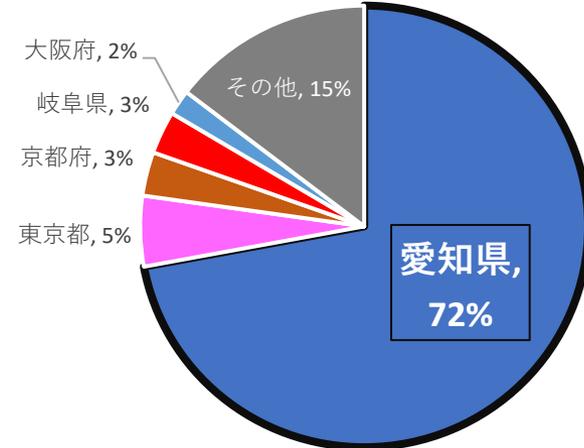
# 東海地区の県別大学進学先（自県内への進学状況） (R5)

岐阜、三重は愛知への進学率が高く、愛知県は圧倒的に自県進学率が高い  
 静岡は自県が一番多いが、関東への進学が多い

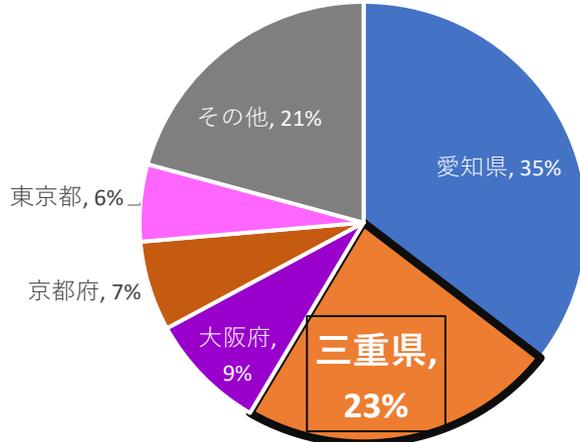
## 岐阜県



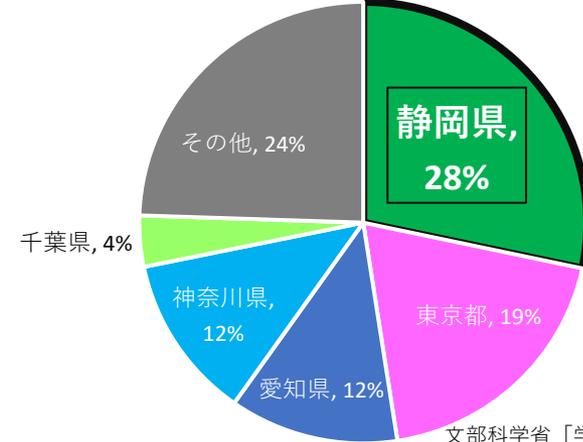
## 愛知県



## 三重県



## 静岡県



# 東海地区の大学入学に関するデータ

大学の偏差値平均と入学定員（大学数）

※入学定員：令和4年度全国大学一覧（文部科学省）より 編入学定員を含まない

※文理合算して偏差値の平均を再計算しているため、「合計」の「計」は文理の合計と一致しない

## 合計（計）

偏差値平均	～35.0	35.1～37.5	37.6～40.0	40.1～42.5	42.6～45.0	45.1～47.5	47.6～50.0	50.1～52.5	52.6～55.0	55.1～57.5	57.6～
愛知県	2003 (8)	4735 (8)	3190 (7)	3762 (5)	7705 (5)	3505 (3)	859 (1)	11334 (7)	965 (2)	1904 (3)	1937 (1)
岐阜県	1890 (6)	0	520 (1)	1090 (2)	0	0	0	0	1270 (1)	120 (1)	0
静岡県	1420 (5)	0	1780 (1)	420 (1)	0	0	0	2725 (3)	0	0	175 (1)
三重県	370 (2)	0	0	1450 (3)	0	0	100 (1)	1310 (1)	0	0	0

## 合計（文系）

偏差値平均	～35.0	35.1～37.5	37.6～40.0	40.1～42.5	42.6～45.0	45.1～47.5	47.6～50.0	50.1～52.5	52.6～55.0	55.1～57.5	57.6～
愛知県	2408 (10)	5225 (9)	770 (3)	3797 (4)	4200 (4)	2190 (2)	2464 (2)	7119 (5)	0	0	1004 (2)
岐阜県	1420 (5)	180 (1)	0	0	630 (1)	0	0	350 (1)	0	0	0
静岡県	1070 (4)	105 (1)	1260 (1)	0	0	0	375 (1)	1010 (2)	0	0	0
三重県	370 (2)	0	0	620 (1)	0	0	0	445 (1)	0	0	0

## 合計（理系）

偏差値平均	～35.0	35.1～37.5	37.6～40.0	40.1～42.5	42.6～45.0	45.1～47.5	47.6～50.0	50.1～52.5	52.6～55.0	55.1～57.5	57.6～
愛知県	225 (1)	180 (1)	870 (4)	1545 (4)	2205 (4)	1555 (3)	320 (1)	2670 (4)	215 (1)	1545 (4)	1392 (1)
岐阜県	470 (4)	80 (1)	0	720 (2)	0	0	0	0	920 (1)	120 (1)	0
静岡県	245 (1)	520 (1)	0	420 (1)	0	0	0	1220 (1)	0	0	295 (2)
三重県	0	0	0	830 (2)	0	0	100 (1)	865 (1)	0	0	0

### 【集計方法】

- 各大学の偏差値平均：河合塾 2024年度入試難易予想一覧表（6月版）より  
 ・国公立大：2次試験の偏差値の平均 ※偏差値の記載のない学科は集計しない  
 ・私立大：個別試験の偏差値の平均 ※偏差値の記載のない学科は集計しない  
 ・BFは35.0として算出

定員：令和4年度全国大学一覧（文部科学省）より ※編入学定員を含まない

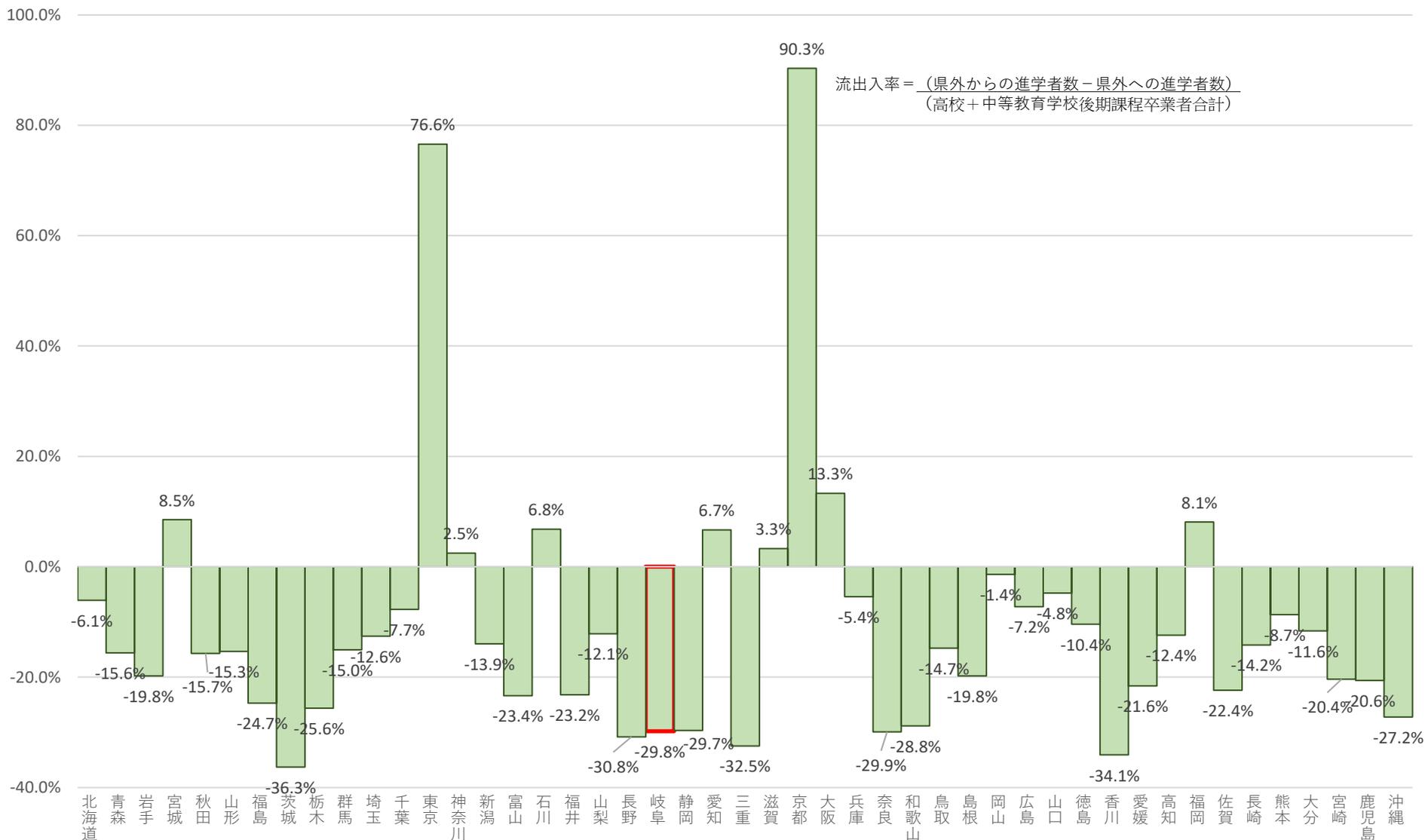
文理の区分：文科省 令和4年度学校基本調査「付属資料 学科系統分類表」の

学部分類に基づき、下表のとおり分類。  
 文理の区分は学部単位で行う（例：理系学部にあるスポーツ系学科は理系に分類）

文系：人文科学、社会科学（法経商、総合政策、環境情報）、  
 家政（被服、健康栄養）、教育、芸術、その他（スポーツ、工学系以外の情報等）  
 理系：保健（医薬看）、理、工（情報）、農、商船

# 大学進学に関する都道府県流出入率 (R4)

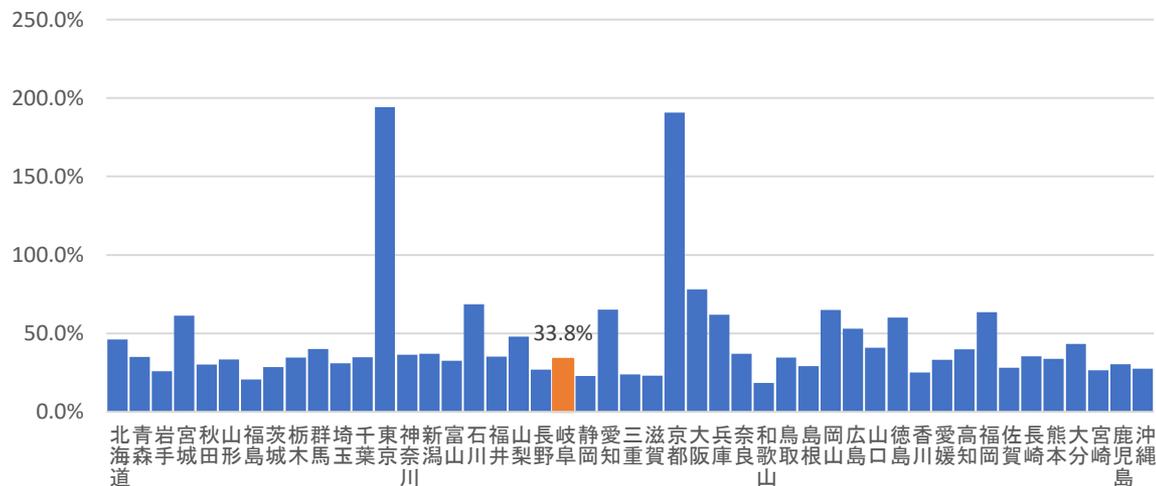
流出率 (高校等卒業者に占める割合) は岐阜県は全国6番目に大きい



# 18歳人口に対する入学定員数の比率（収容力） R4

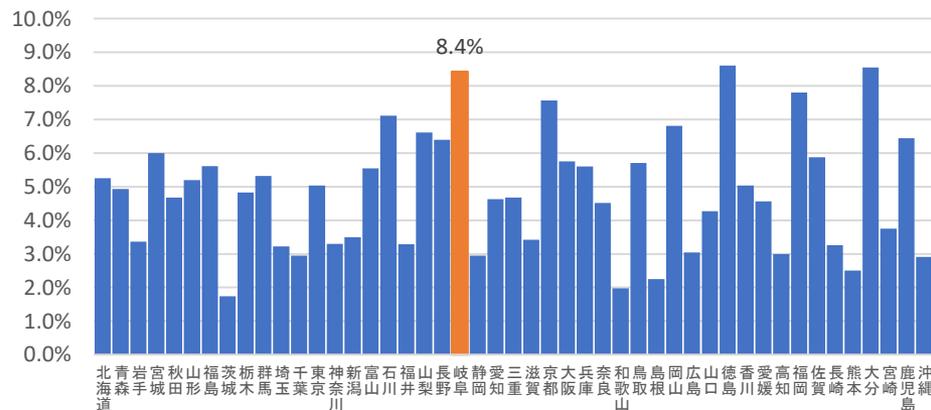
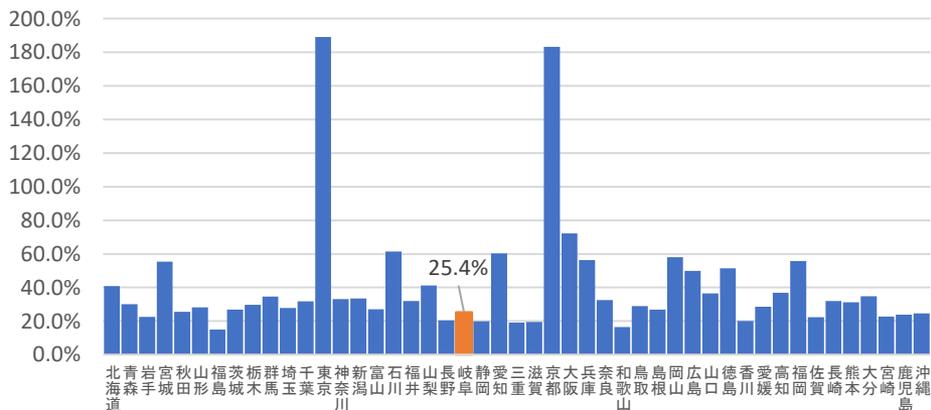
収容力は大学では、東京・京都が突出（岐阜県は低め（全国35位））  
短大では岐阜県は収容力が高い。

大学・短大



大学

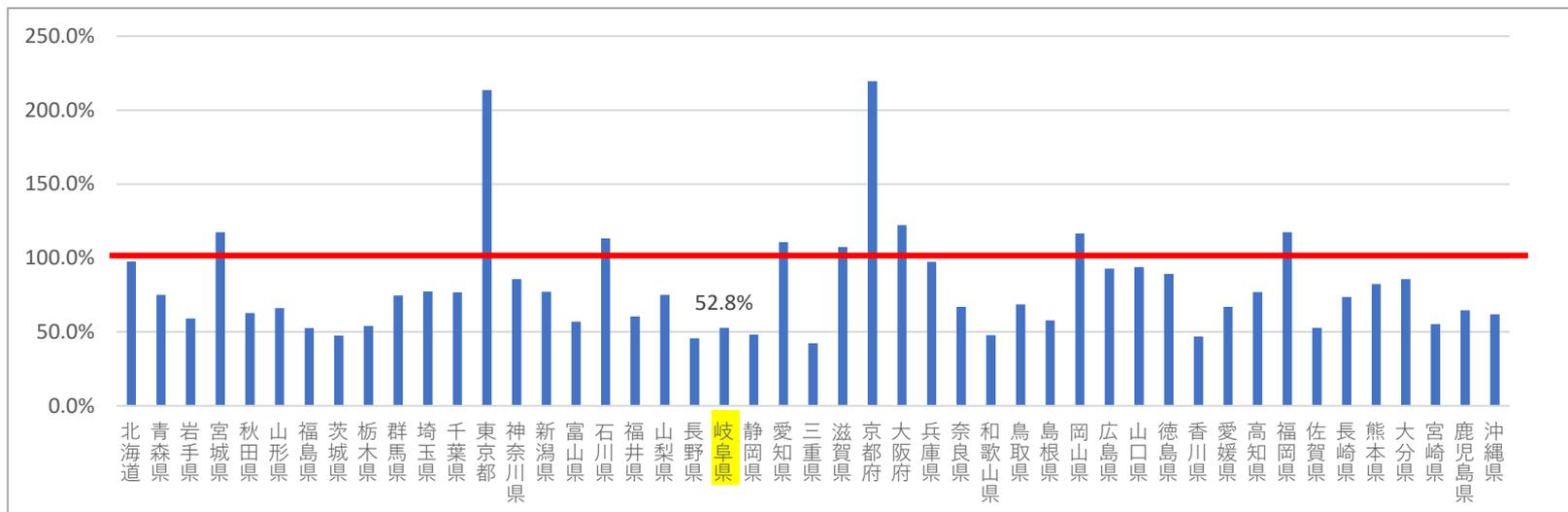
短大



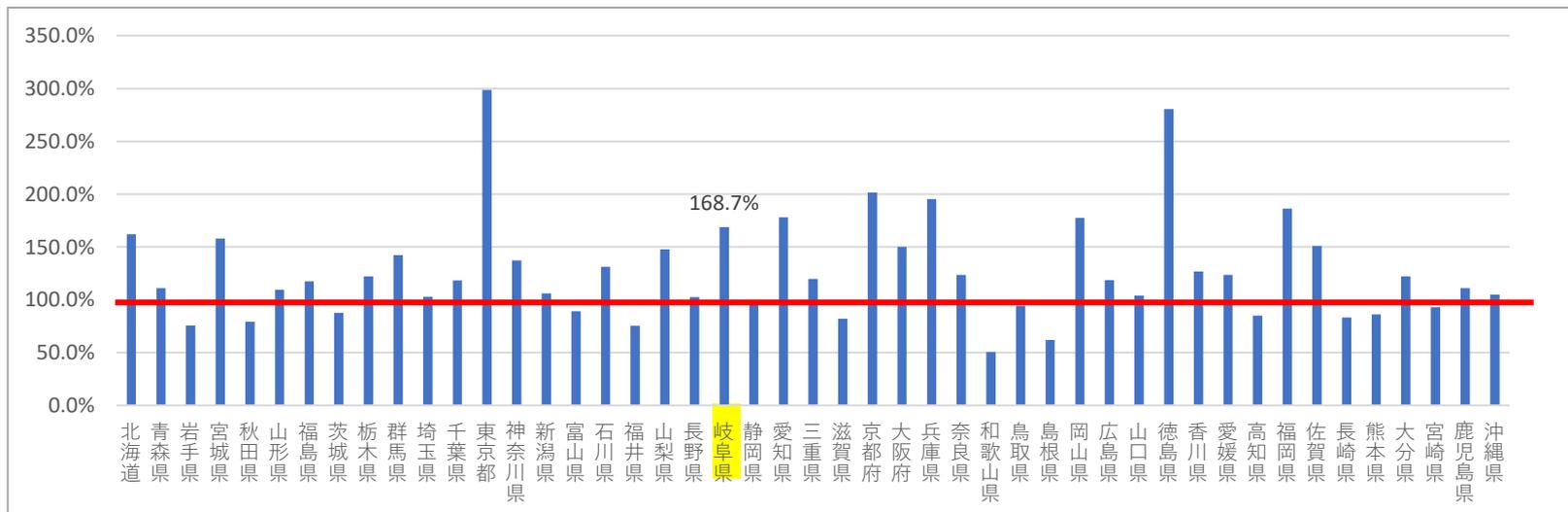
# 大学短大の都道府県別進学志願者に対する入学定員数 (R4)

大学は大都市に偏在、岐阜をはじめとする地方では進学志願者の50%程度の定員数  
短大は多くの地域で進学希望者数以上の定員数

## 大学



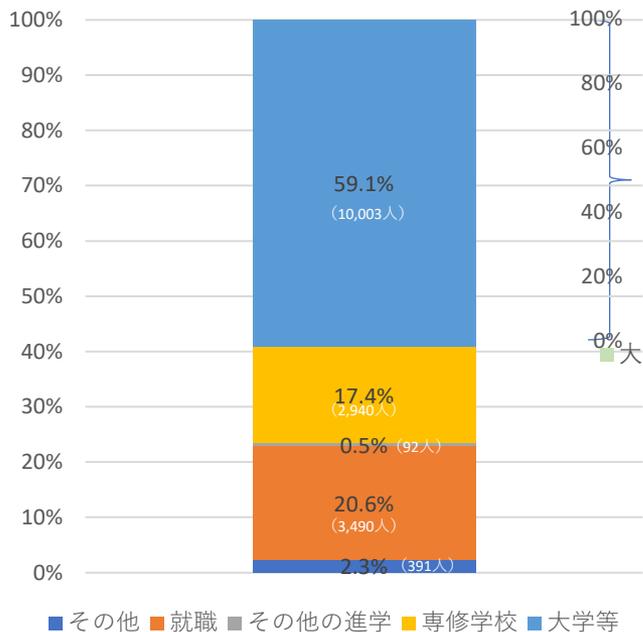
## 短大



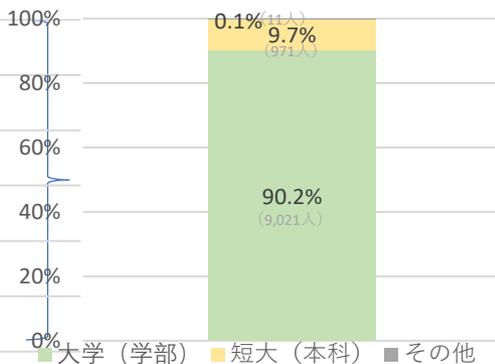
# 岐阜県内高校出身者進学先 (R4. 3)

岐阜県内の高校卒業生もほぼ全国平均と同様6割が大学・短大に進学

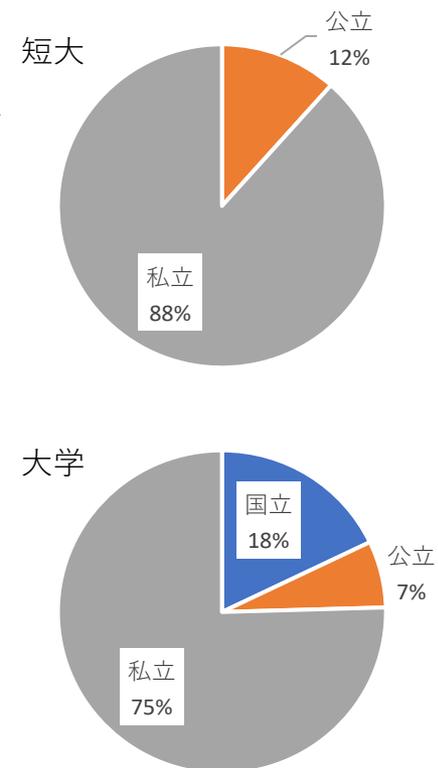
### 高校卒業時の進路



### 「大学等」の内訳



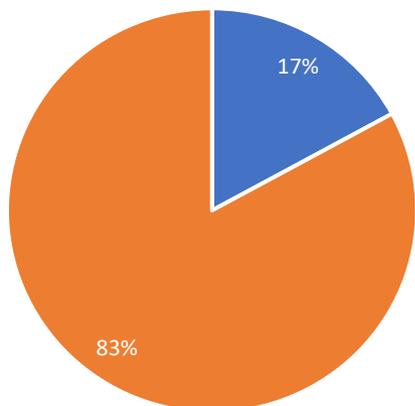
### 大学、短大の設置団体別内訳



# 県内高校（岐女短への志願者数が多い10校）の進路（合格者数）の県内外校割合

岐女短への志願者が多い高校の生徒も4年制大学（県外）への受験が多い  
短大へは県内学校が多い

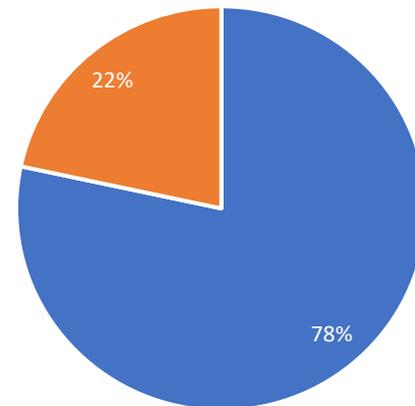
4年制大学合計



N=4995

■ 県内 ■ 県外

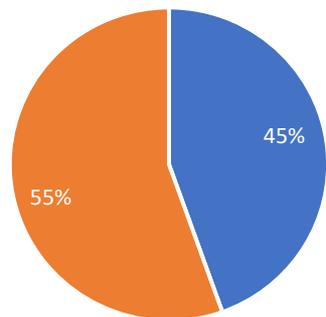
短期大学合計



N=157

■ 県内 ■ 県外

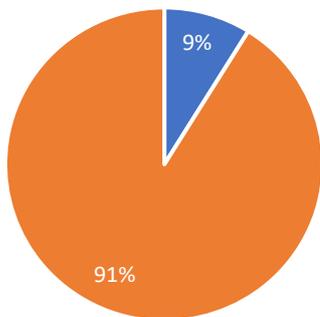
国立大学



N=413

■ 県内 ■ 県外

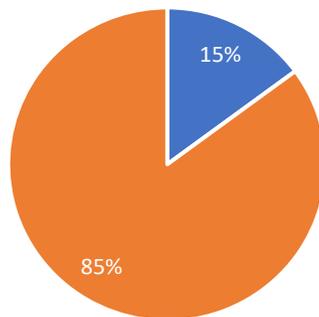
公立大学



N=226

■ 県内 ■ 県外

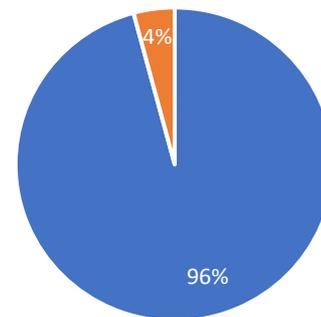
私立大学



N=4356

■ 県内 ■ 県外

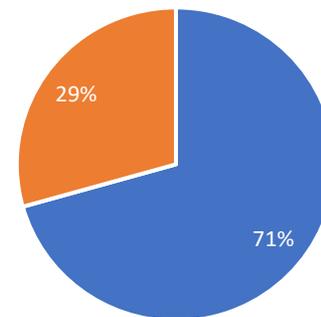
公立短大



N=48

■ 県内 ■ 県外

私立短大

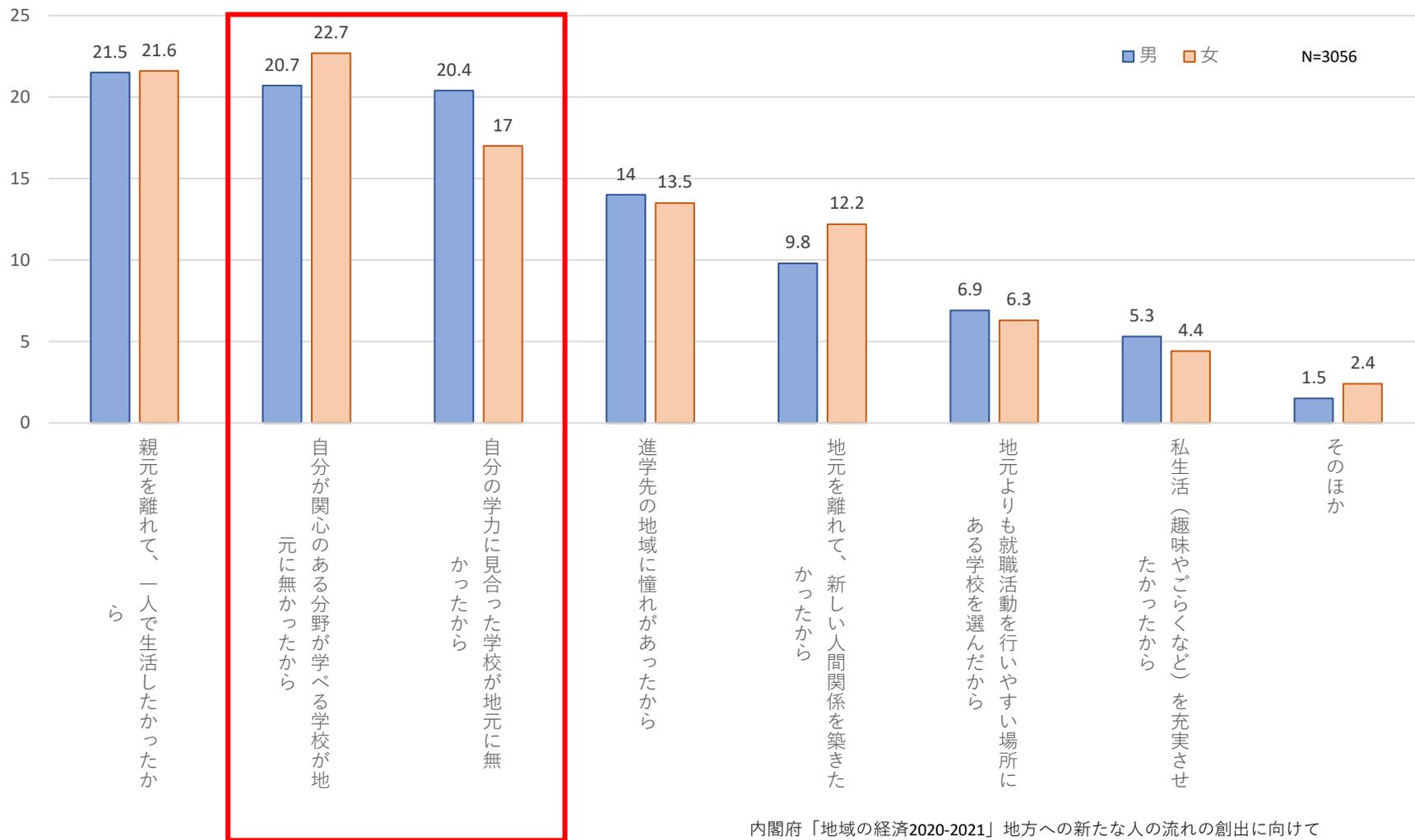


N=109

■ 県内 ■ 県外

# 地元と異なる地域に進学した理由

関心のある分野の大学、学力に見合った大学が地元が無いことが他県への進学理由として大きい



# 県外進学者のUターンの現状

県外に進学した場合、岐阜県内に就職する割合（Uターン率）は高くない（約3割）  
県内に進学した場合、約7割が県内に就職

## 県外進学者のUターン率

（岐阜県出身者のみ）

県外大学進学者	31.0%
愛知県内	33.1%
関東圏	16.3%
関西圏	25.8%
その他	31.4%

岐阜県産業人材課調べ（令和3年5月1日現在）

## 県内大学生の県内就職率

県内大学	39.6%
うち、 岐阜県出身者	67.2%

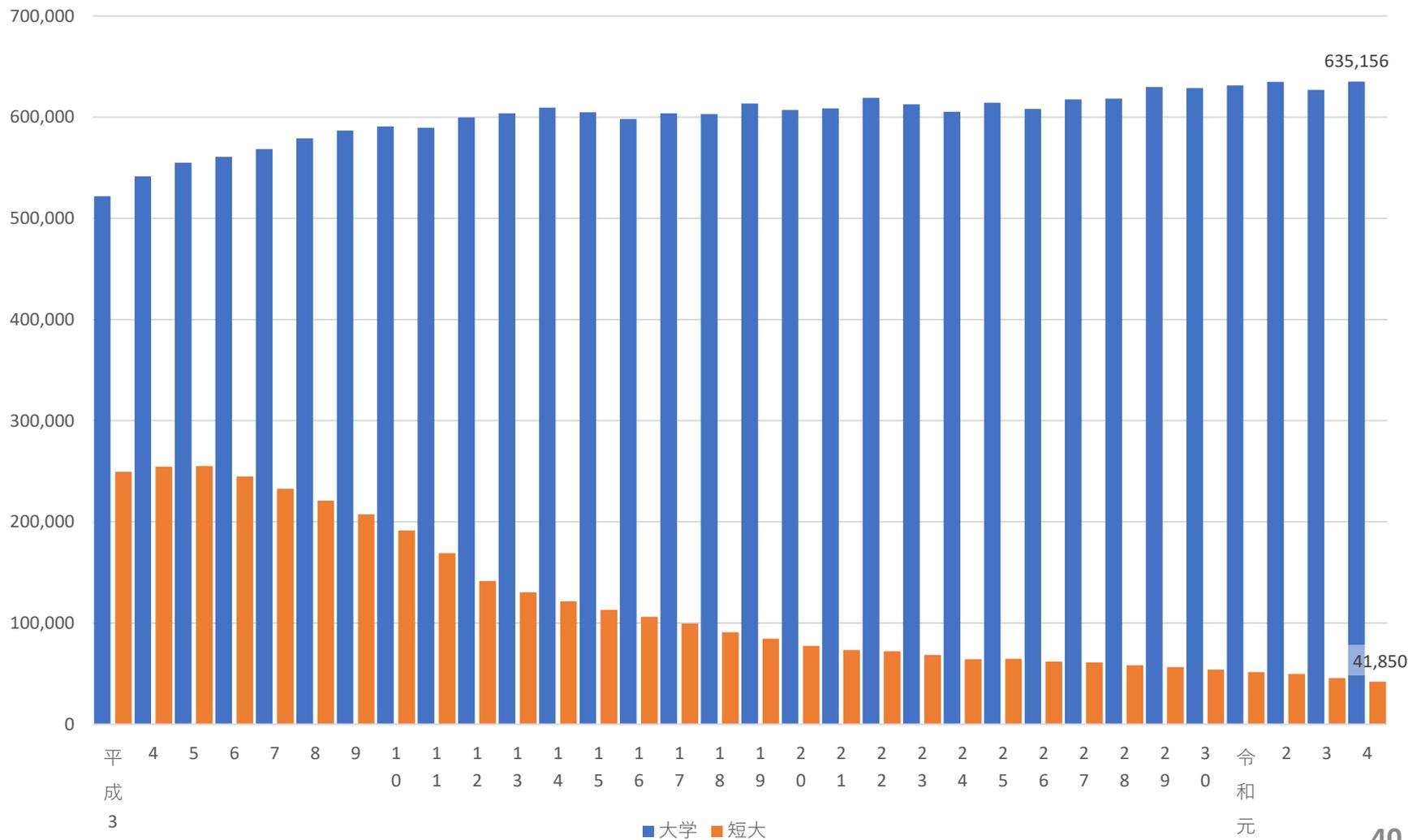
※短大、大学院含む

岐阜県産業人材課調べ（令和4年5月1日現在）

# 大学短期大学学校数の入学者数の推移

大学入学者数は微増、短大入学者数は減少の傾向

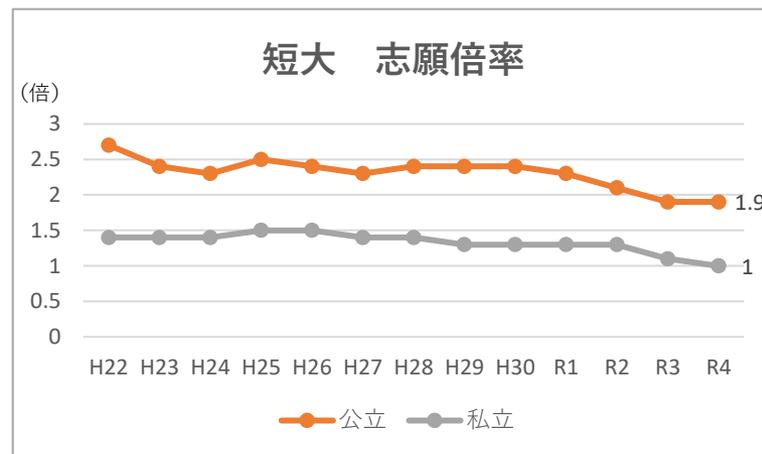
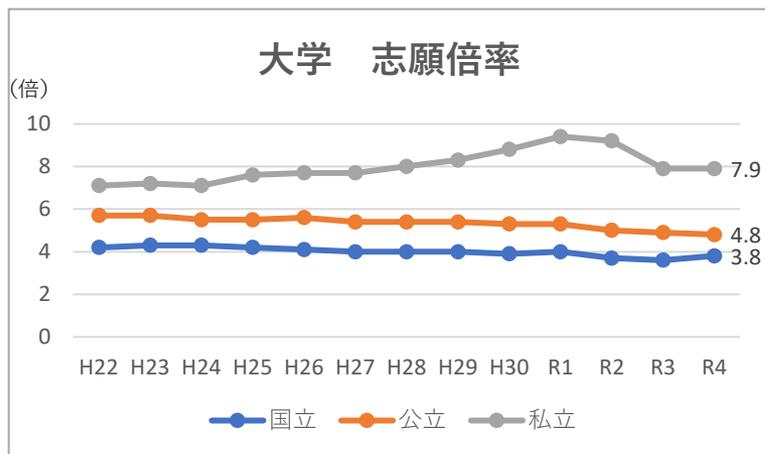
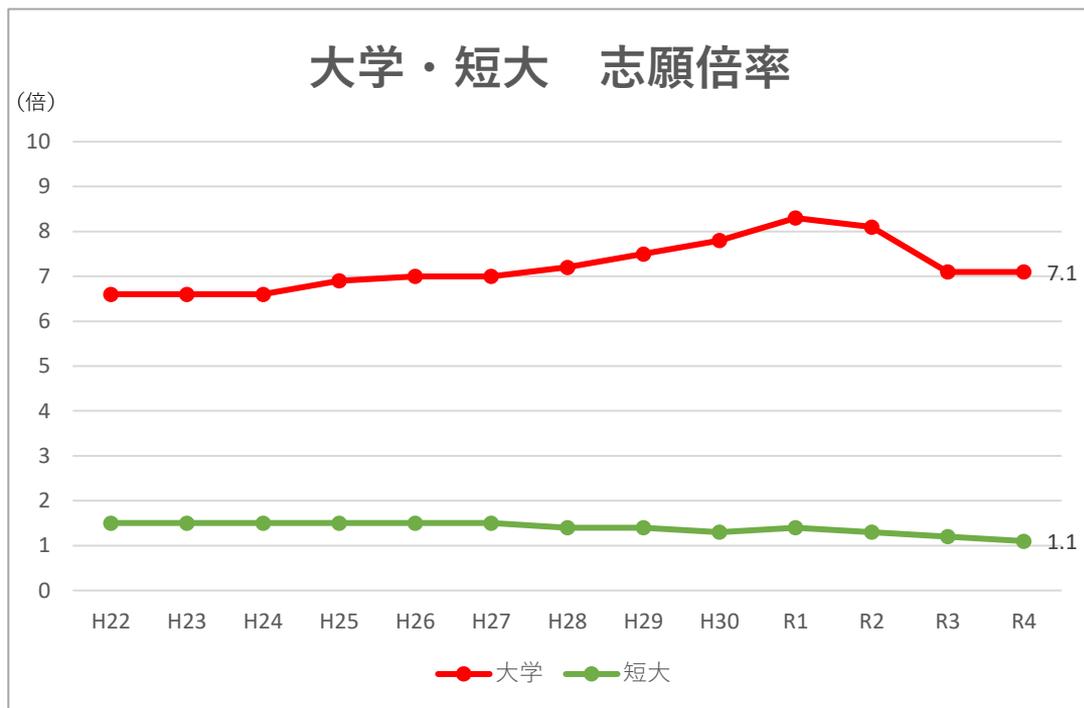
(人)



# 全大学・短大合計の志願倍率の推移

大学の志願倍率は安定して高水準  
短大は低下

志願倍率（倍）＝入学志願者数／募集人員数

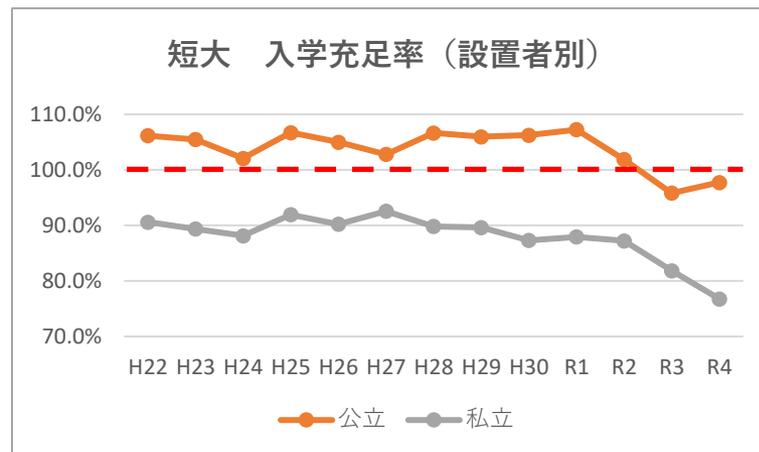
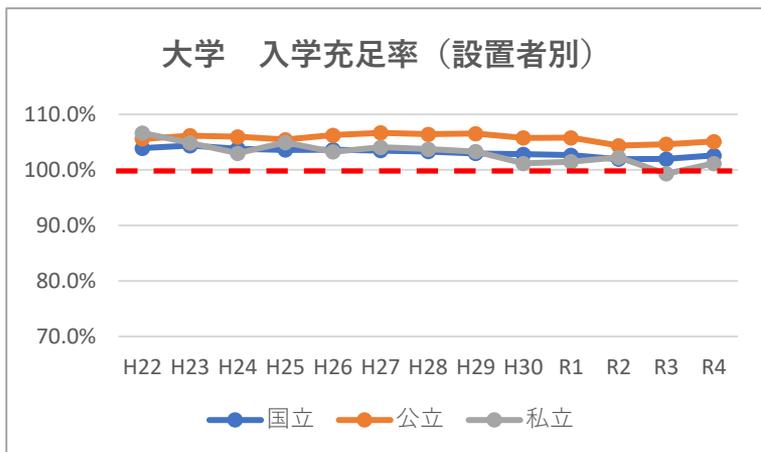
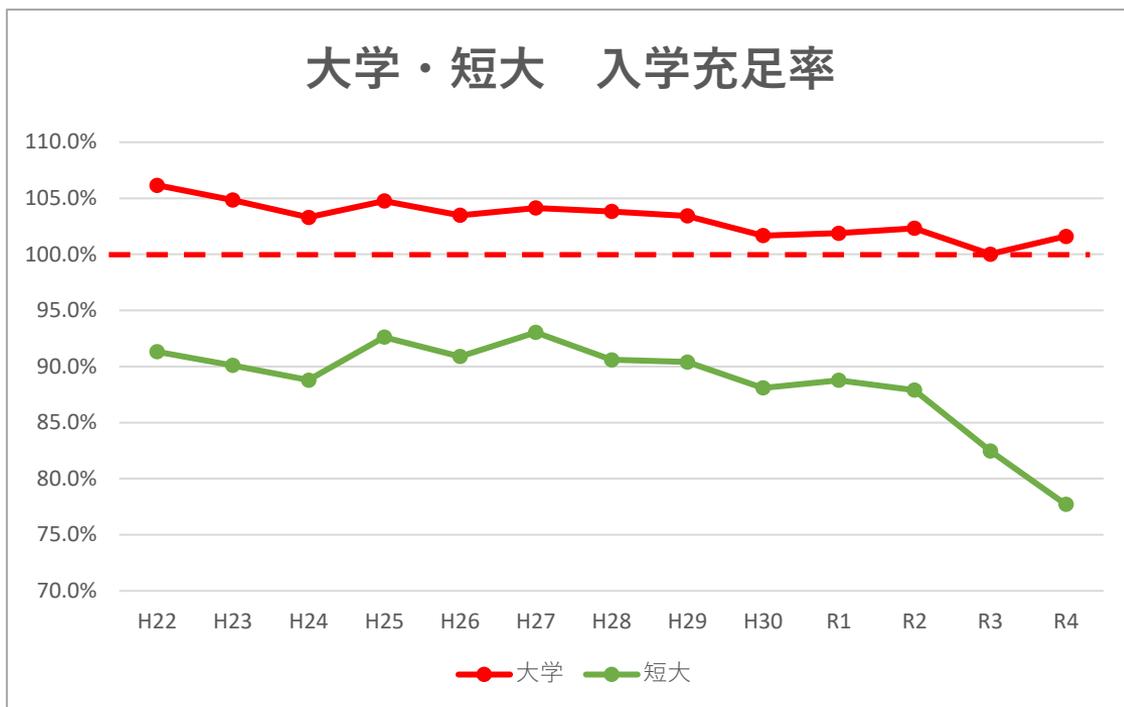


# 全大学・短大合計の入学充足率の推移

短期大学は近年、入学者の充足率が低下

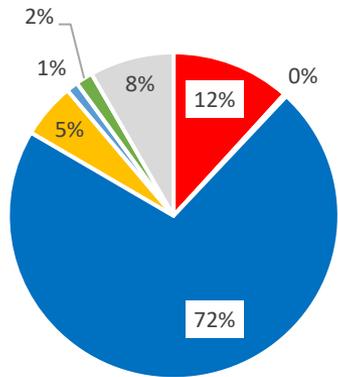
大学は充足率100%を維持

入学充足率(%) = 入学者数 / 募集人員数



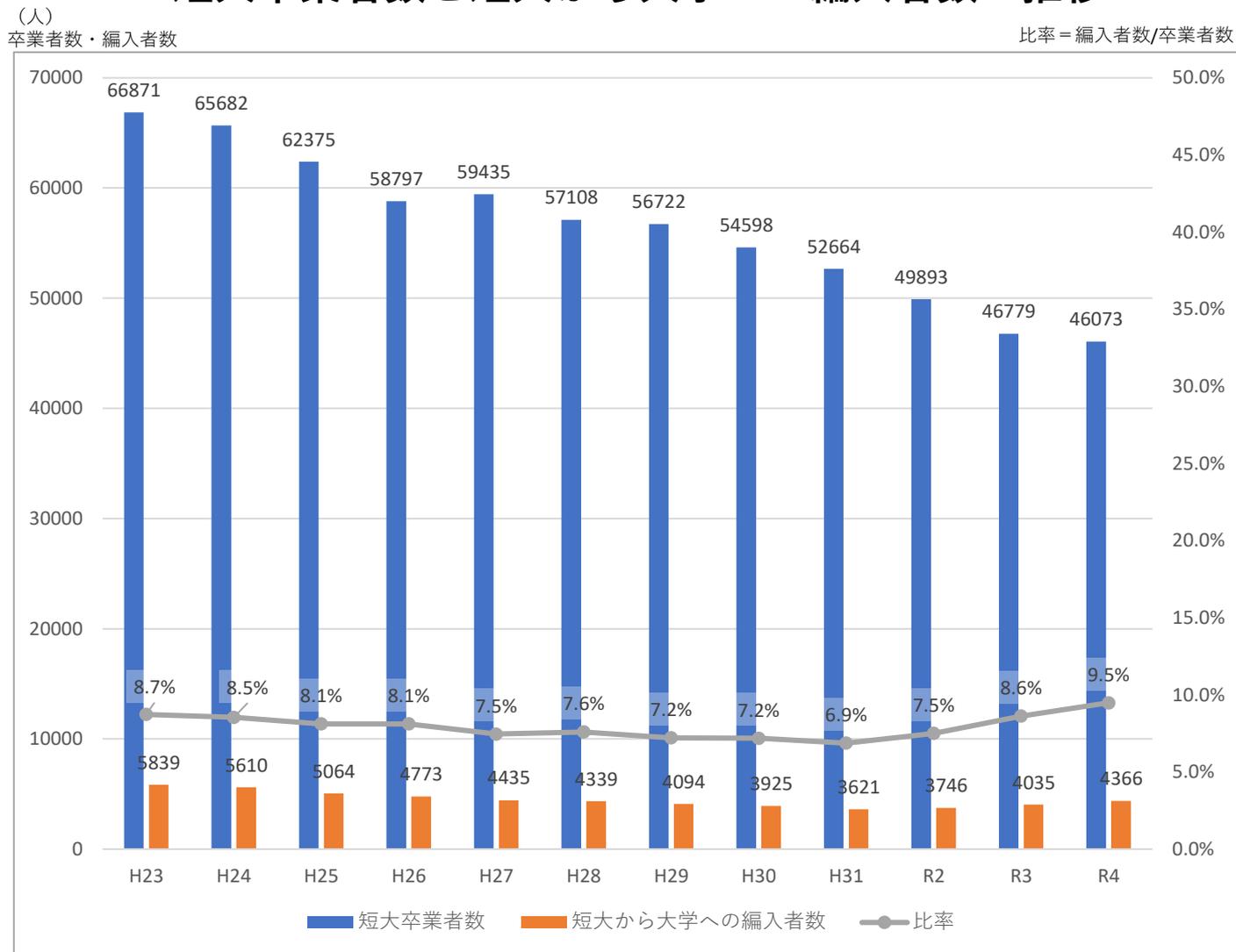
# 短大卒業後の進路

## R4.3短大卒業者の進路内訳



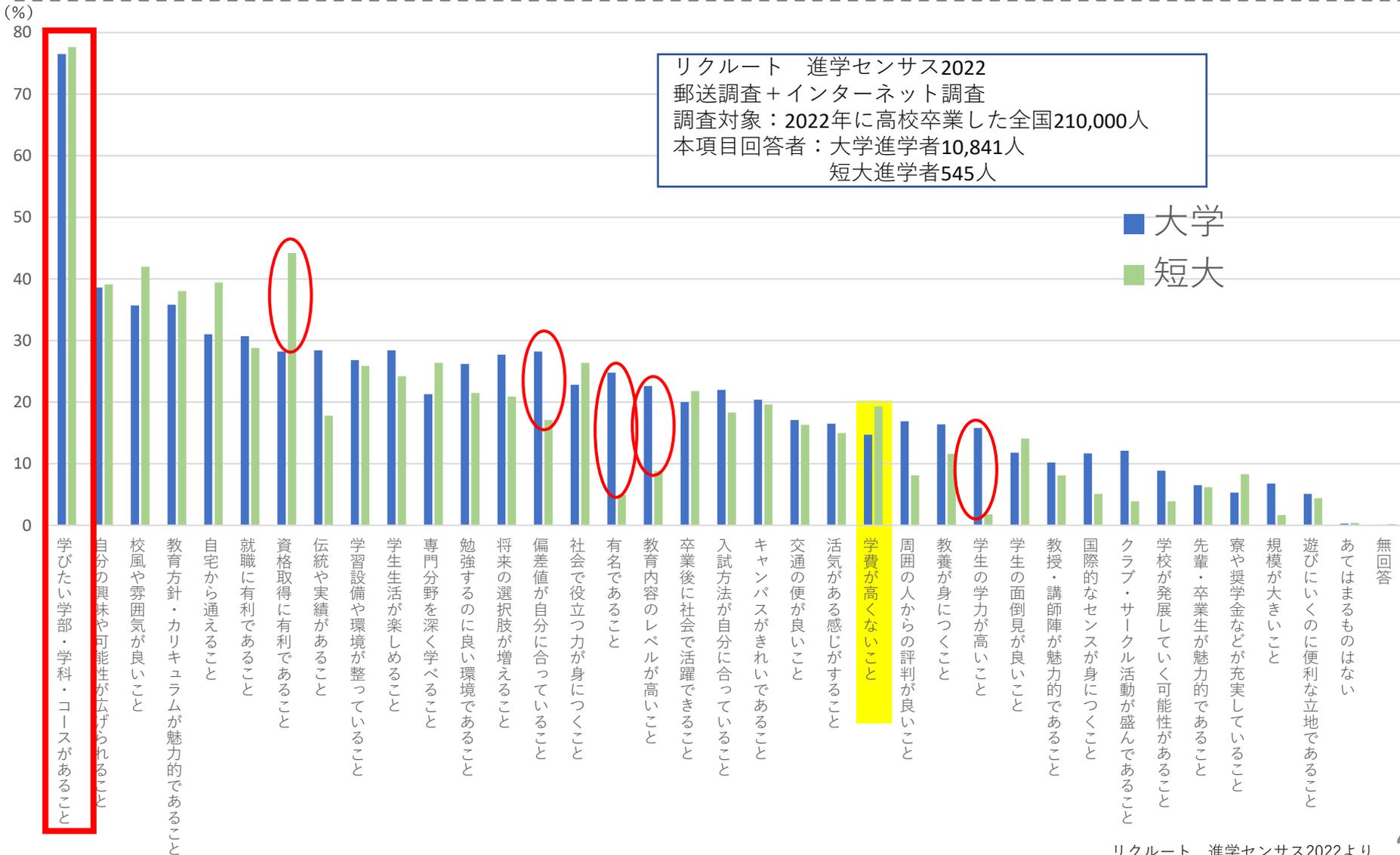
- 進学者 大学、短期大学の本科、別科、専攻科へ入学した者
- 自営業主等
- 無期雇用労働者
- 専修学校・外国の学校等入学者
- 臨時労働者
- 専修学校・外国の学校等入学者
- その他

## 短大卒業生数と短大から大学への編入者数の推移



# 進学先検討時の重視項目（大学進学者・短大進学者）

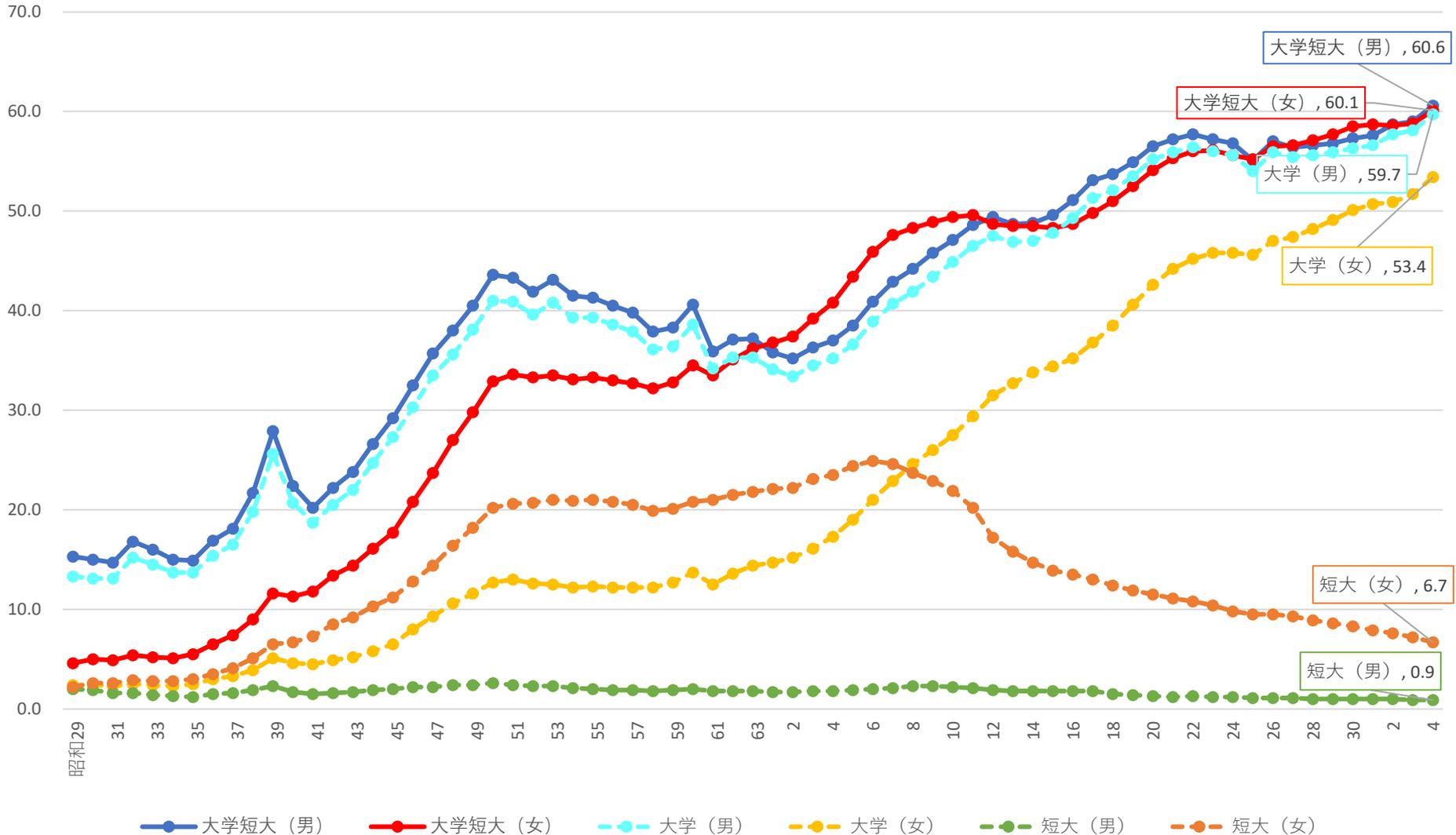
学びたい内容が最重要視されている。  
短大進学者は資格取得、大学進学者は学校の学力水準等を重要視の傾向。



## 男女別の進学・就業状況

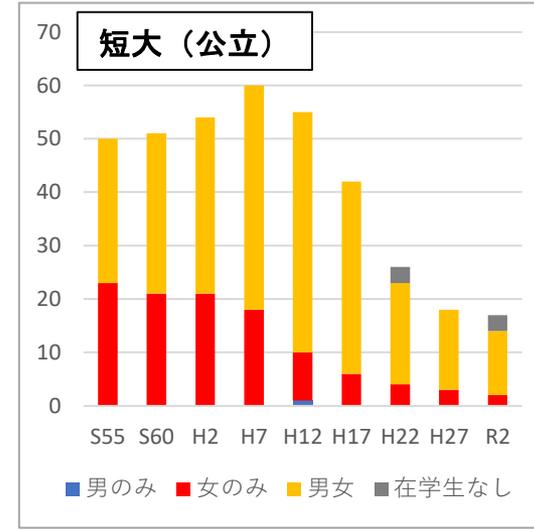
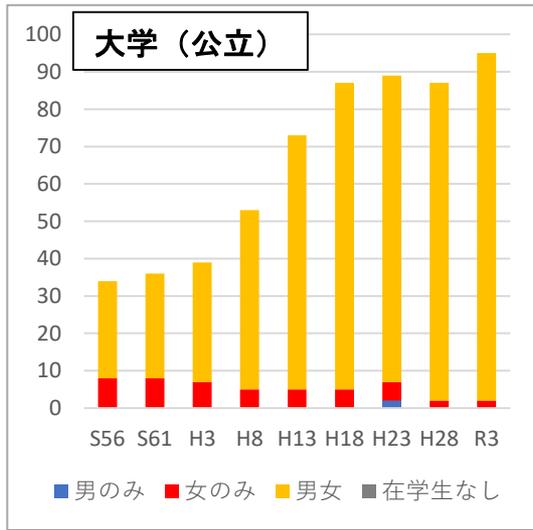
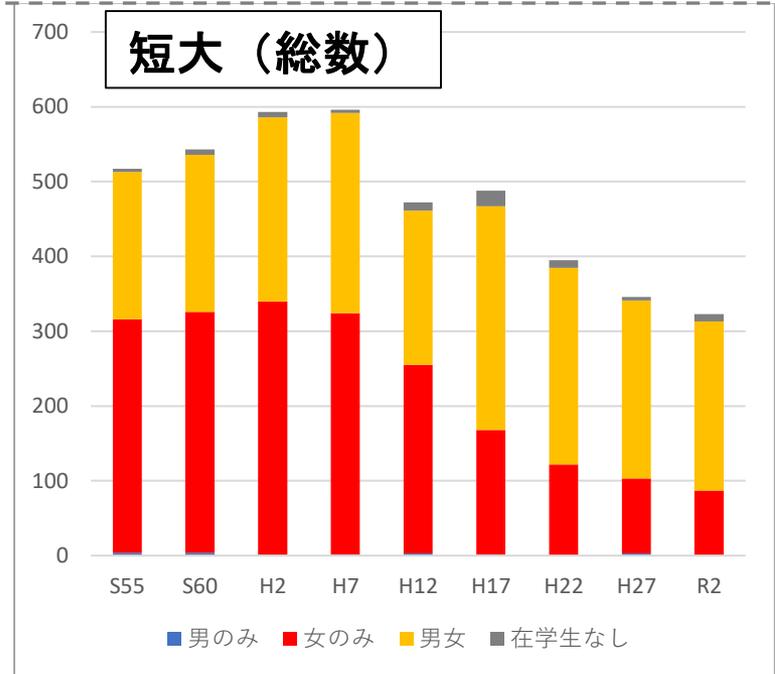
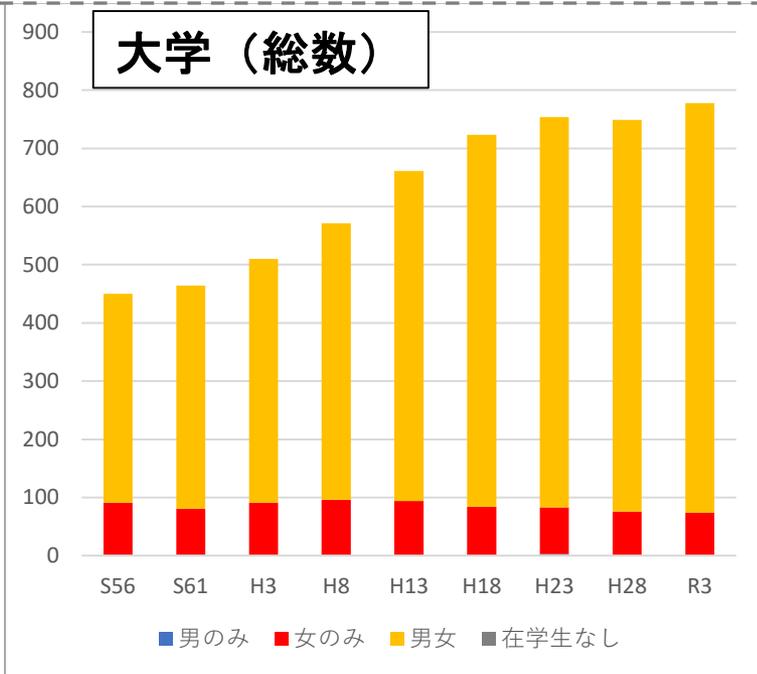
# 男女別大学・短大進学率の推移

男女の大学短大進学率はほぼ差がなくなった一方で、大学だけでは約6ポイントの差



# 共学・別学学校数の推移

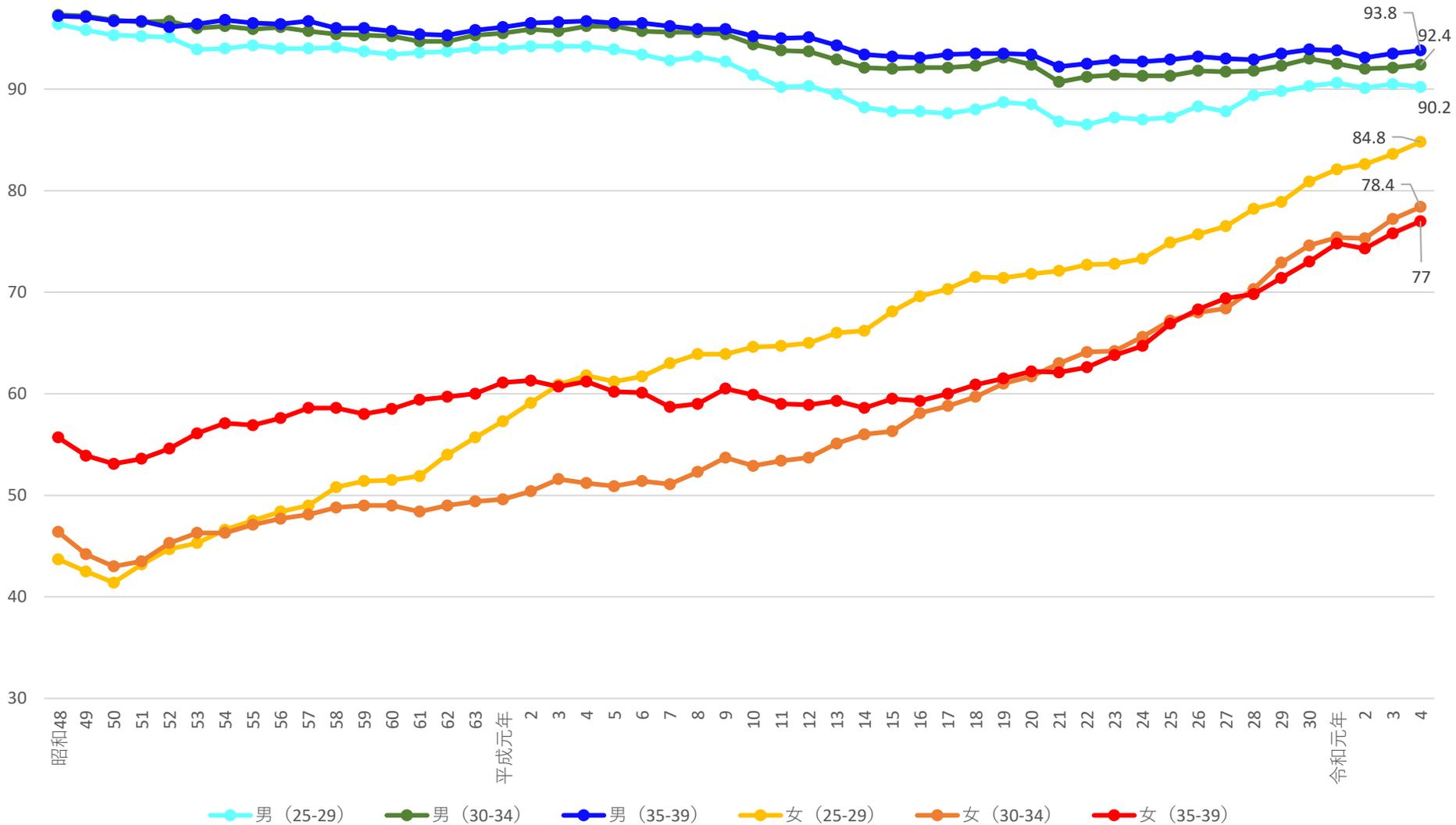
女子だけの短期大学は特に減少、公立では大学・短大ともに女子だけの2校ずつのみ



文部科学省「学校基本調査」より作成

# 男女別就業率の推移 (25~39歳の5歳階級)

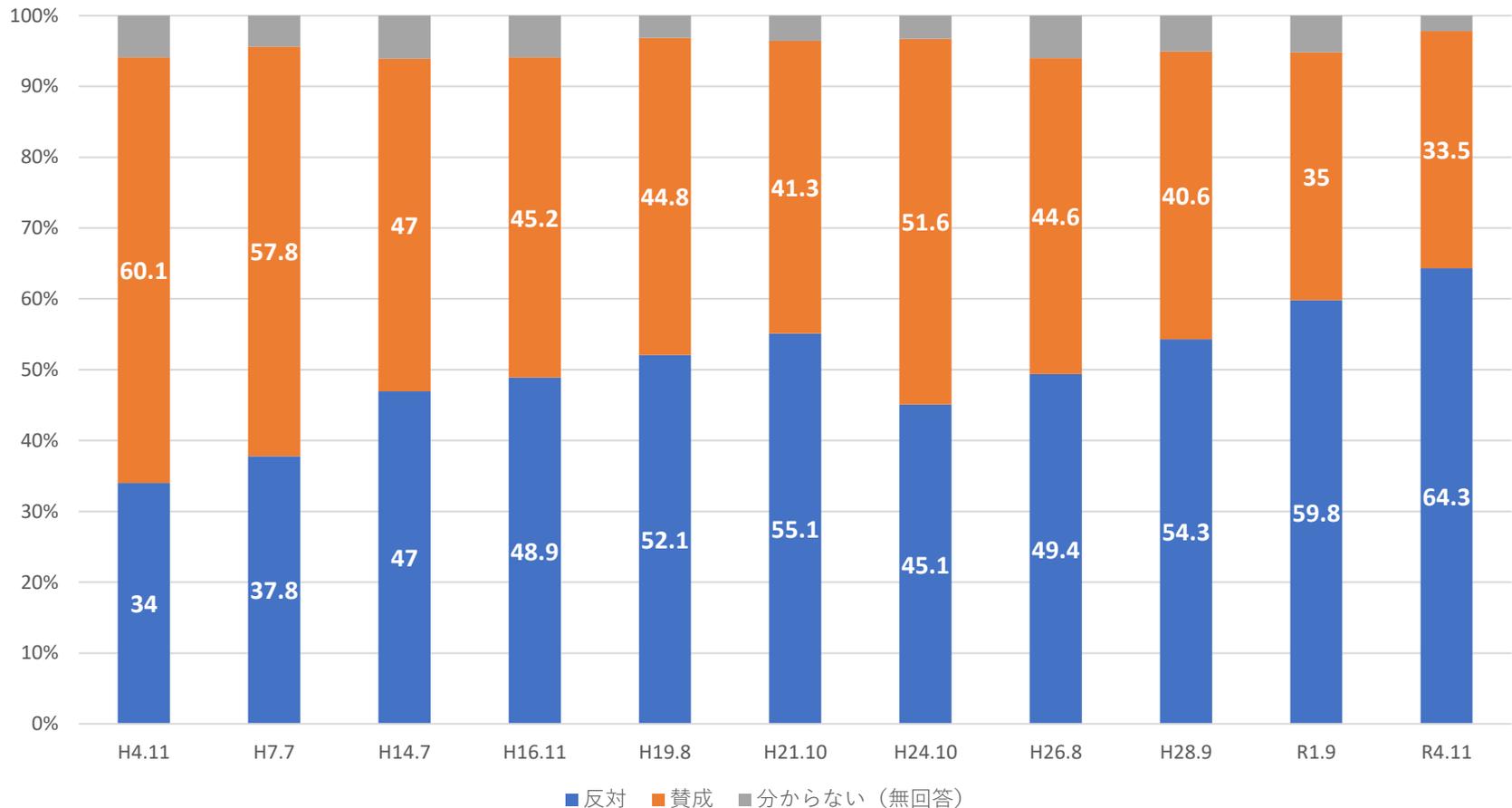
女性の就業率は上昇傾向が続く



# 世論の変化

「女性が家庭に」と考える割合は少なくなっている

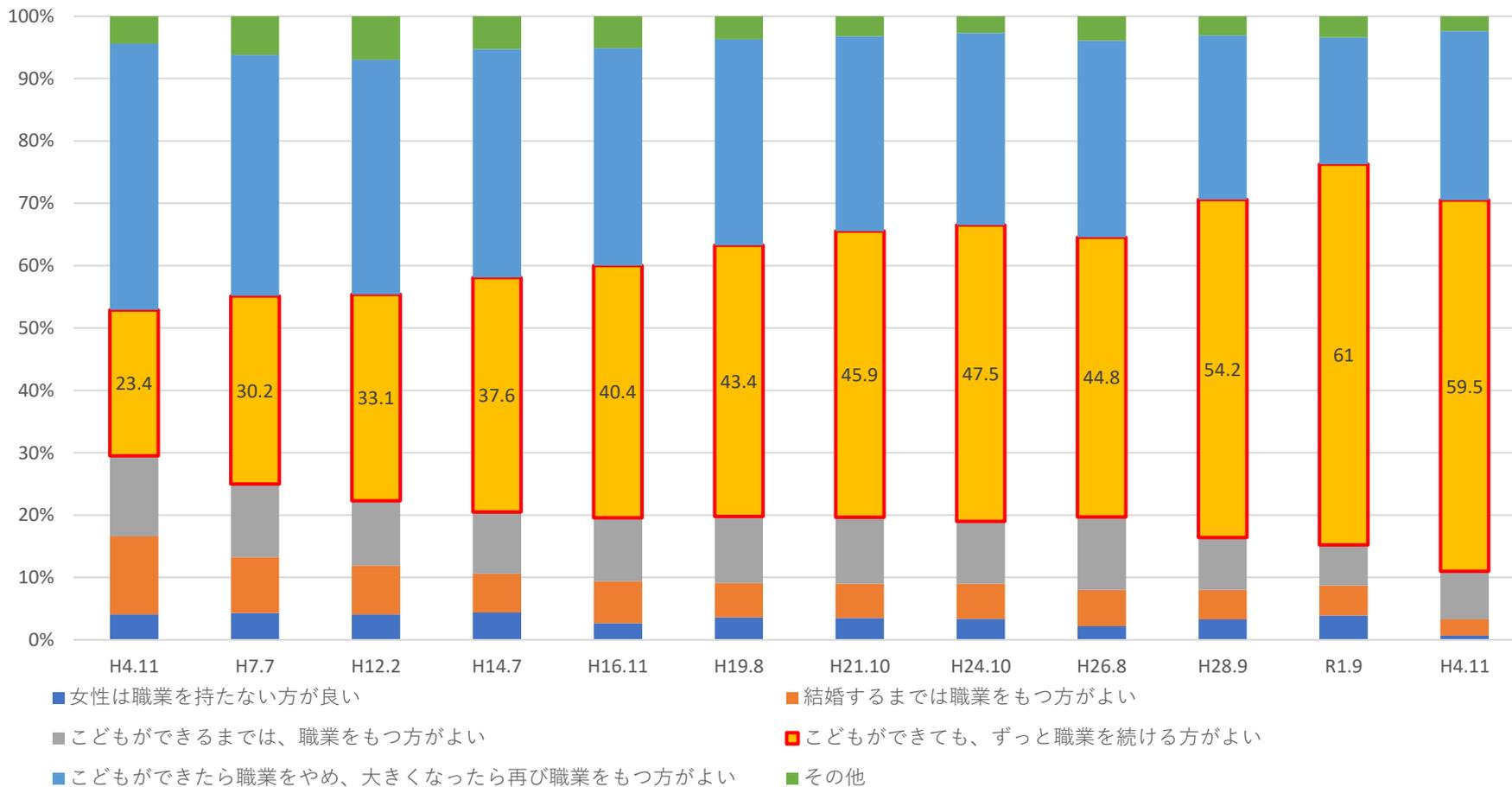
## 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識



# 世論の変化

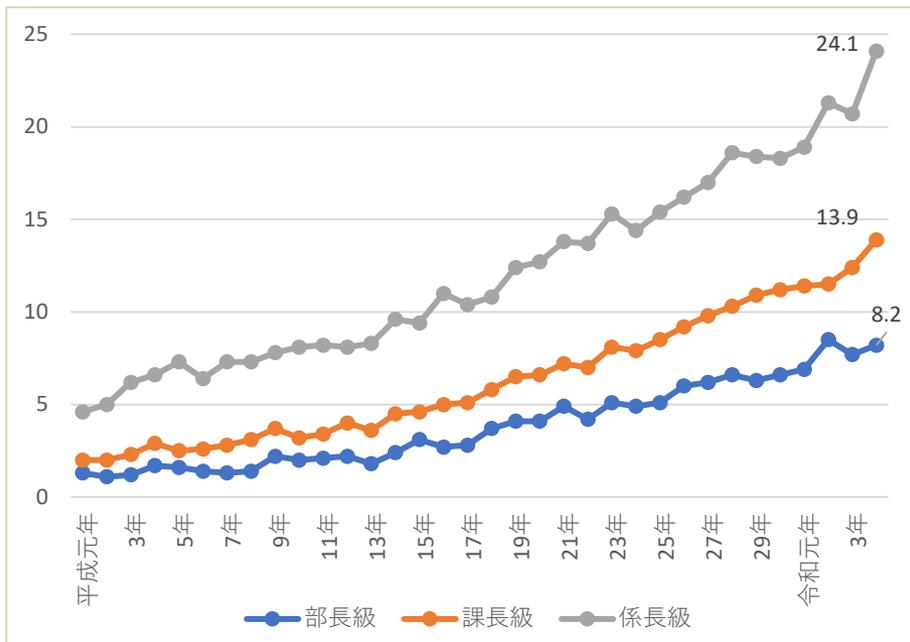
「こどもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える割合は広がっている

## 女性が職を持つことへの意識



# 民間企業における女性役員の推移

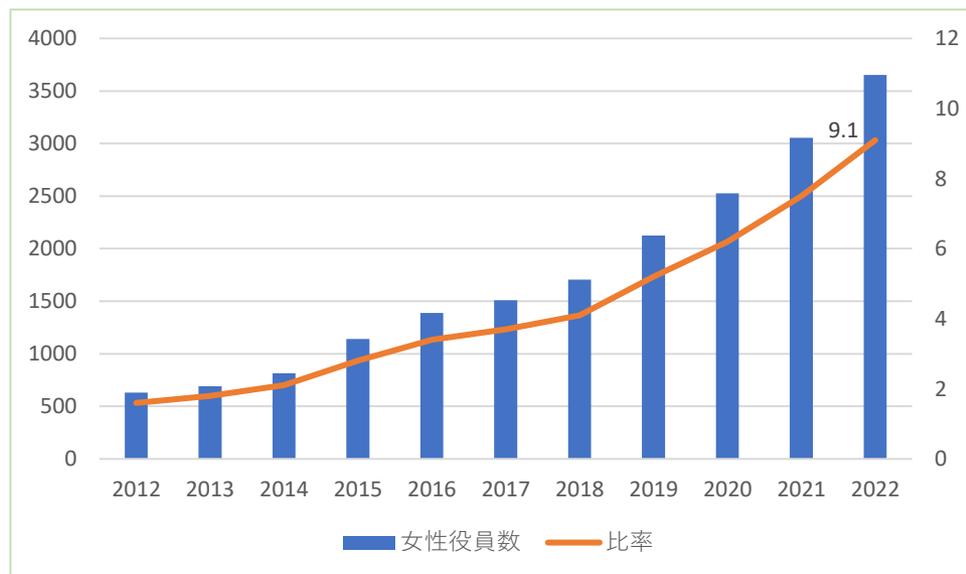
## 民間企業の雇用者の役職段階に占める女性割合推移



厚生労働省 賃金構造基本統計調査

企業において役職に就く女性比率は高まってきているが、高い比率とは言えない

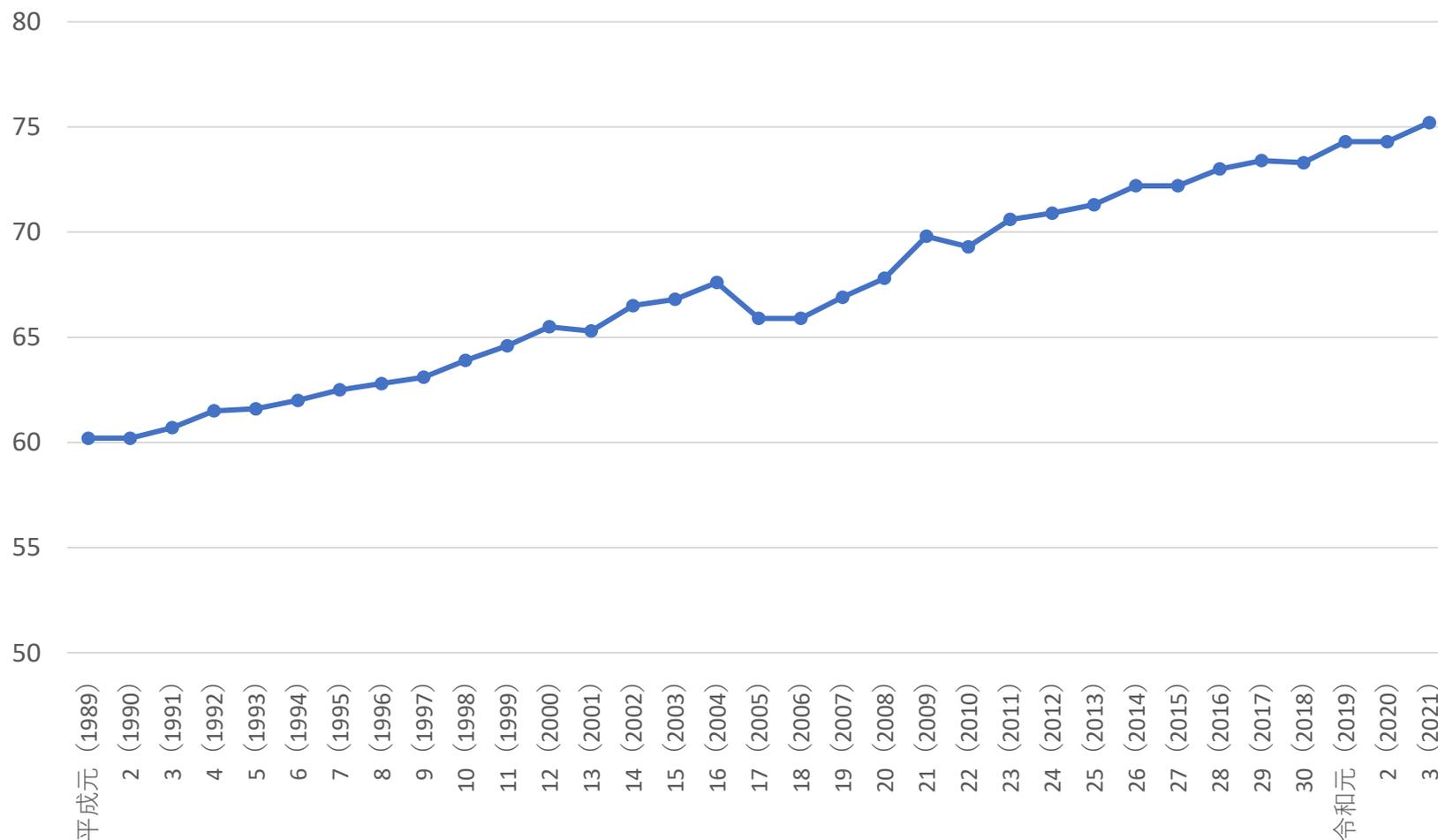
## 上場企業の役員に占める女性割合推移



# 男女の賃金格差の変化

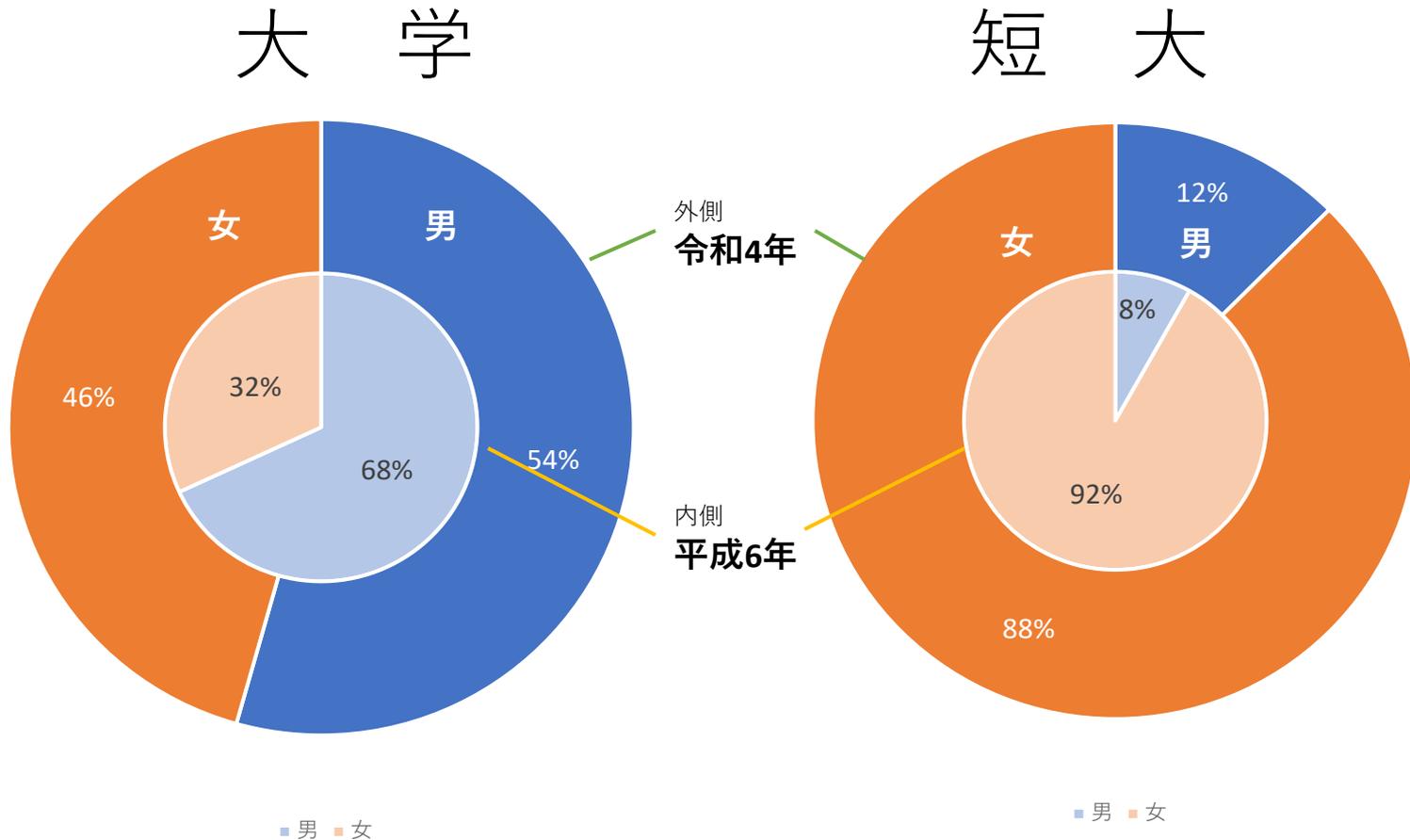
男女の賃金格差は縮まってきている。一方、まだ一定の差がみられる

## 男性一般労働者を100とした場合の女性一般労働者の給与水準



# 大学・短期大学の学生数の男女比の変化 (短大進学率がピークであったH6との比較)

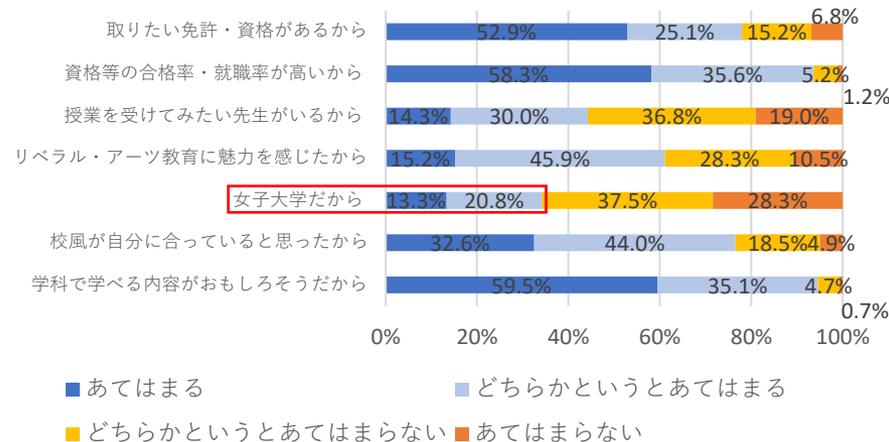
大学は女性比率が高くなり、短大は男性比率が増加



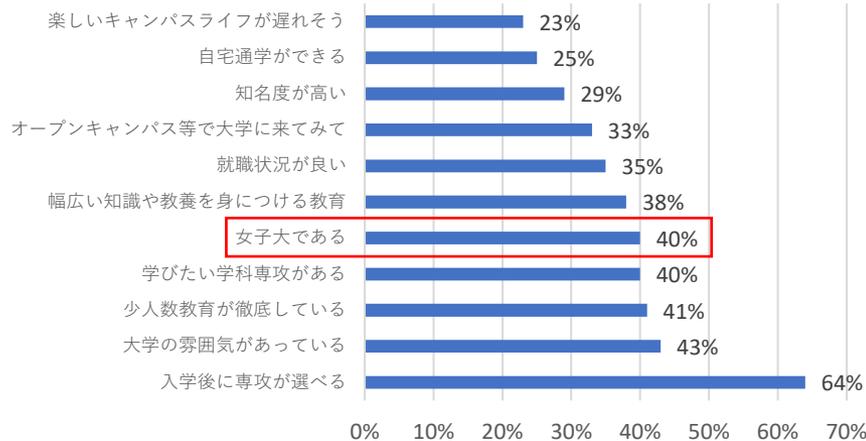
# 受験・入学における動機に関するアンケート事例

「女子校」であることが受験・入学動機になるかは差がみられる

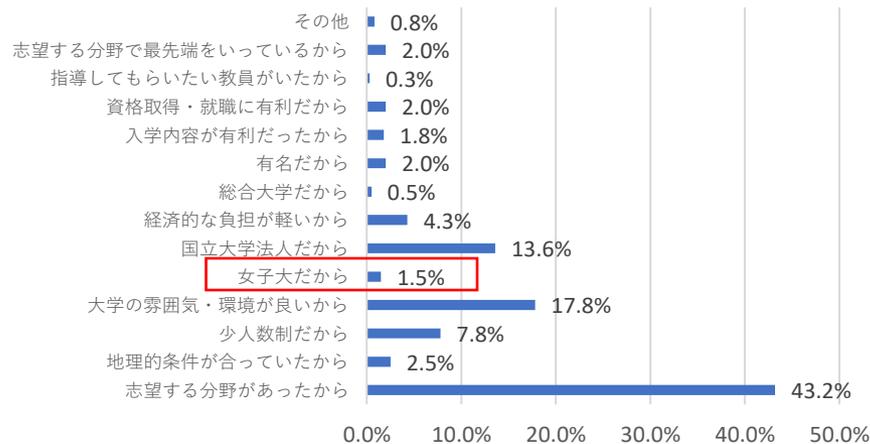
ノートルダム清心女子大学 (私立 岡山)  
R4調査 各項目4択



聖心女子大学 (私立 東京)  
R3調査 複数回答



お茶の水大学 (国立 東京)  
H24調査 いずれか選択



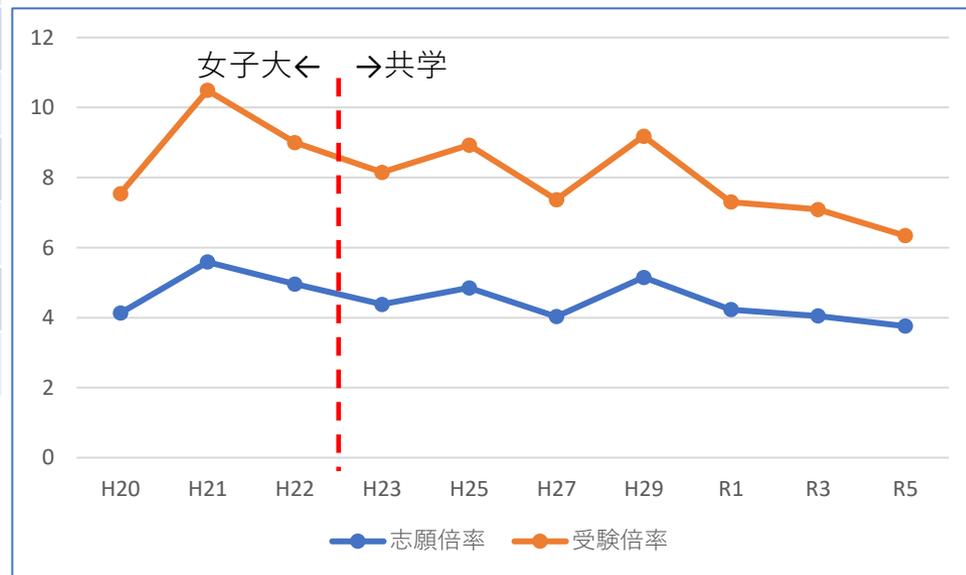
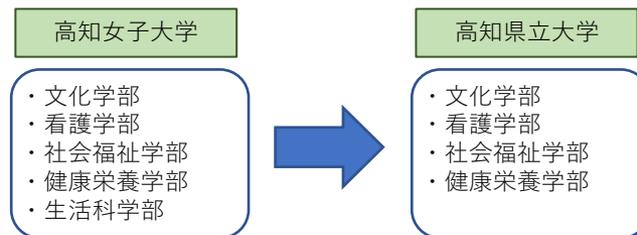
# 共学化した大学の受験入学状況の推移

現在の学校名：高知県立大学

経緯：平成23年、高知女子大学が高知県立大学と改称し共学化

		入学定員【A】	志願者数【B】	志願倍率【B/A】	受験者数【C】	受験倍率【C/A】	合格者数	入学者数【D】	入学定員充足率【D/A】
高知女子大学	H20年度	215人	888人	4.13倍	733人	3.41倍	300人	239人	111.2%
	H21年度	215人	1,201人	5.59倍	1,053人	4.90倍	307人	230人	107.0%
	H22年度	270人	1,338人	4.96倍	1,092人	4.04倍	360人	280人	103.7%
高知県立大学	H23年度	270人	1,182人	4.38倍	1,017人	3.77倍	334人	295人	109.3%
	H25年度	270人	1,309人	4.85倍	1,102人	4.08倍	333人	285人	105.6%
	H27年度	310人	1,249人	4.03倍	1,036人	3.34倍	369人	328人	105.8%
	H29年度	310人	1,598人	5.15倍	1,250人	4.03倍	376人	323人	104.2%
	R1年度	310人	1,310人	4.23倍	951人	3.07倍	352人	326人	105.2%
	R3年度	310人	1,254人	4.05倍	942人	3.04倍	353人	331人	106.8%
R5年度	310人	1,167人	3.76倍	800人	2.58倍	358人	326人	105.2%	

2011年度（平成23年度）～

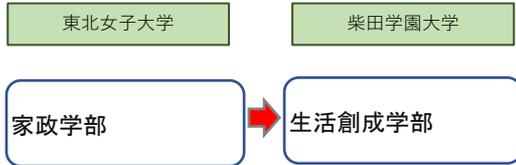


出所：高知県立大学ホームページ

# 共学化した大学の受験者数の変化

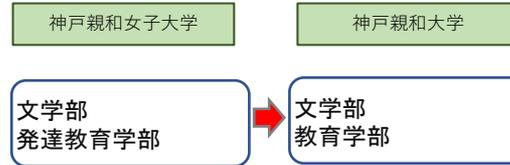
※比較数字は一般選抜（一般入試と共通テスト利用入試）分

## 柴田学園大学（青森）



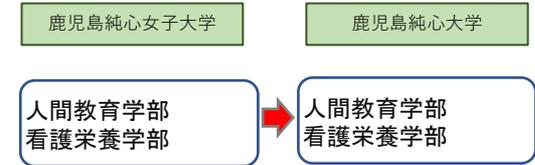
2021年度（令和3年度）～

## 神戸親和大学（兵庫）



2023年度（令和5年度）～

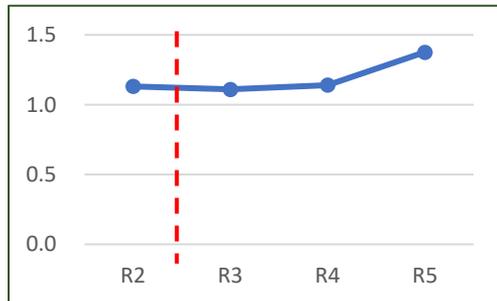
## 鹿児島純心大学（鹿児島）



2023年度（令和5年度）～

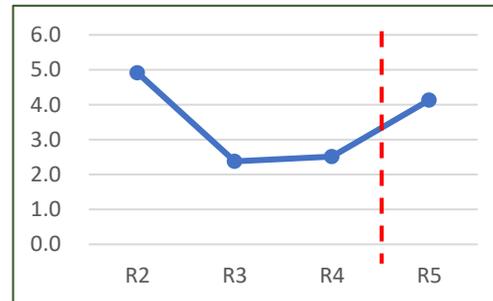
		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
東北女子	令和2年度	61	69	69	69
	令和3年度	55	61	60	59
柴田学園	令和4年度	50	57	53	53
	令和5年度	48	66	65	62

志願者倍率 = 志願者数 / 募集人数



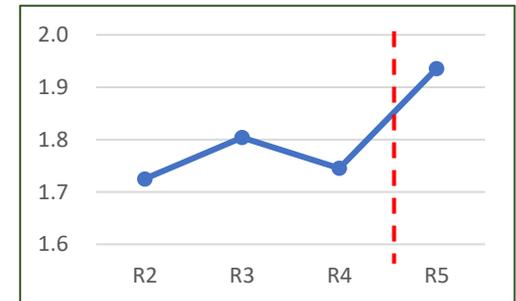
		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
神戸親和女子	令和2年度	192	944	922	636
	令和3年度	229	545	530	413
	令和4年度	204	513	492	375
神戸親和	令和5年度	204	843	815	520

志願者倍率 = 志願者数 / 募集人数



		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
鹿児島純心女子	令和2年度	120	207	200	159
	令和3年度	102	184	179	157
	令和4年度	102	178	177	156
鹿児島純心	令和5年度	93	180	179	150

志願者倍率 = 志願者数 / 募集人数

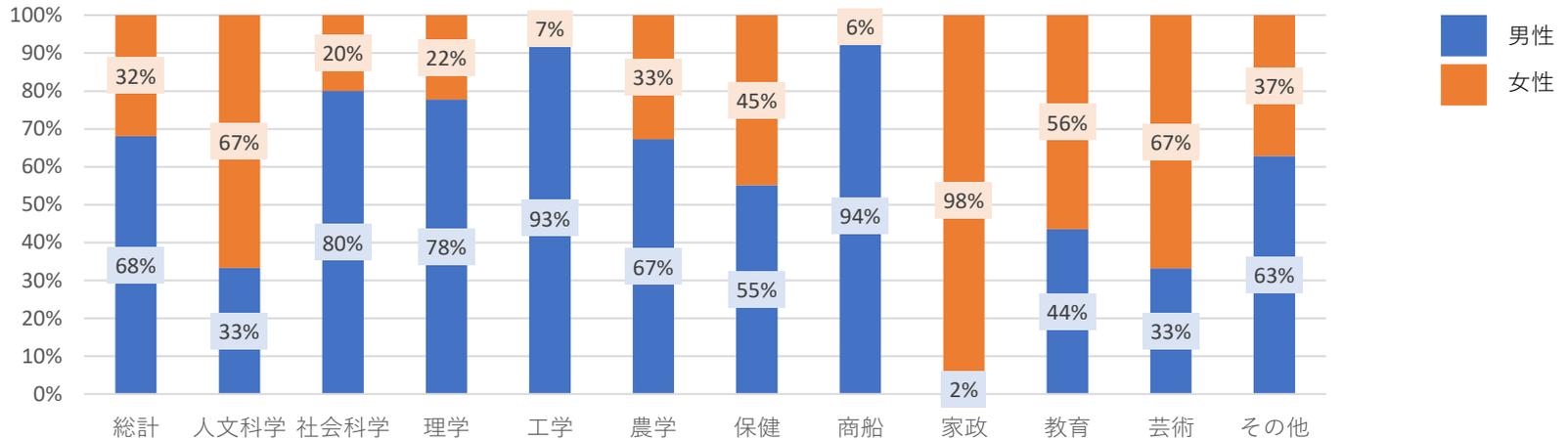


募集人数、志願者数、受験者数、合格者数は代々木ゼミナールホームページより引用  
 ※一般選抜（一般入試と共通テスト利用入試）の合計値

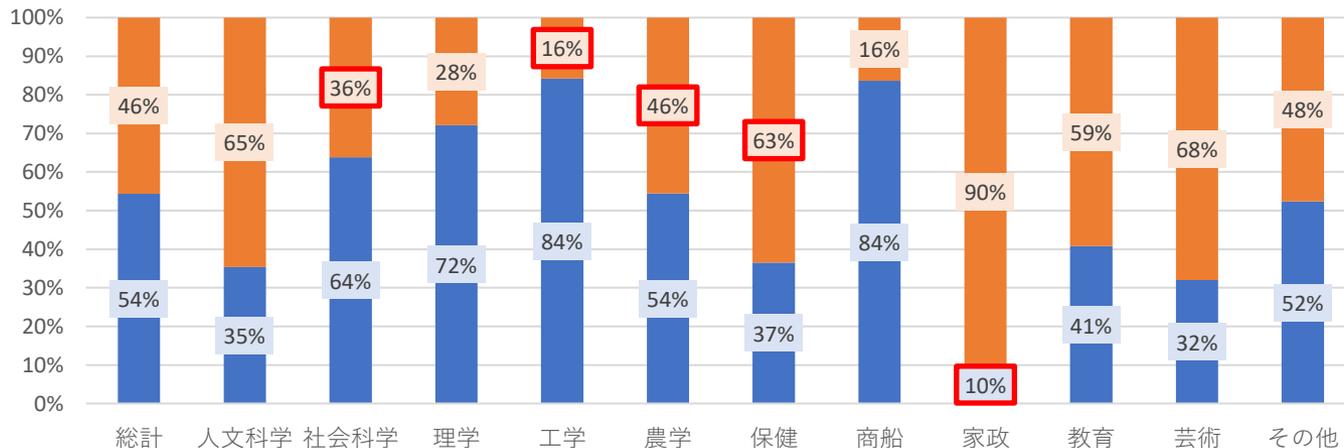
# 大学における学部分類ごとの男女比 (全国大学における在学生数割合)

社会科学、工学、農学、保健において女性の比率が高まり、家政で男性の比率が高まっている

平成6年

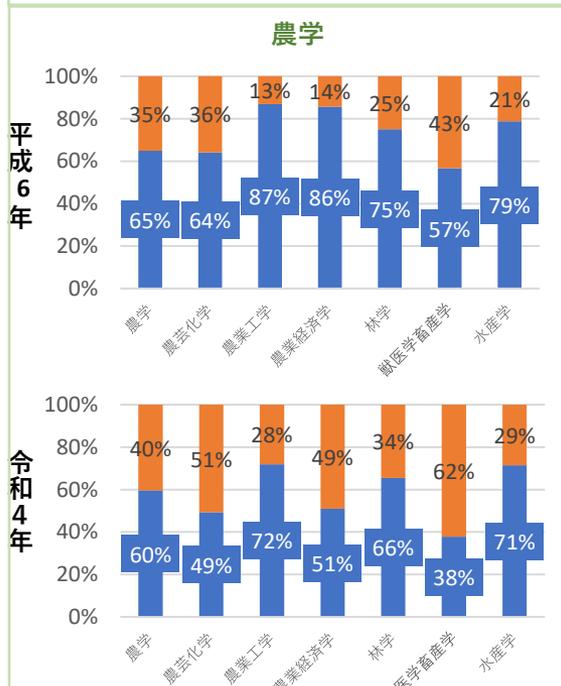
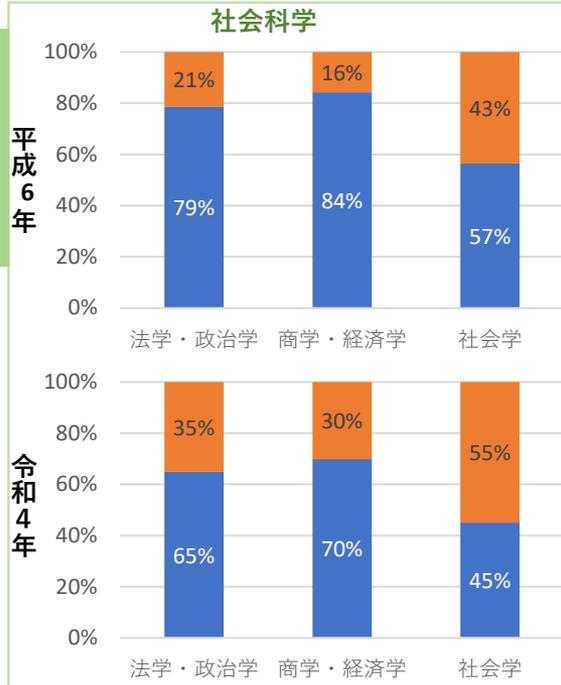
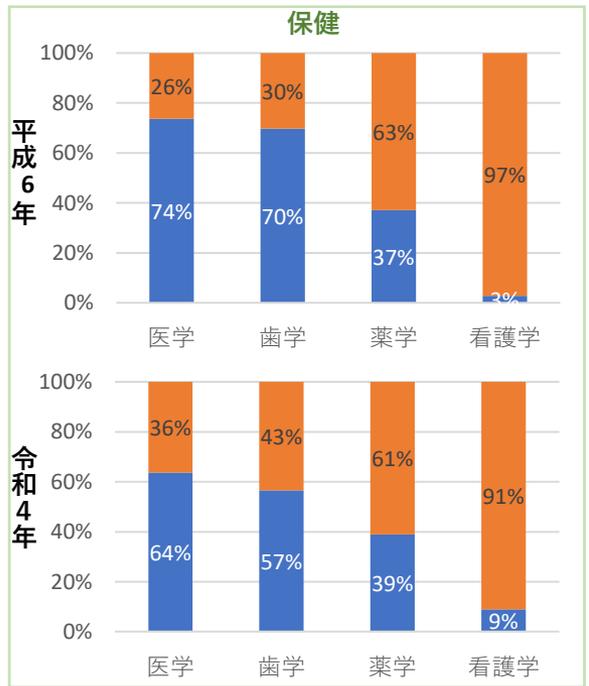


令和4年



# 男女比の変化の 大きい分野の 学科分類 男女比の変化

■ 男性  
■ 女性



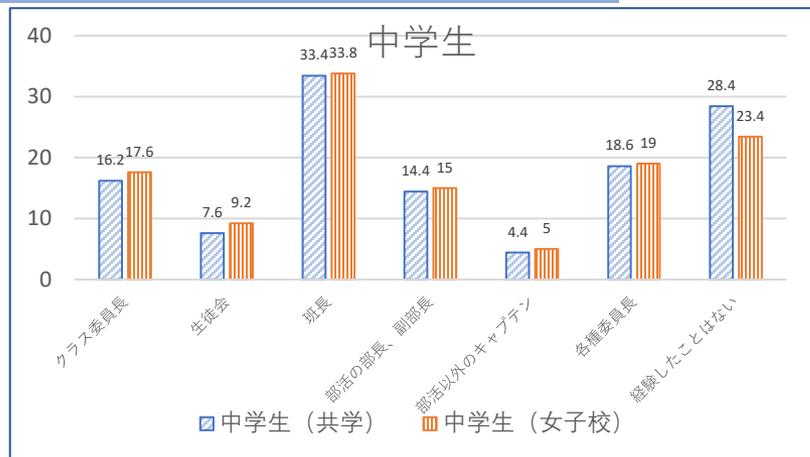
# 学校におけるリーダーシップに関する女子アンケート事例

調査主体：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

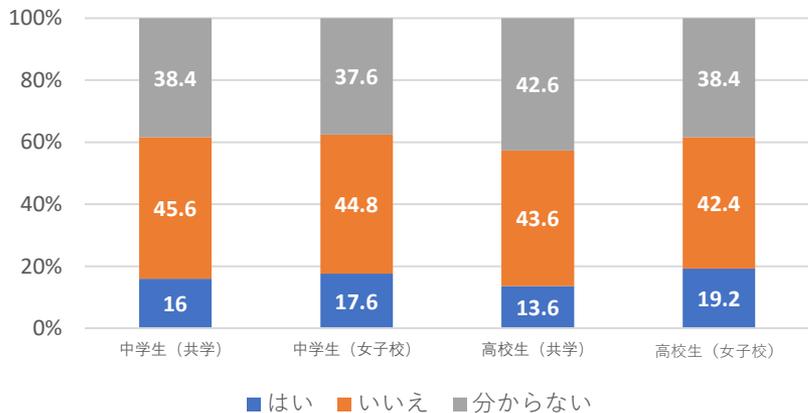
調査時期：令和3年8月

調査対象：女子中高校生2000人（共学中学校500人、別学中学校500人、共学高校500人、別学高校500人）

## 学校におけるリーダーの経験の有無



## リーダーになりたいか



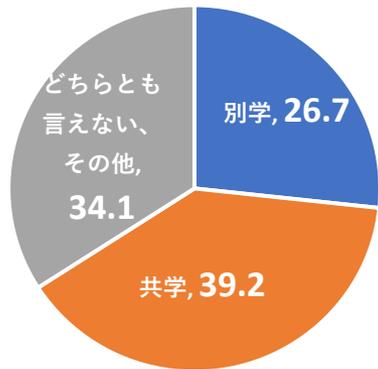
# 別学共学に関する調査事例

朝日新聞デジタル調査（2021）より

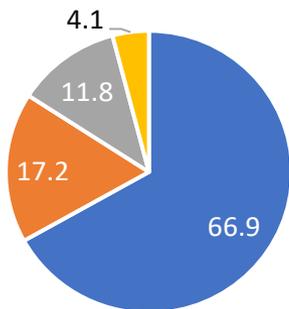
※特に高等教育だけに対する調査ではない

別学、共学への考え方は、分かれている。  
共学に対して「男女ともにいることが社会で当然」という理由が多い。

別学と共学どちらが良いか

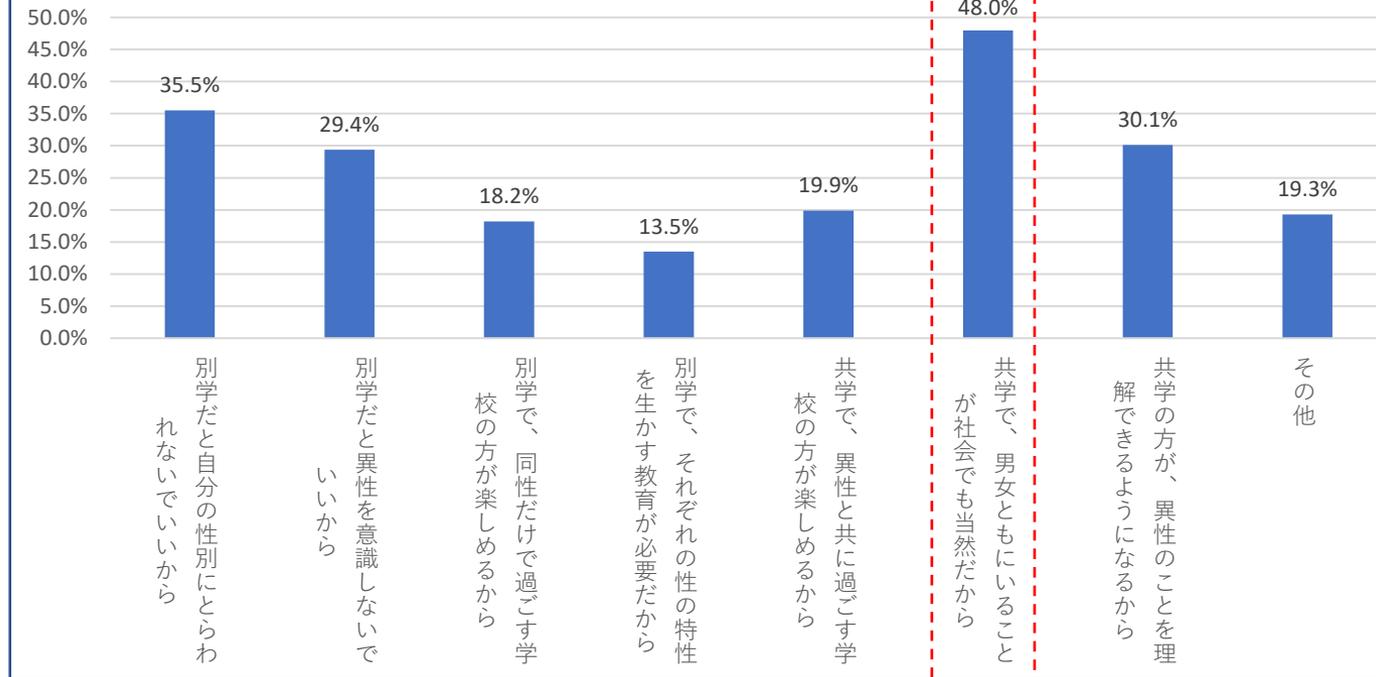


今後、男女別学はどうなっていくとよいか



- 別学か共学が選択できればいい
- 少なくとも公立学校は、将来的にはすべて共学にすべきだ
- 公立学校にしる私立学校にしる、将来的にはすべて共学にすべきだ
- その他

なぜ、そう思うか



2021.6.14-30  
朝日新聞デジタルフォーラムでの調査  
296回答（男90，女193，その他13）  
10代27人、20代55人、30代39人、40代66人、  
50代68人、60代32人、70代以上9人

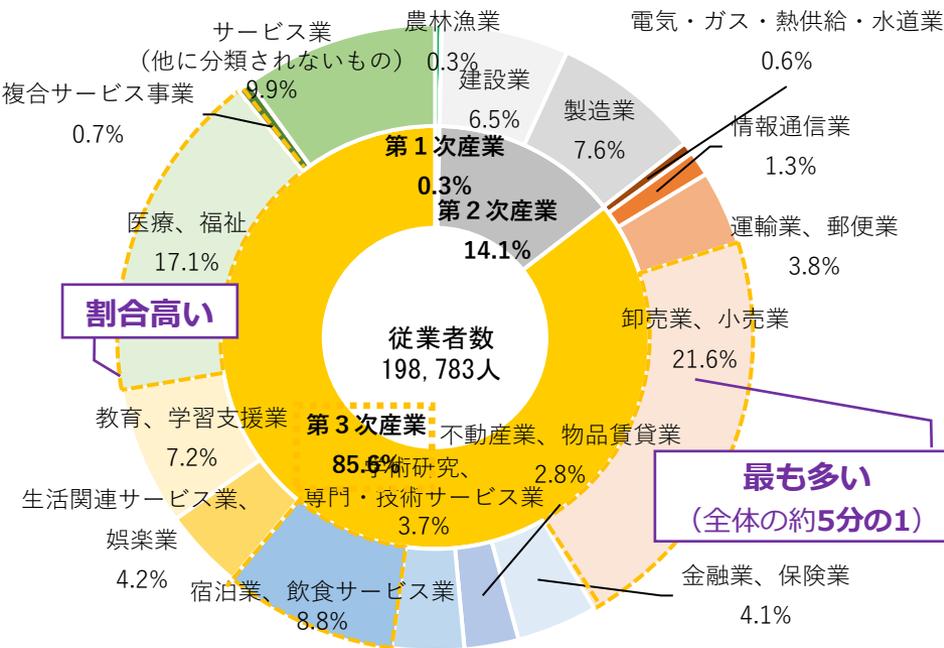
朝日新聞デジタル調査（2021）より作成

## 労働力人口・採用動向

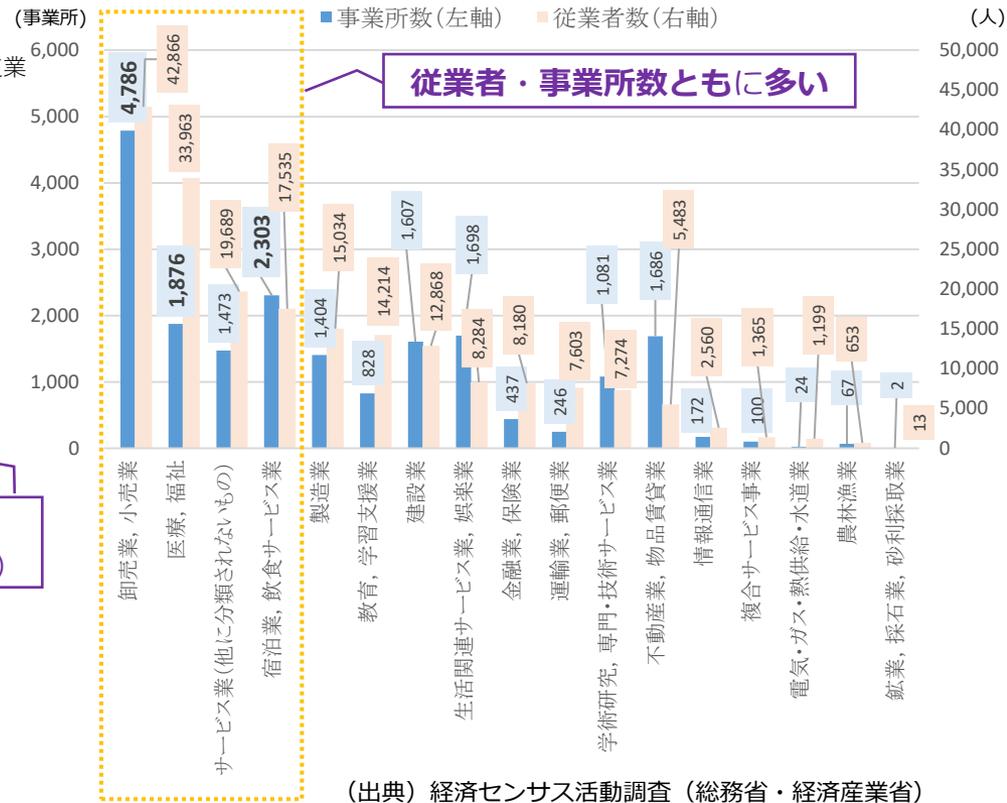
# 岐阜市の産業分類別従業者数の構成比（2021年）

第3次産業（卸売業・小売業）の就業者の割合が高い

① 岐阜市の産業分類別従業者数の構成比（2021年） ※速報値

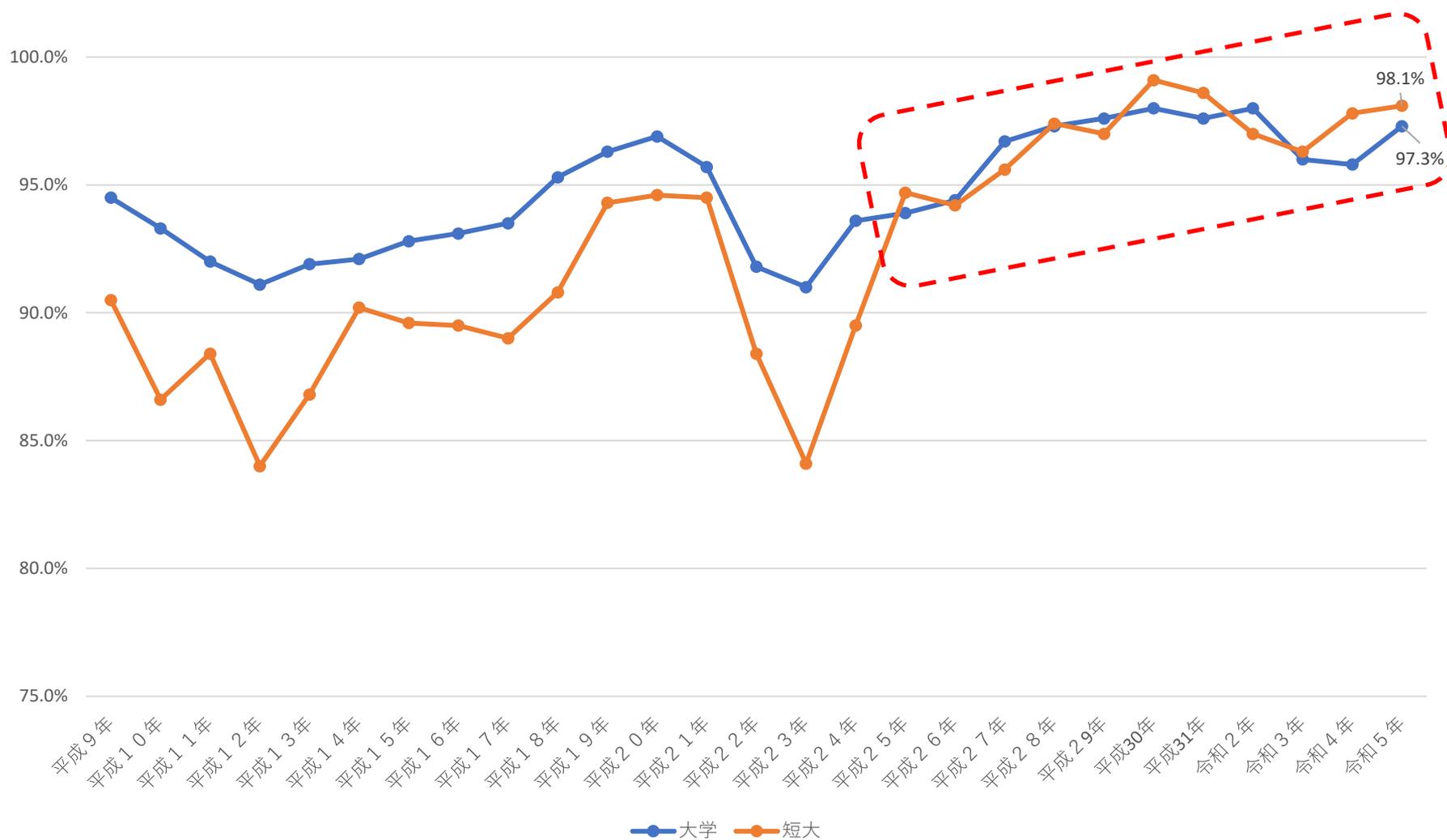


② 岐阜市の産業分類別従業者数・事業所数（2021年） ※速報値



# 大学短大卒業者の就職内定率（各年4月1日時点）

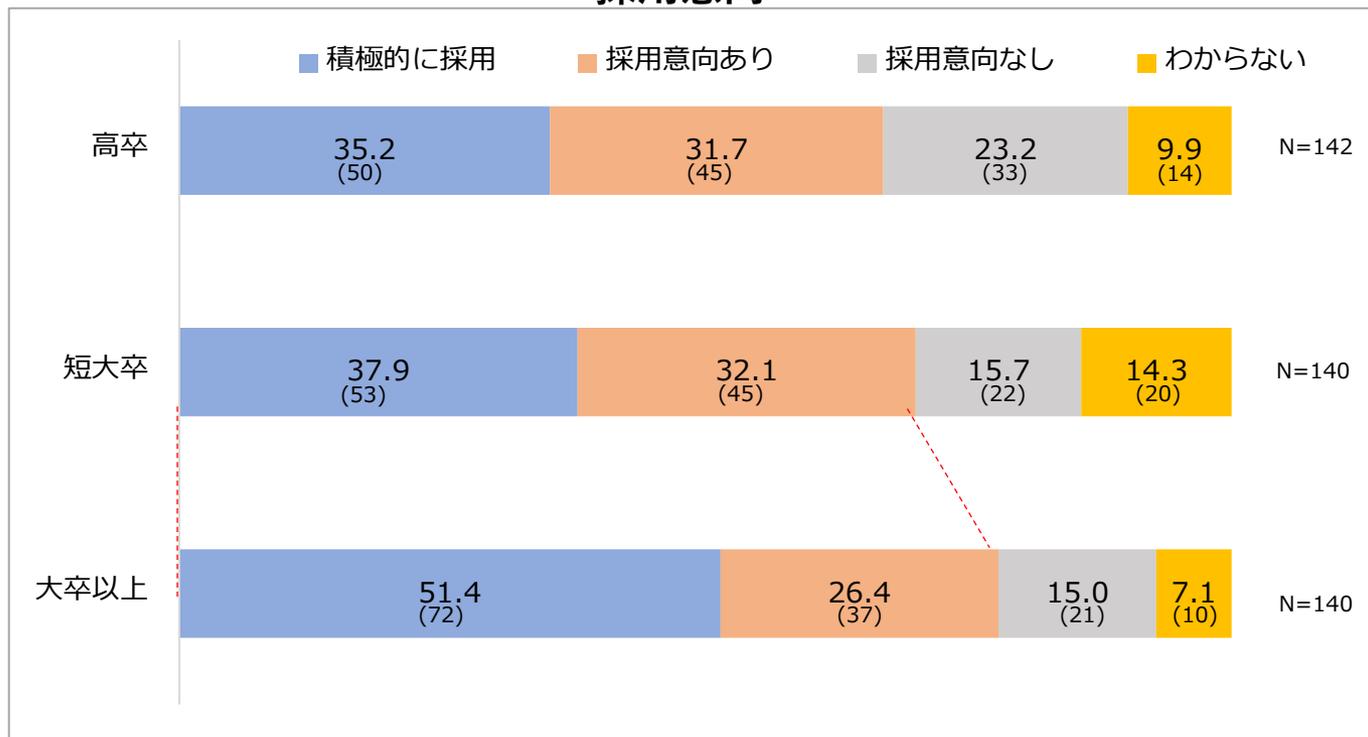
大卒者、短大卒者ともにこの10年程度は就職内定率に大きな差はみられない



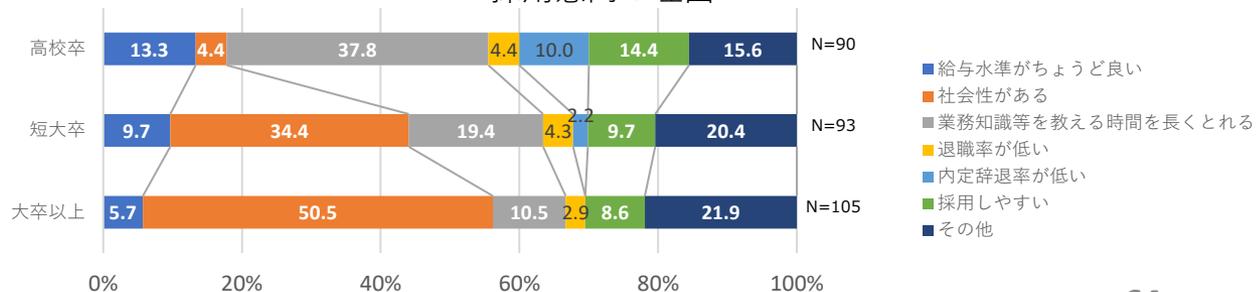
# 岐阜市近隣企業の採用意向（R3調査結果）

大卒者への採用意向が高い

## 採用意向



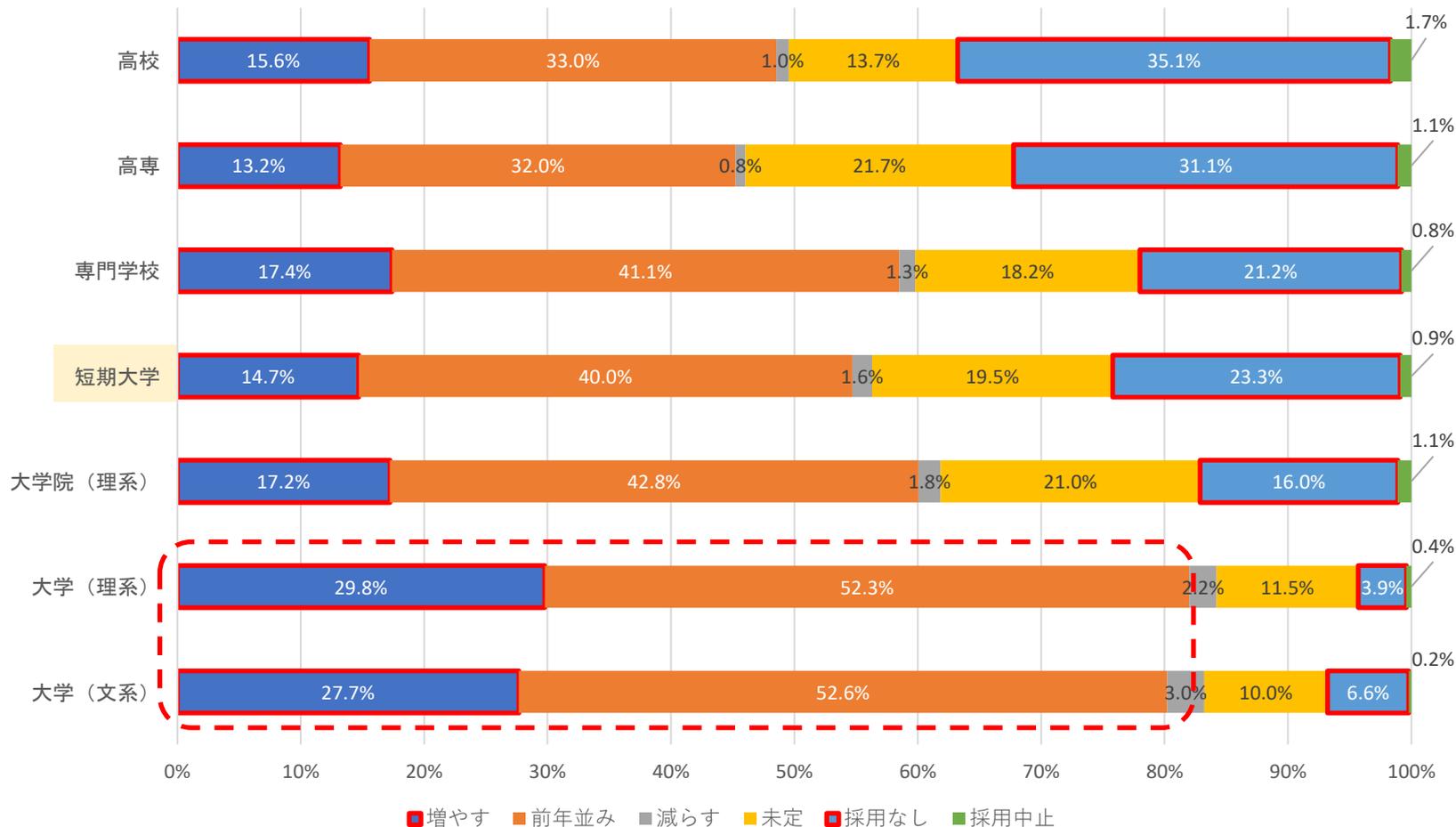
## 採用意向の理由



# 2024年卒 企業新卒採用予定の動向

大卒者への採用意向が高い

本項目回答数1935社



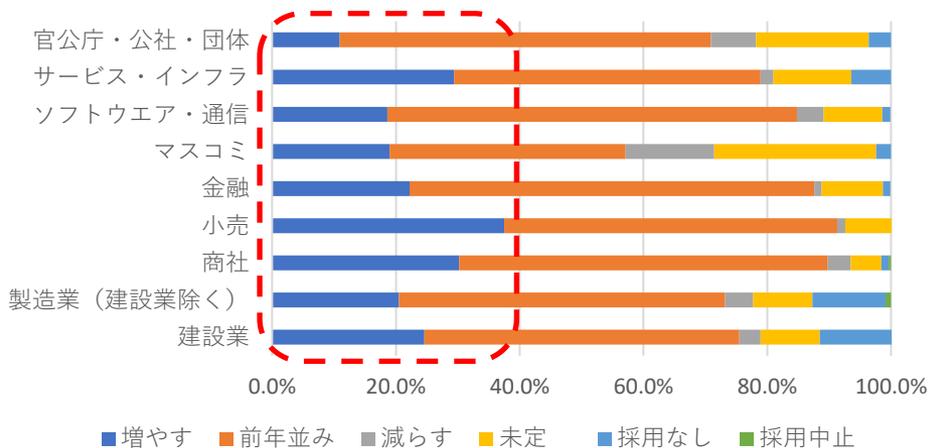
マイナビ 2024年卒 企業新卒採用予定調査より作成

調査：令和5年2月1日～14日 Webにて  
有効回答数2036社（上場181社、非上場1855社（製造765社、非製造1271社））

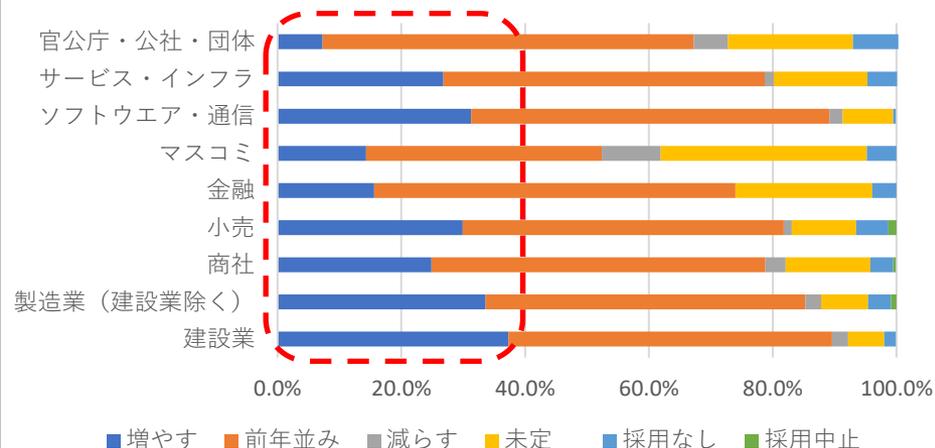
# 2024年卒 企業新卒採用予定（業種別）の動向

大卒は全体的に採用意向が高い。短大卒では小売業でのニーズが見られる。

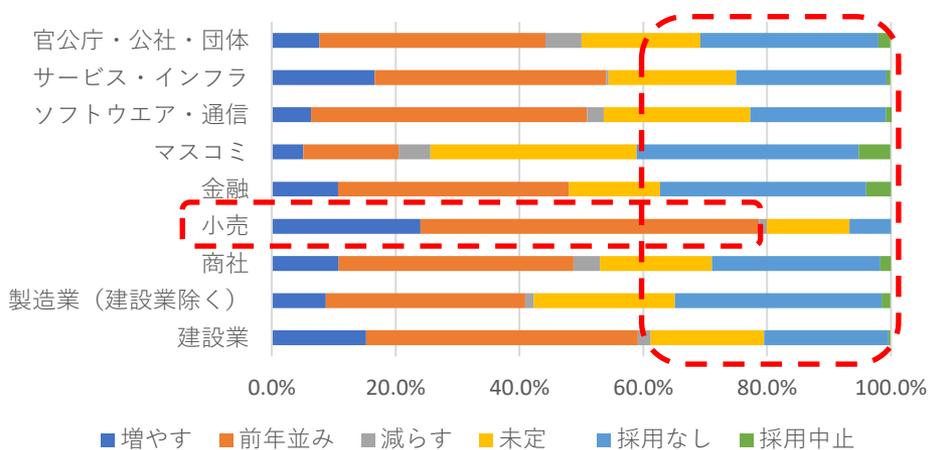
## 大卒（文系）



## 大卒（理系）

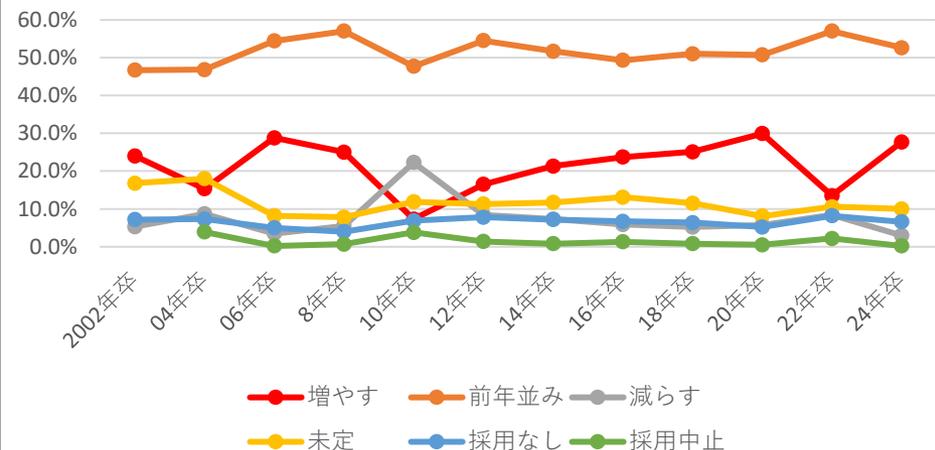


## 短大卒

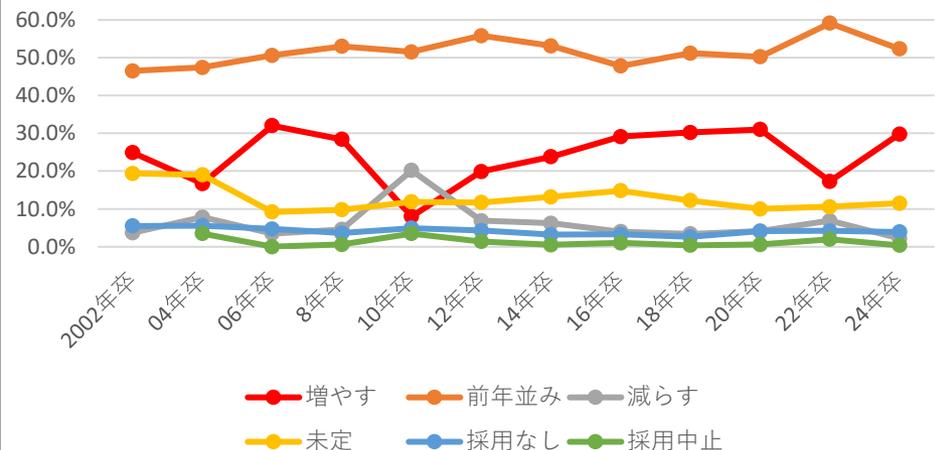


# 2024年卒 企業新卒採用予定（経年比較）

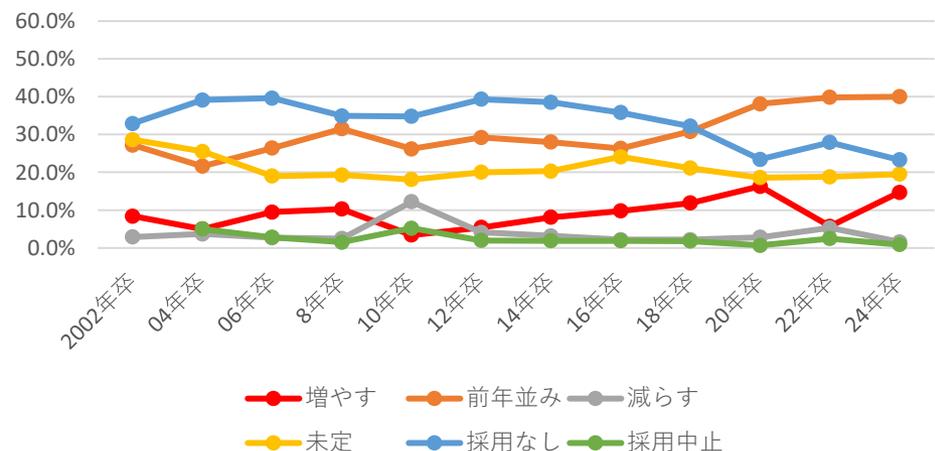
## 大卒（文系）



## 大卒（理系）



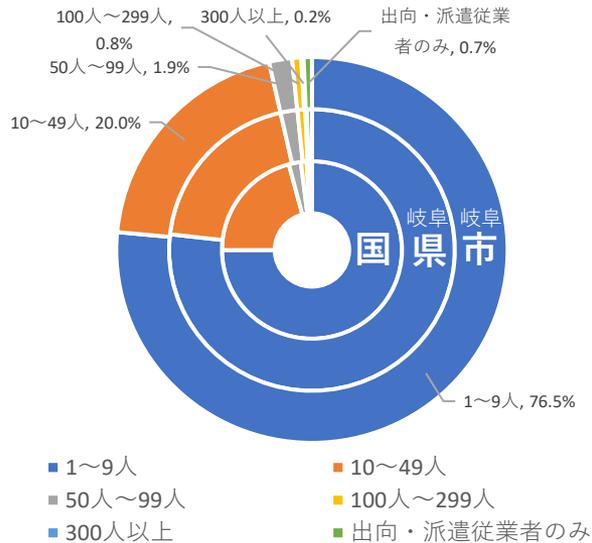
## 短大卒



# 岐阜県内中小企業における経営上の障害

中小企業において、物価高騰と並び、労働力不足（量）と人材不足（質の不足）が課題

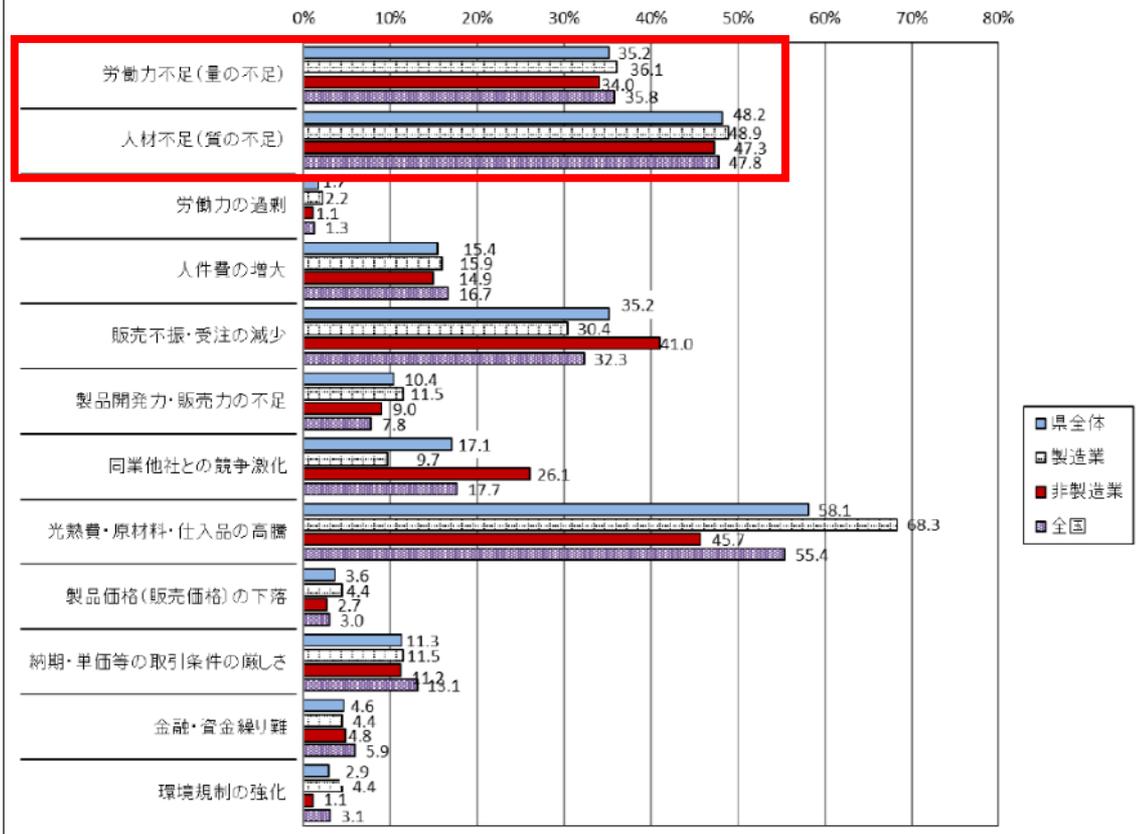
国県市の企業の従業員数規模による分布状況



R3経済センサスより作成

経営上の障害(業種別)

県全体 n=415 製造業 n=227 非製造業 n=188

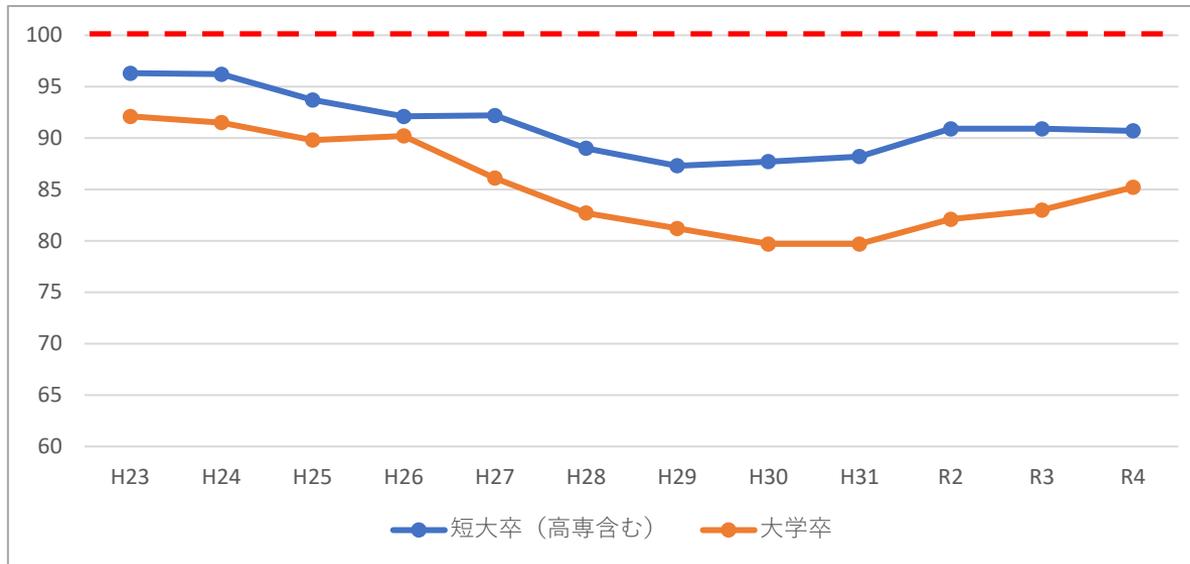


# 中小企業における新卒者採用充足状況

充足率 = 採用実績人数 / 採用計画人数

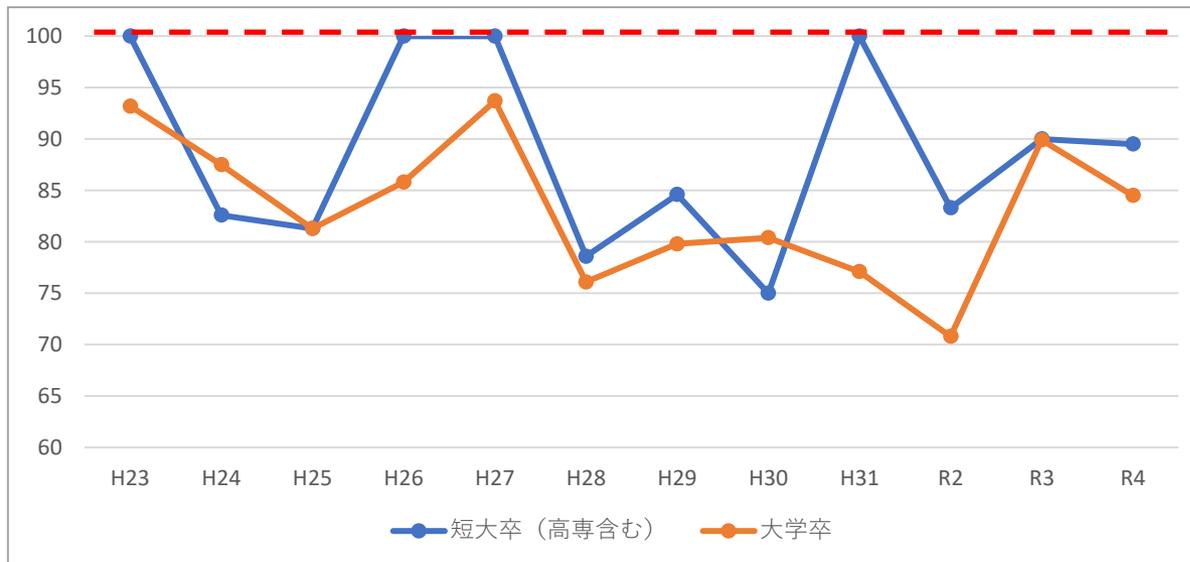
大卒、短大卒（高専含む）ともに採用が充足できていない。特に大卒者採用に不足感

全国



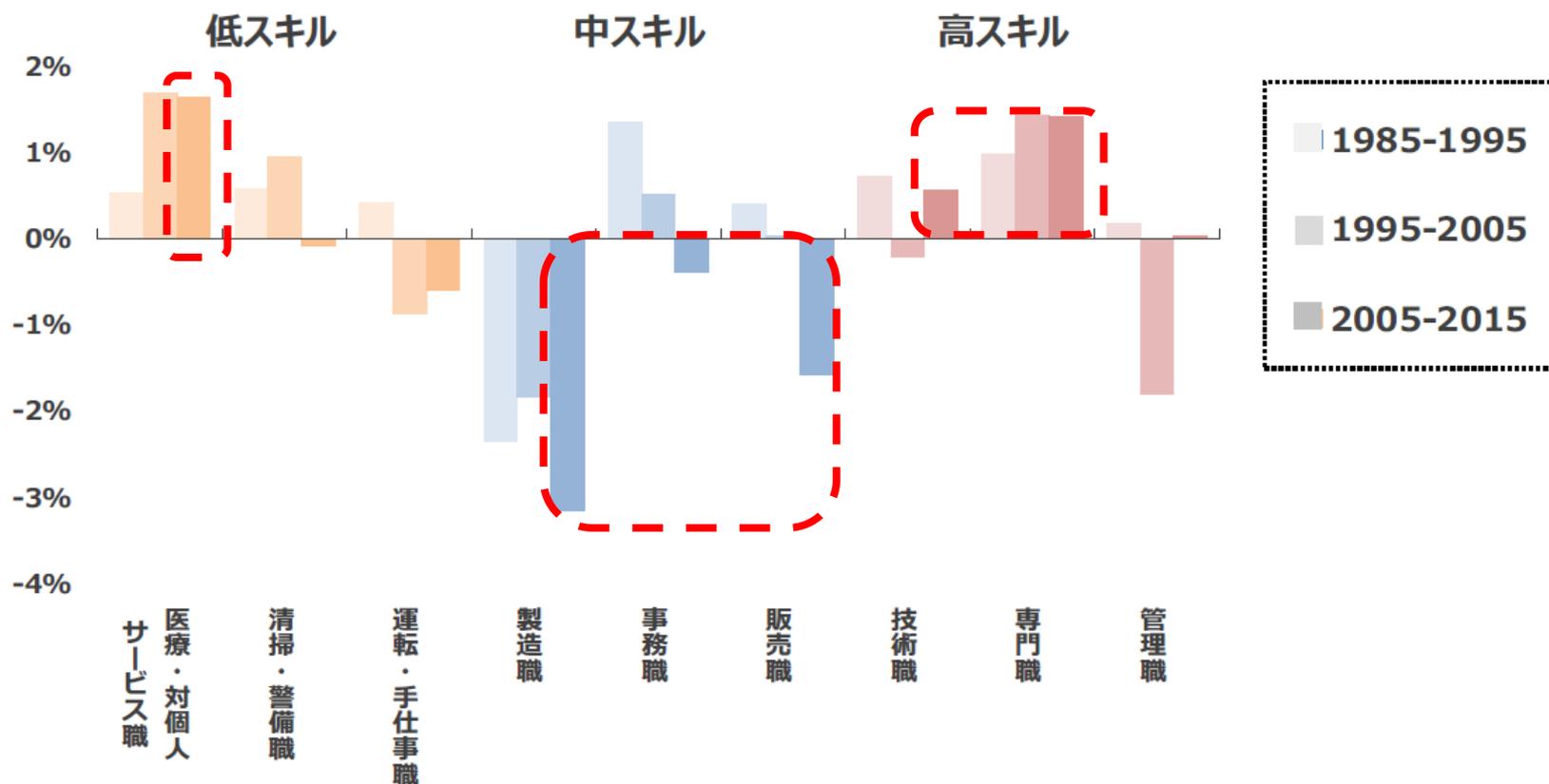
【対象数】  
R4全国 岐阜県  
大卒：1126社 36社  
短大卒：185社 7社

岐阜県内



# 職業別就業者シェアの変化（経産省 未来人材ビジョン（R4.5）より）

製造職、事務職等の中スキルのシェアは減り、専門職、技術職などの高スキルのニーズが高まっている（スキルの二極化）



（注1）「労働市場の両極化」は、専門・技術職等の高スキル職や、医療・対個人サービス職等の低スキル職で就業者が増加する一方、製造職や事務職等の中スキル職が減少する現象。

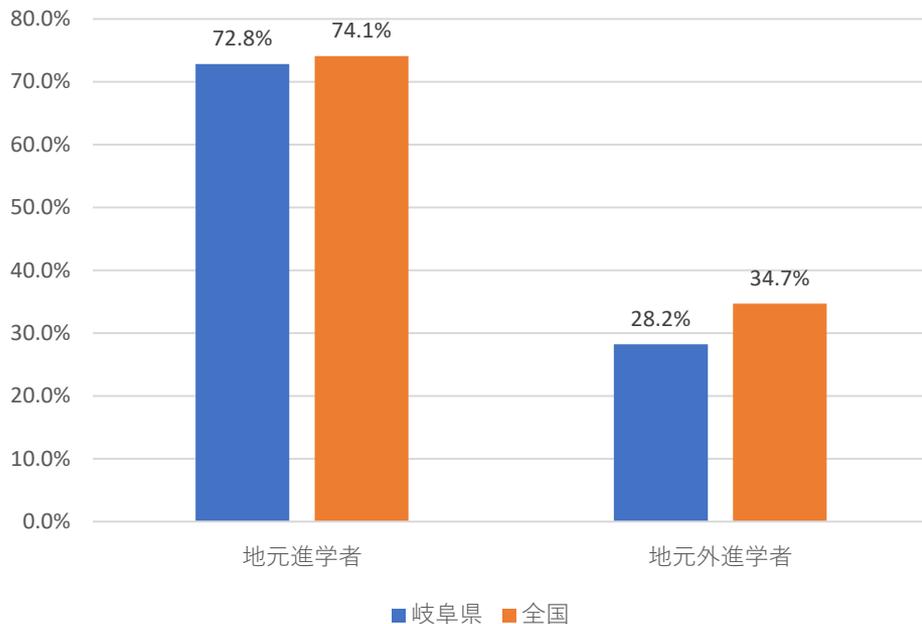
（注2）Daron Acemoglu, David Autor "Skills, Tasks and Technologies: Implications for Employment and Earnings" (2010)を参考に職業を分類。前頁の米国の分析と異なり、職業者数のシェア変化であること、全年齢が対象であること、清掃・警備職には自衛官を含む（米国は軍人を除外）ことに留意。

（出所）総務省「国勢調査」を基に経済産業省が作成。

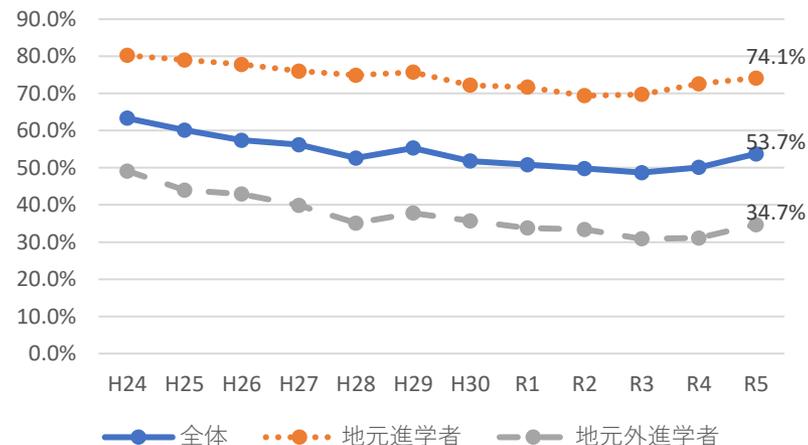
# 地元・地元外進学者の就職希望状況

他県に進学した学生は地元への就職希望が低い（＝地元に進学した学生は地元へ就職希望が高い）

## 最も就職したい都道府県が出身地である割合



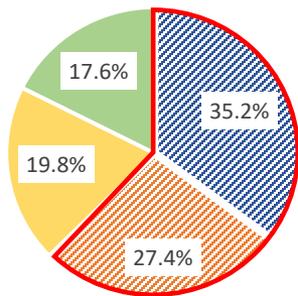
## 全国の経年変化



# 地元・地元外進学者の就職希望状況

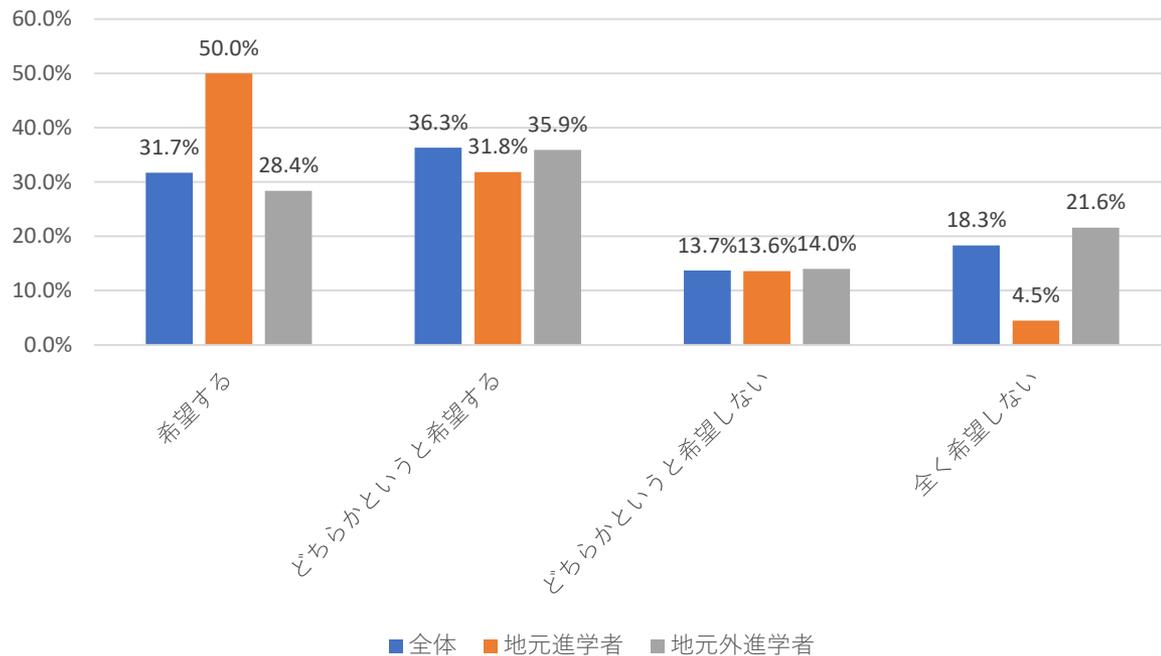
ある程度、地元就職希望がある場合も、地元への進学者ほど思いが強い

全国の希望状況



希望する  
 どちらかという希望しない  
 どちらかという希望する  
 全く希望しない

岐阜県内高校出身者の地元就職希望状況（内訳）



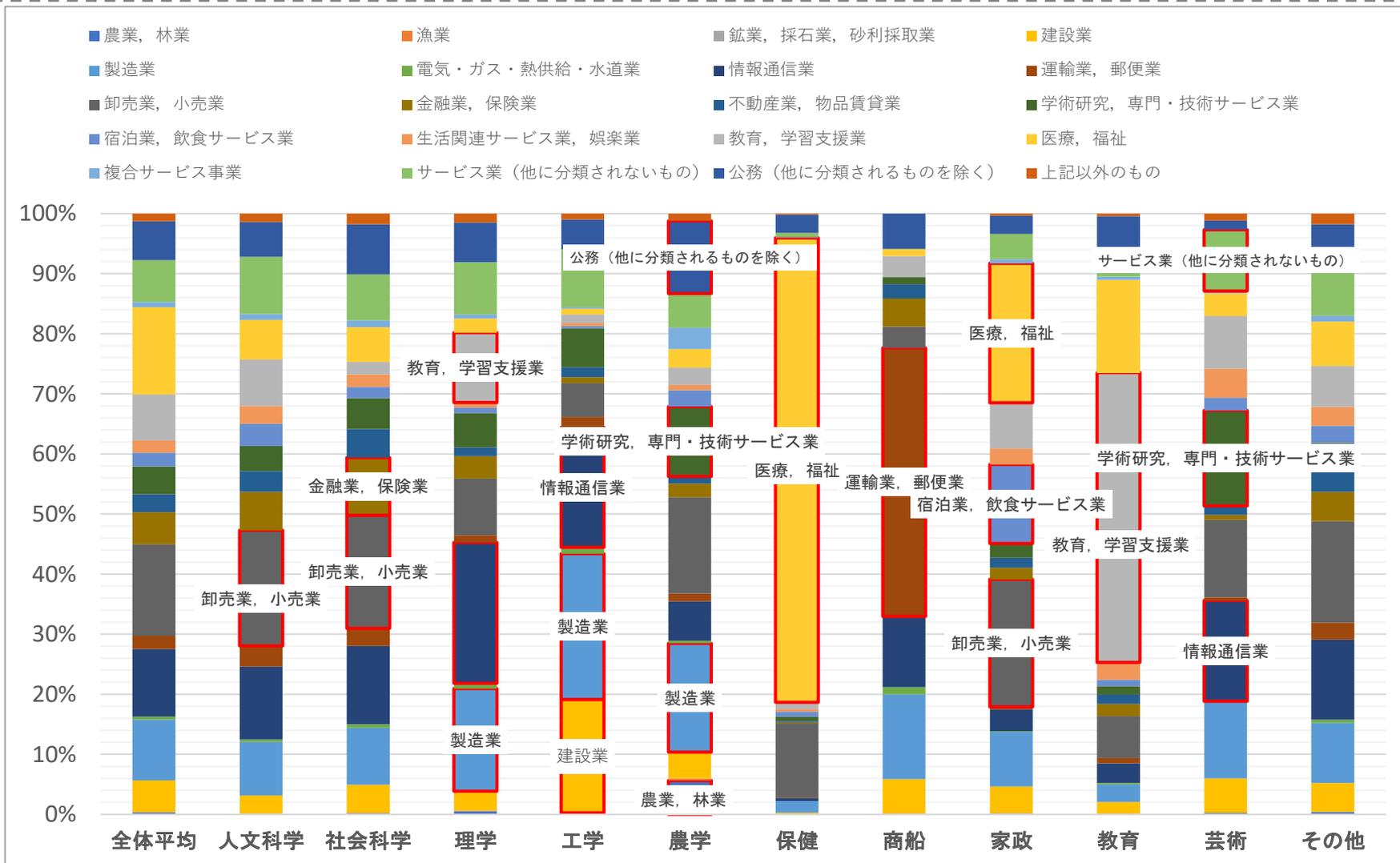
マイナビ2023年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査より作成

求められる能力や学問分野



# 各学部分類別の就職先産業分類比率 (R4)

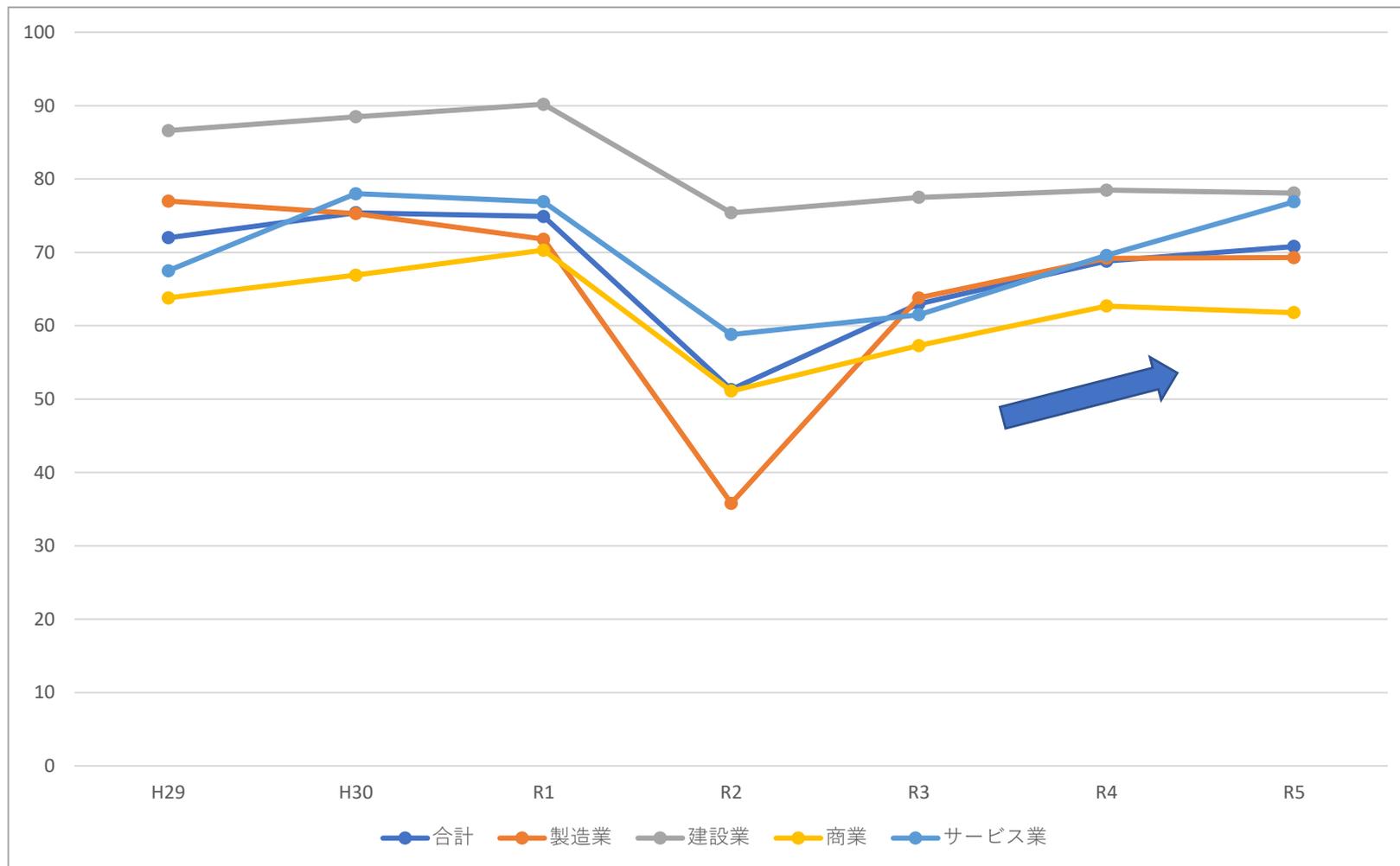
岐阜市の産業で従業員が多い分野（卸売業・小売業、金融・保険業、教育学習支援、医療・福祉）への就職比率が高いのは、人文科学・社会科学、保健、家政など



●●業 = 全体平均より比率が比較的高い分類 (全体平均と比較して構成比率が+3%以上を抜粋)

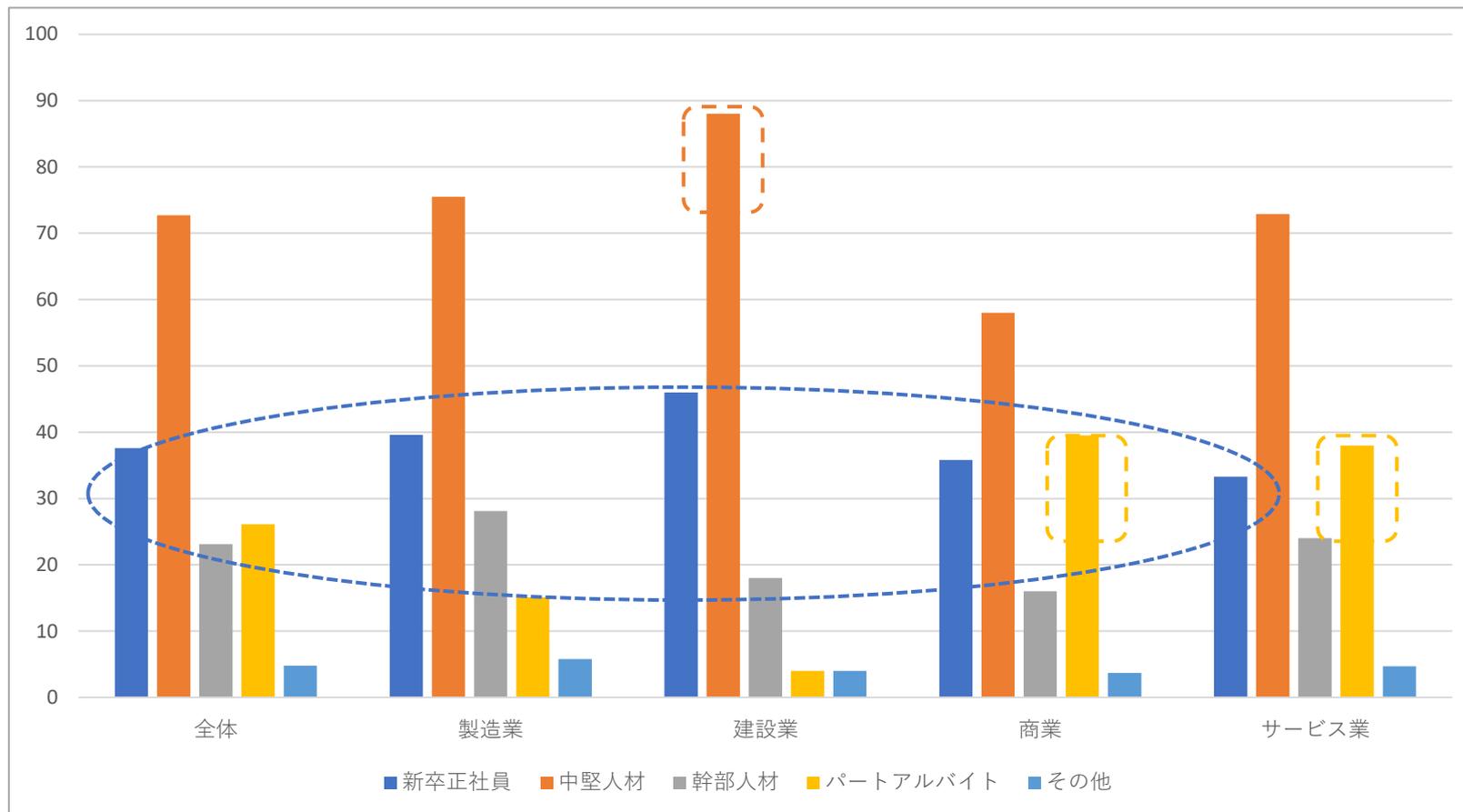
# 岐阜県内の業種別人材不足感

どの業種でも人材不足の割合が高まりつつある（特にサービス業で不足企業の割合が高まってきている）



# 岐阜県内の不足人材区分 (R5)

どの業種でも新卒正社員は一定の不足。  
商業、サービス業ではパートアルバイト、建設業では中堅人材が高め。



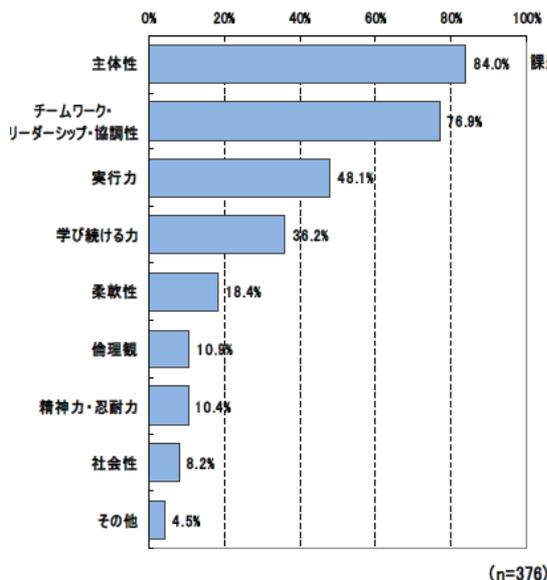
# 企業が大卒者に特に期待する資質等

(日本経済団体連合会 「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」より)

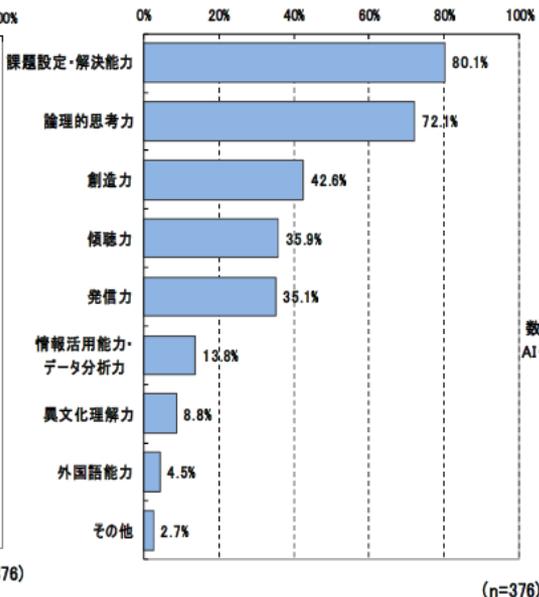
## 1. 採用の観点から、大卒者に特に期待する資質・能力・知識

- 特に期待する資質として、回答企業の約8割が「主体性」、「チームワーク・リーダーシップ・協調性」を挙げた。変化の激しい人生100年時代を迎え、「学び続ける力」と回答した企業が4割近い。
- 特に期待する能力として、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「創造力」が上位。いずれもSociety 5.0において求められる能力として、産学協議会で産学間で認識が一致したもの。
- 特に期待する知識として、「文系・理系の枠を超えた知識・教養」が最も多く、リベラルアーツ教育や文理融合教育を重視した教育の実践が重要。専門教育の重要性も認識。

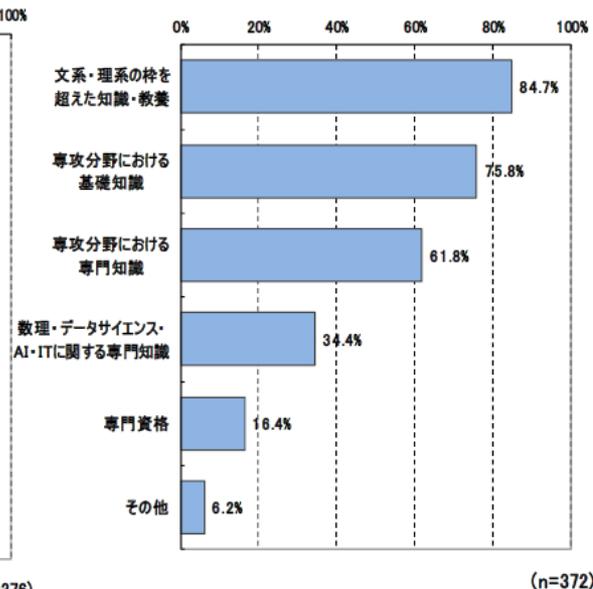
<特に期待する資質>



<特に期待する能力>



<特に期待する知識>



注: 資質・能力・知識についてそれぞれ3つまで選択可能

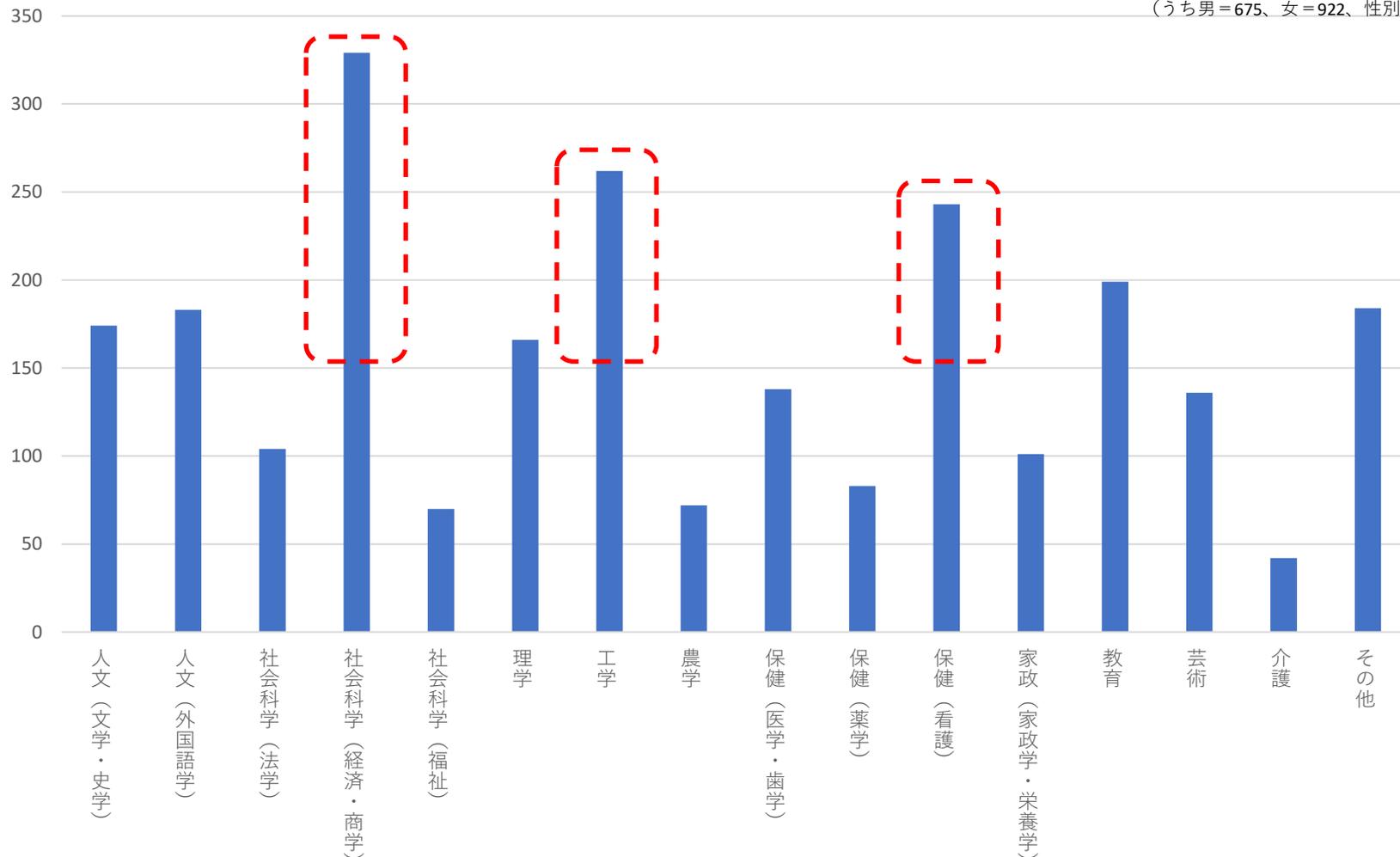
# 岐阜市周辺の高校生が志望する学問分野 (R3)

社会科学系（経済・商学）を志望する学生が多い

※複数回答可

県内高校10校（岐女短の受験の多い学校）2年生 有効回答 = 1646

（うち男 = 675、女 = 922、性別無回答 = 49）

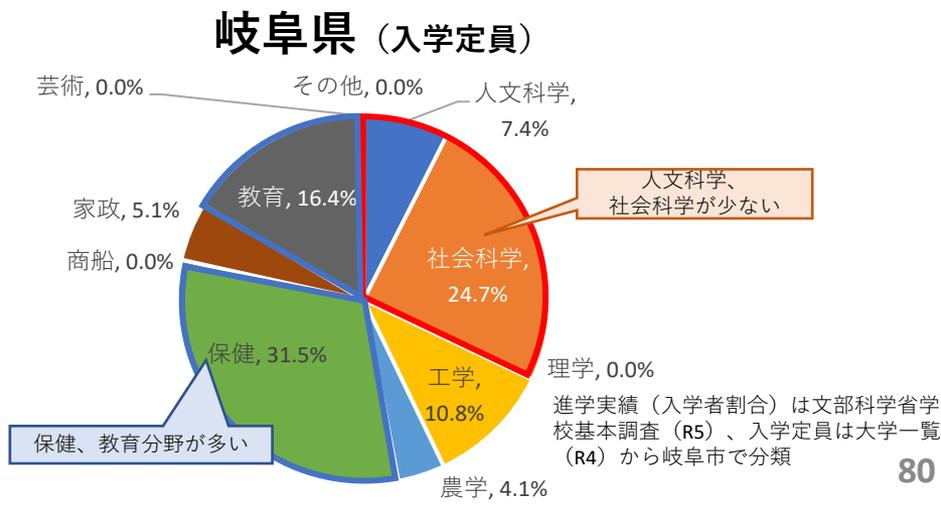
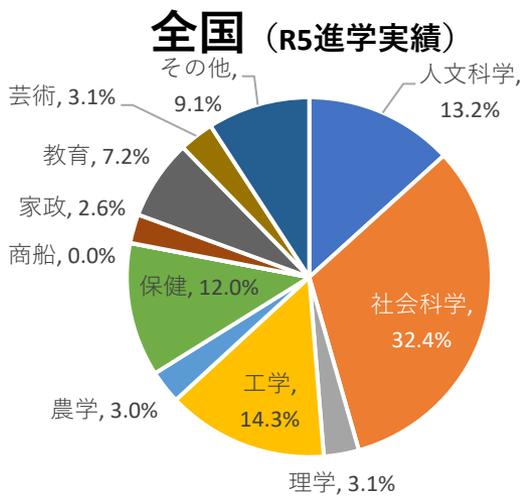


# 岐阜県内大学の学部分布

一般的な進学割合（全国）と比較してみた場合、保健分野は県内で多く提供されている一方、社会科学系は提供が少ない。

学部分類	大学	学部分類	定員	大学	学部分類	定員	大学	学部分類	定員	大学	学部分類	定員	大学	学部分類	定員			
人文科学	岐阜	地域科学部(地域文化学)	50	岐阜女子	文化創造学部	160	岐阜聖徳	外国語学部	150									
社会科学 (法律経済) (福祉・心理)	岐阜	地域科学部(地域政策学)	50	岐阜	社会システム経営学環	30	中京学院	経営学部	150	岐阜協立	経済学部	130	岐阜協立	経営学部	220	朝日	経営学部	100
	朝日	法学部	80	岐阜聖徳	経済情報学部	150												
	東海学院大学	健康福祉学部(総合福祉)	80	東海学院大学	人間関係学部(心理学)	120	中部学院	人間福祉学部	100									
理学																		
工学	岐阜	工学部	530															
農学	岐阜	応用生物科学部	200															
保健 (医学) (看護) (その他)	岐阜	医学部(医学)	110															
	岐阜	医学部(看護)	80	岐阜県立看護	看護学部	80	中京学院	看護学部	80	岐阜協立	看護学部	80	朝日	保健医療学部(看護)	80	岐阜聖徳	看護学部	80
	中部学院	看護リハビリテーション学部(看護)	80	岐阜医療科学	看護学部	100	岐阜保健	看護学部	80									
	岐阜薬科	薬学部	120	朝日	歯学部	140	中部学院	看護リハビリテーション学部(理学療法)	60	岐阜医療科学	保健科学部	180	岐阜医療科学	薬学部	100	岐阜保健	リハビリテーション学部	90
商船																		
家政	岐阜女子	家政学部	170	東海学院	健康福祉学部(健康栄養)	80												
教育	岐阜	教育学部	220	岐阜聖徳	教育学部	330	朝日	保健医療学部(健康スポーツ)	120	中部学院	教育学部	80	中部学院大学	スポーツ健康科学部	80	東海学院大学	人間関係学部(子ども発達)	50
芸術																		
その他																		

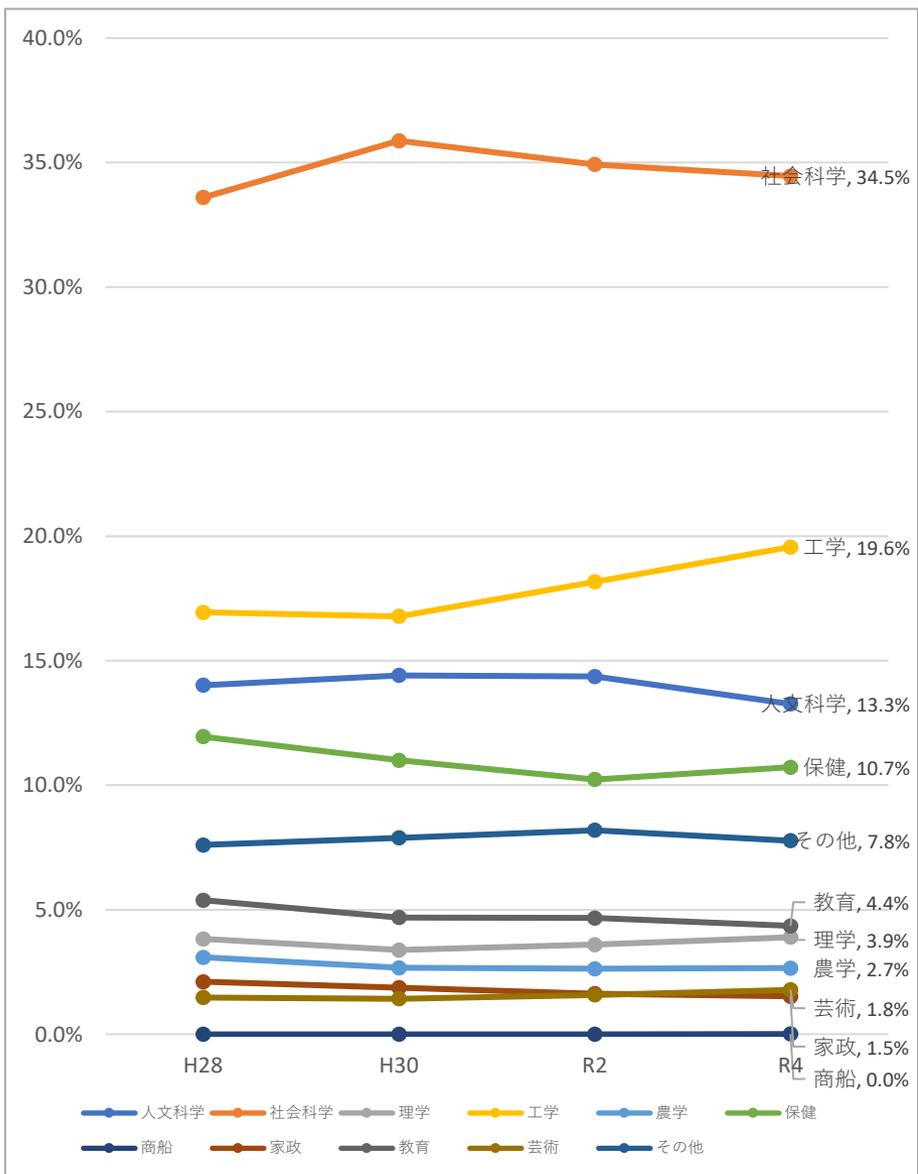
	全国の大学 入学者割合	県内大学の 定員割合
人文科学	13.2%	7.4%
社会科学	32.4%	24.7%
理学	3.1%	0.0%
工学	14.3%	10.8%
農学	3.0%	4.1%
保健	12.0%	31.5%
商船	0.0%	0.0%
家政	2.6%	5.1%
教育	7.2%	16.4%
芸術	3.1%	0.0%
その他	9.1%	0.0%



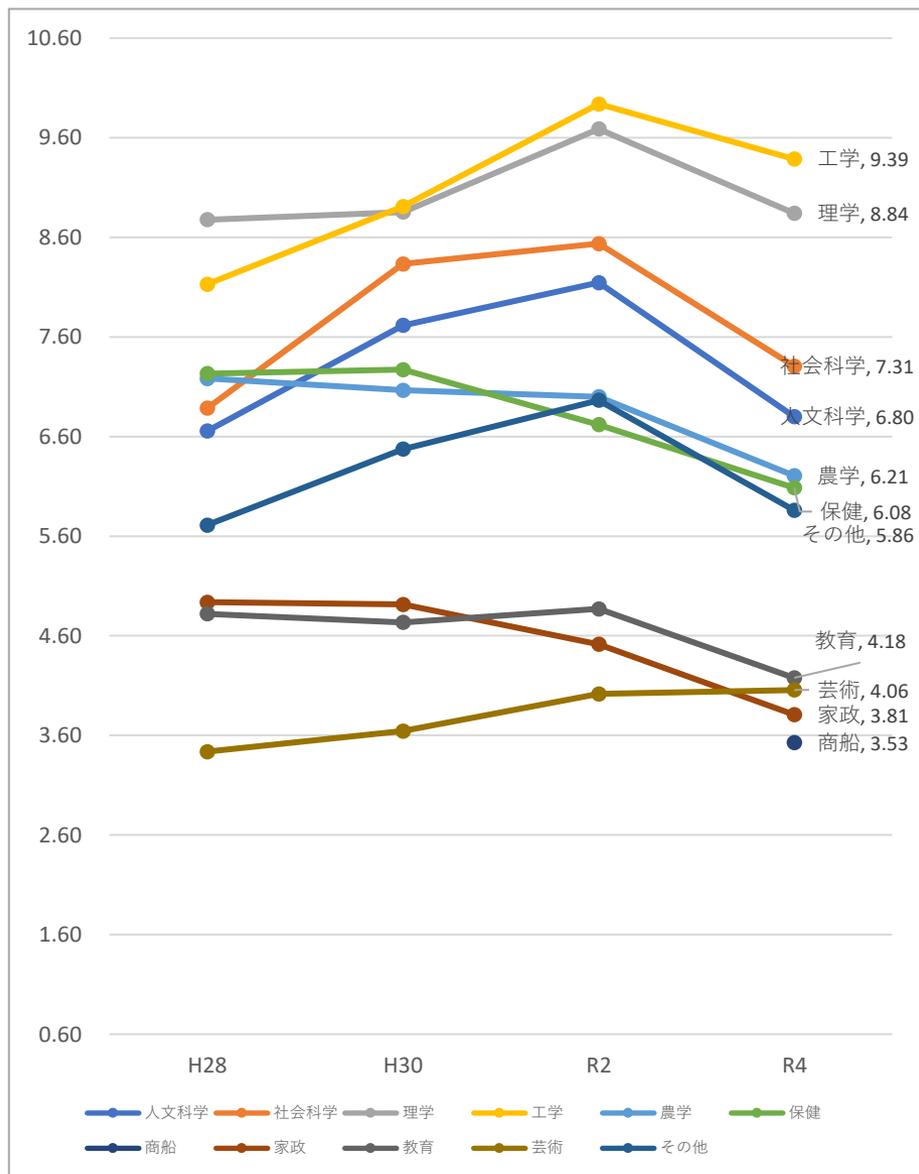
進学実績（入学者割合）は文部科学省学校基本調査（R5）、入学定員は大学一覧（R4）から岐阜市で分類

# 全国の大学の学部分類別志願者数の推移

## 全志願者数に占める分類別比率



## 倍率 = 志願者数 / 入学者数

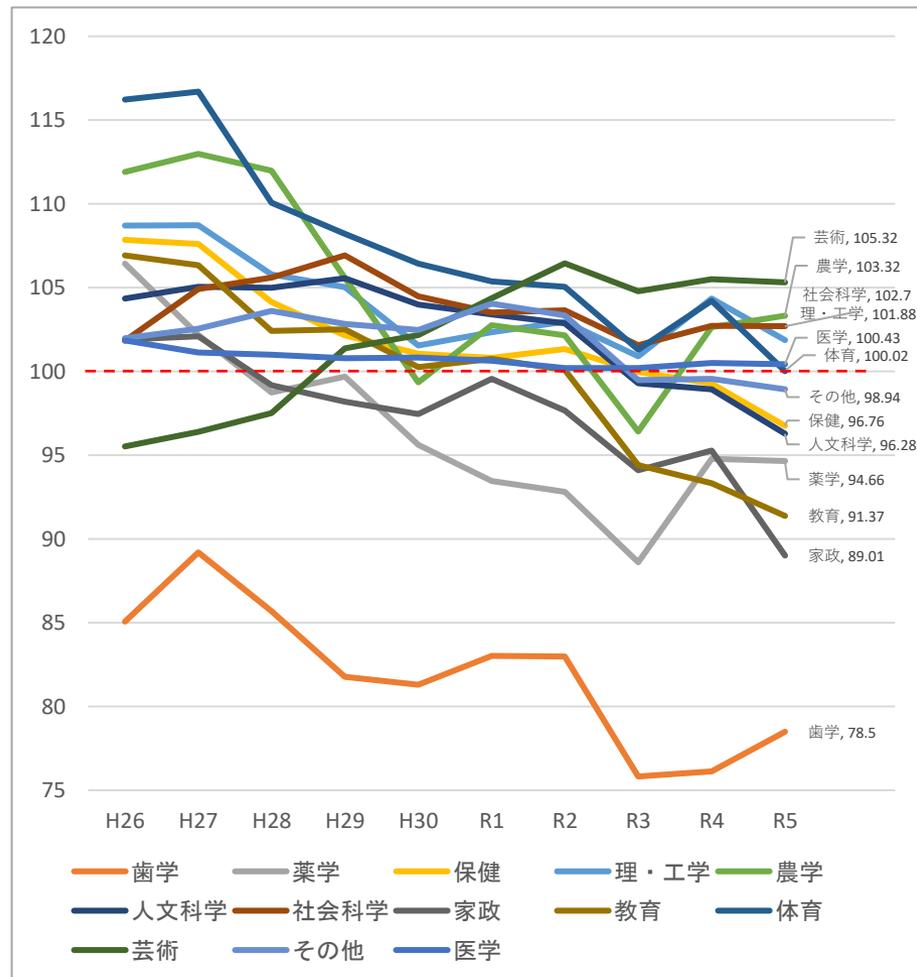
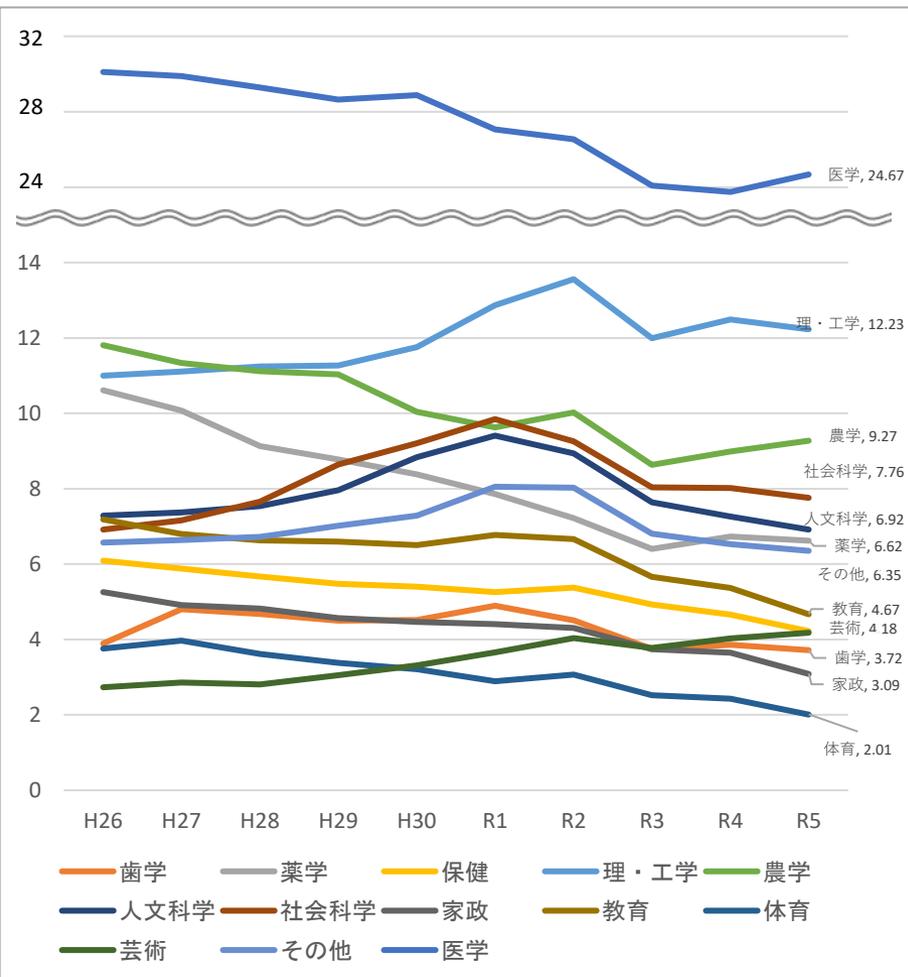


# 全国の私立大学の学部系統別志願倍率と充足率

理・工学の志願倍率が上昇傾向の一方、教育、家政は減少傾向  
 人文科学、社会科学は志願倍率はともに増減しているが、充足率としては社会科学が  
 堅調な一方、人文科学は近年、**100%**を切っている

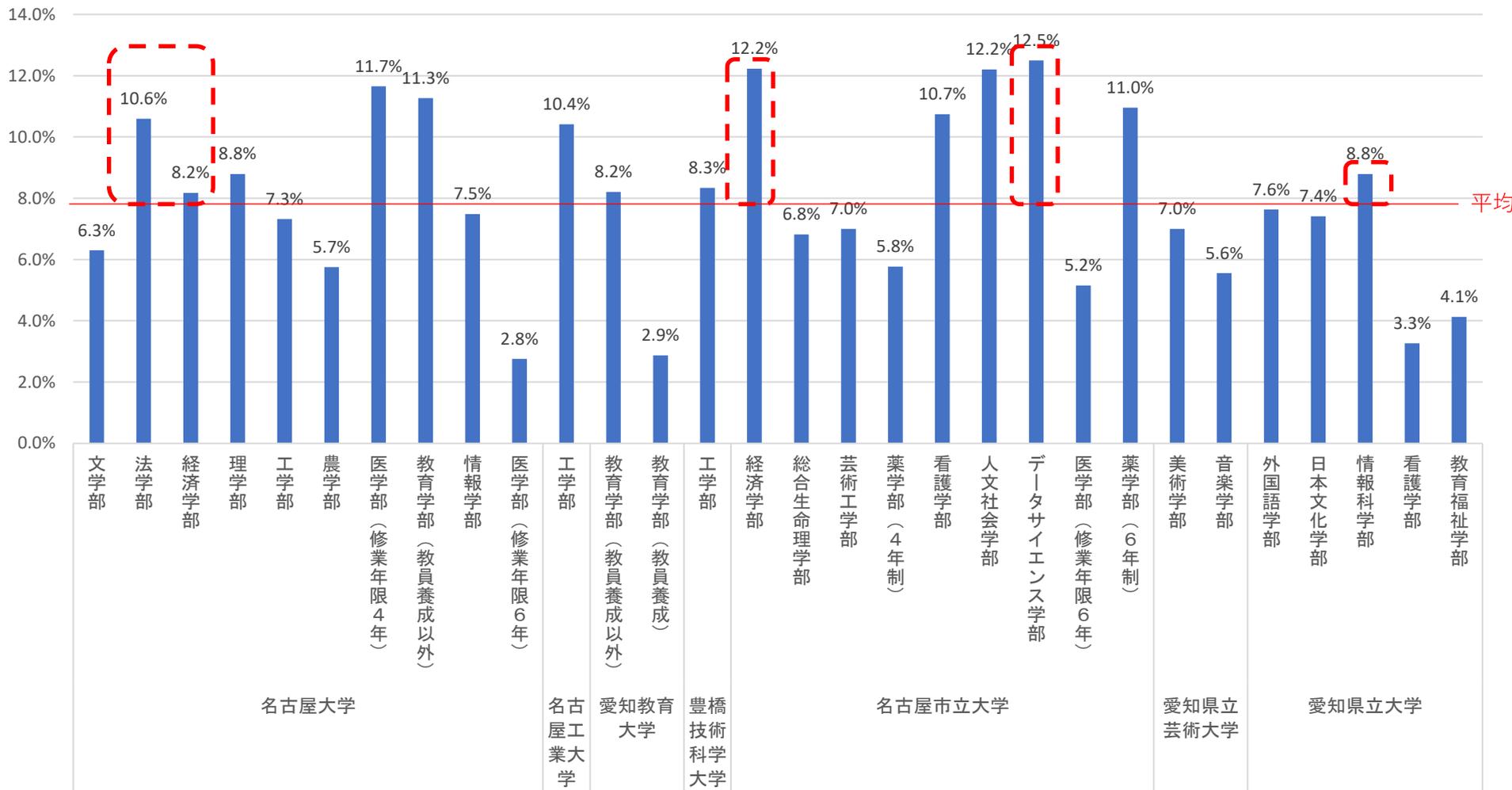
志願倍率

充足率



# 愛知県の国公立大学における岐阜県出身者比率 (R4)

大学により、差がみられるが  
経済・経営・情報系は他の系統より岐阜県出身者が高い傾向



# 高度な能力育成の必要性

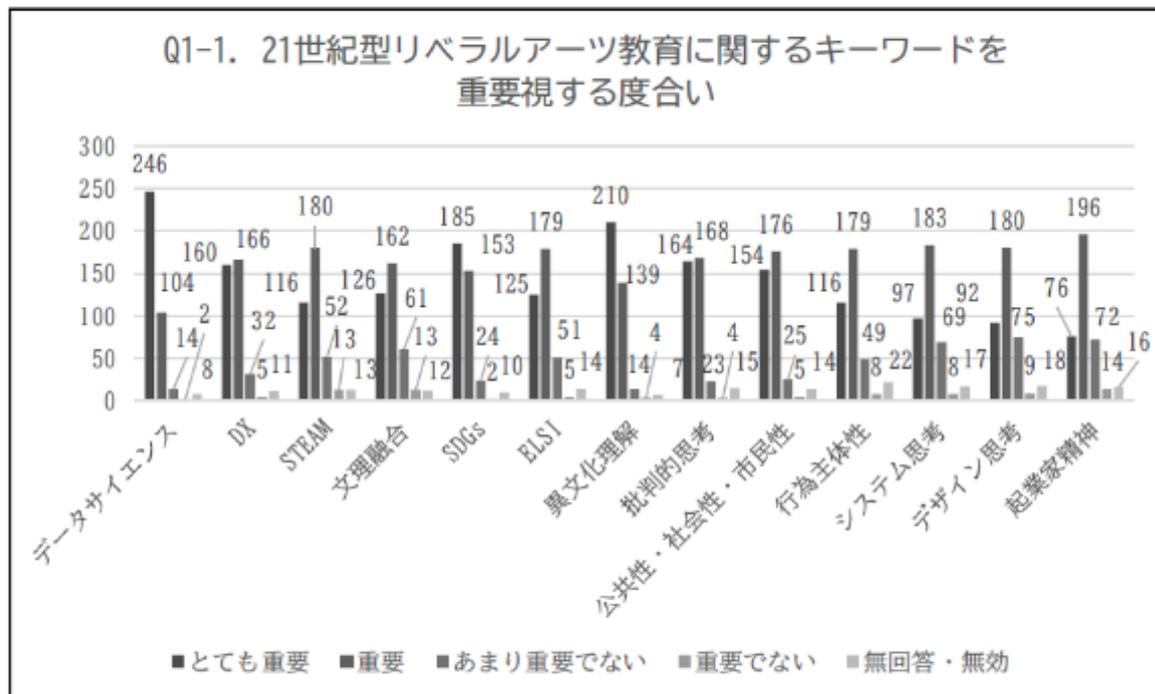
各専門分野の教育に加え、**学生共通の教養教育**として重視される事項は、従来のリベラルアーツだけでなく、**デジタル(DX)、STEAM、SDGs、起業家精神（アントレプレナーシップ）**など多様化。

## 【現代の諸課題に対応する上で重視される能力・資質】

大学基準協会から全国の国公立大学宛てに、21世紀の諸課題に対応する上で重要な能力・資質の教育を「21世紀型リベラルアーツ教育」と称して調査したところ、多様な能力が重視されている状況が見られる。

Q1-1. 貴大学において重要視する度合いを選択肢より選んで回答してください。

回答数 374 件



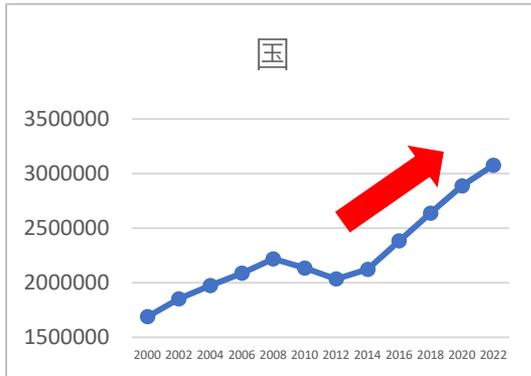
（令和5年3月（公財）大学基準協会「学士課程教育における現代社会で求められている課題に対応する能力育成に関する調査研究報告書」）

図 2-1-1. 【キーワードを重要視する度合い】 回答数

# Society 5.0で求められる能力と資質（国際コミュニケーション）

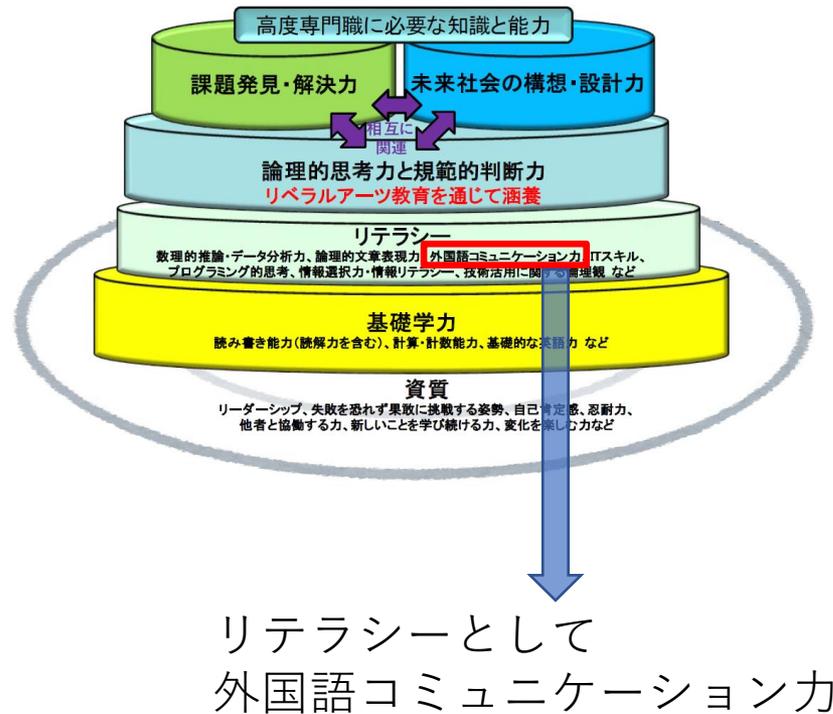
在留外国人は増加傾向にあり、グローバル社会において、幅広い分野での国際コミュニケーション能力は求められていく可能性がある

在留外国人数の推移（国・市）



出入国在留管理庁「在留外国人統計」より作成

（日本経済団体連合会 提言書  
「新しい時代に対応した大学教育改革の推進 -  
主体的な学修を通じた多様な人材の育成に向けて -」 2022. 1より）

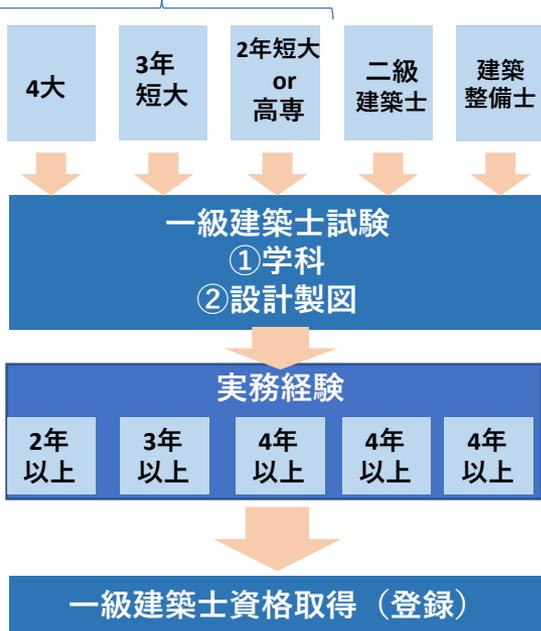


# 一級建築士受験資格を得られる大学・短大（東海地方）

岐女短は建築士を目指すことのできる県内では数少ない大学・短大の一つ

## 一級建築士資格取得の流れ

指定科目を修めて卒業



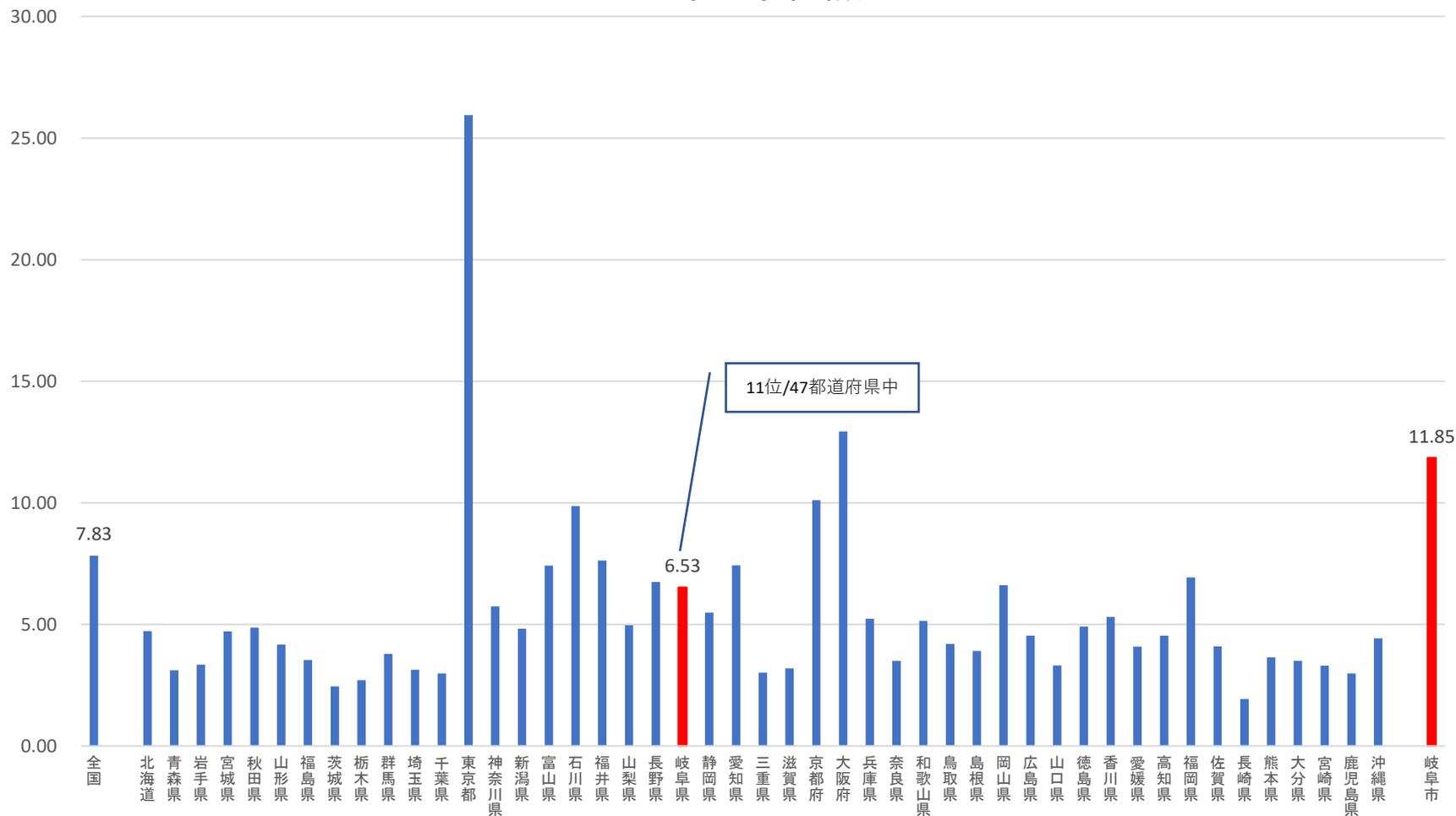
## 東海地方で一級建築士受験資格を得られる大学短大

地域	学校名・学部学科等
岐阜県	岐阜女子大学 家政学部 生活科学科 住居学専攻
	岐阜市立女子短期大学 デザイン環境学科 建築・インテリア領域
愛知県	豊橋技術科学大学 工学部 建築・都市システム学課程
	名古屋大学 工学部 環境土木・建築学科 建築学プログラム
	名古屋工業大学 工学部 社会工学科 建築・デザイン分野
	名古屋工業大学 工学部 創造工学教育課程 建築・デザイン
	公立大学法人名古屋市立大学 芸術工学部 建築都市デザイン学科
	愛知産業大学 造形学部 建築学科
	愛知産業大学 通信教育部造形学部 建築学科
	金城学院大学 生活環境学部 環境デザイン学科
	椋山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科
	名古屋造形大学 造形学部 造形学科 建築・インテリアデザインコース
	名古屋造形大学 造形学部 造形学科 地域社会圏領域
	名古屋造形大学 造形学部 造形学科 空間作法領域
	名城大学 理工学部 建築学科
	名城大学 理工学部 環境創造工学科
	愛知淑徳大学 創造表現学部 創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻
	大同大学 工学部 建築学科 建築専攻
	大同大学 工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻
	中部大学 工学部 建築学科
	日本福祉大学 健康科学部 福祉工学科 建築バリアフリー専修
	名古屋女子大学 家政学部 生活環境学科
愛知工業大学 工学部 建築学科 建築学専攻	
愛知工業大学 工学部 建築学科 住居デザイン専攻	
三重県	三重大学 工学部 総合工学科 建築学コース
	三重短期大学 生活科学科 生活科学専攻
静岡県	静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科
	静岡理工科大学 理工学部 建築学科

# デザイン業の事業所数 (人口10万人あたり) (R3)

岐阜県には、デザイン業の事業所が多い。特に岐阜市内には集積している。

人口10万人当たり事業所数

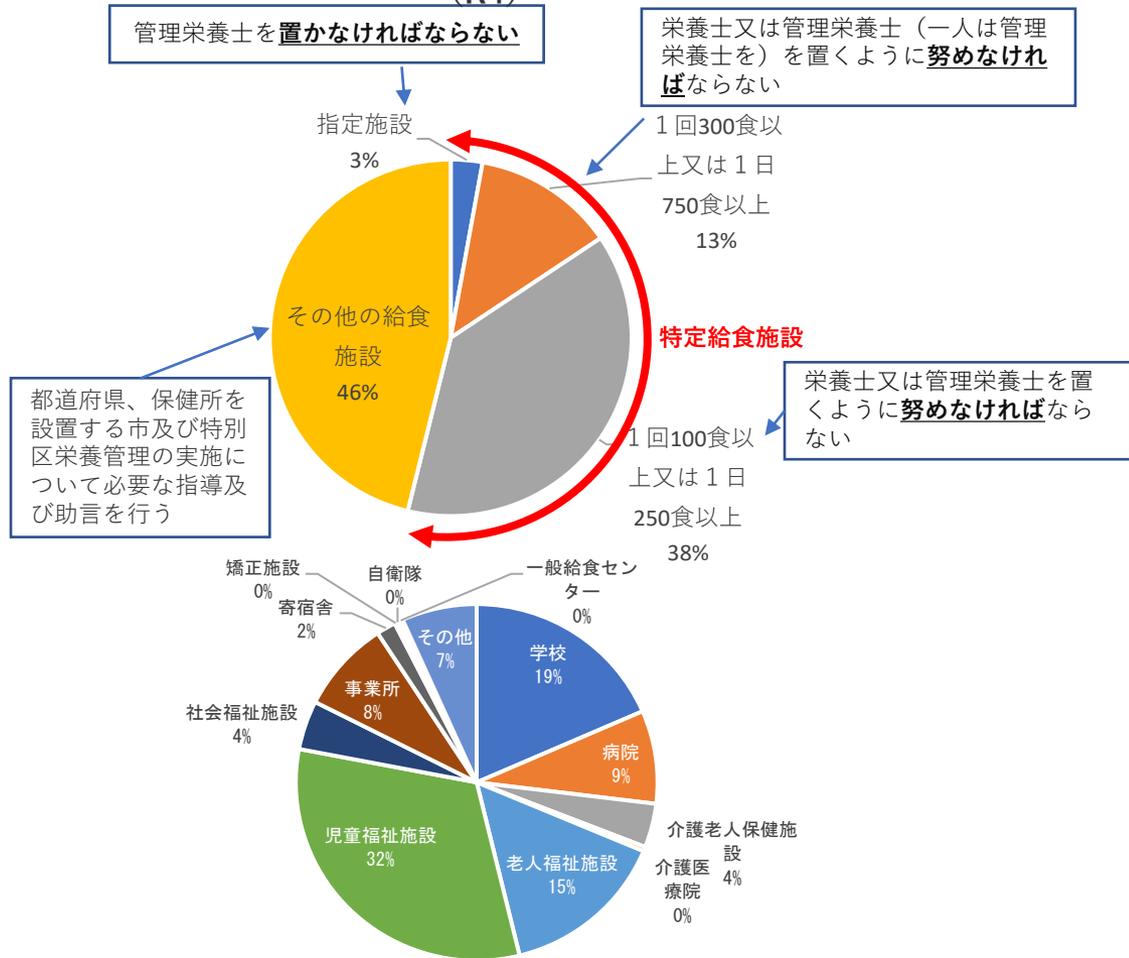


11位/47都道府県中

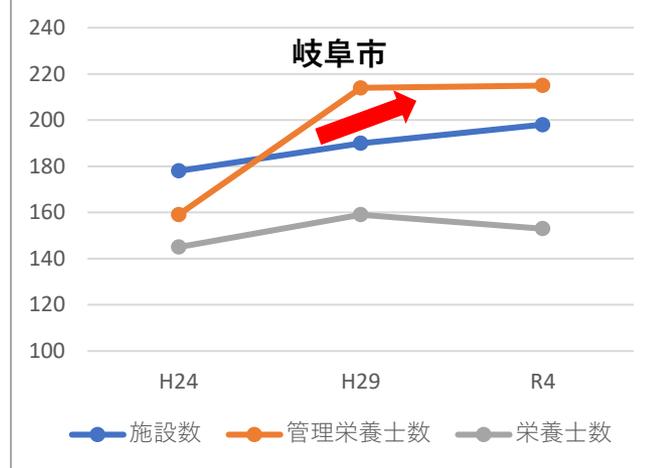
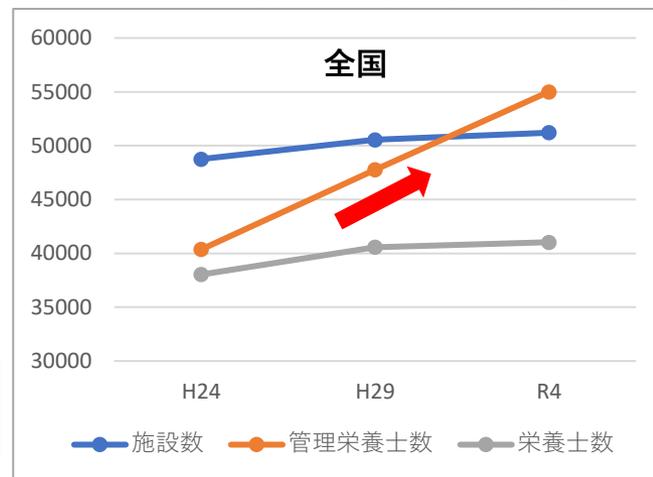
# 給食施設における管理栄養士・栄養士の状況

健康増進法において、特定給食施設における栄養管理が定められており、施設の増加とともに、特定給食施設における管理栄養士数は増加

給食施設の種類 (全国)  
(R4)



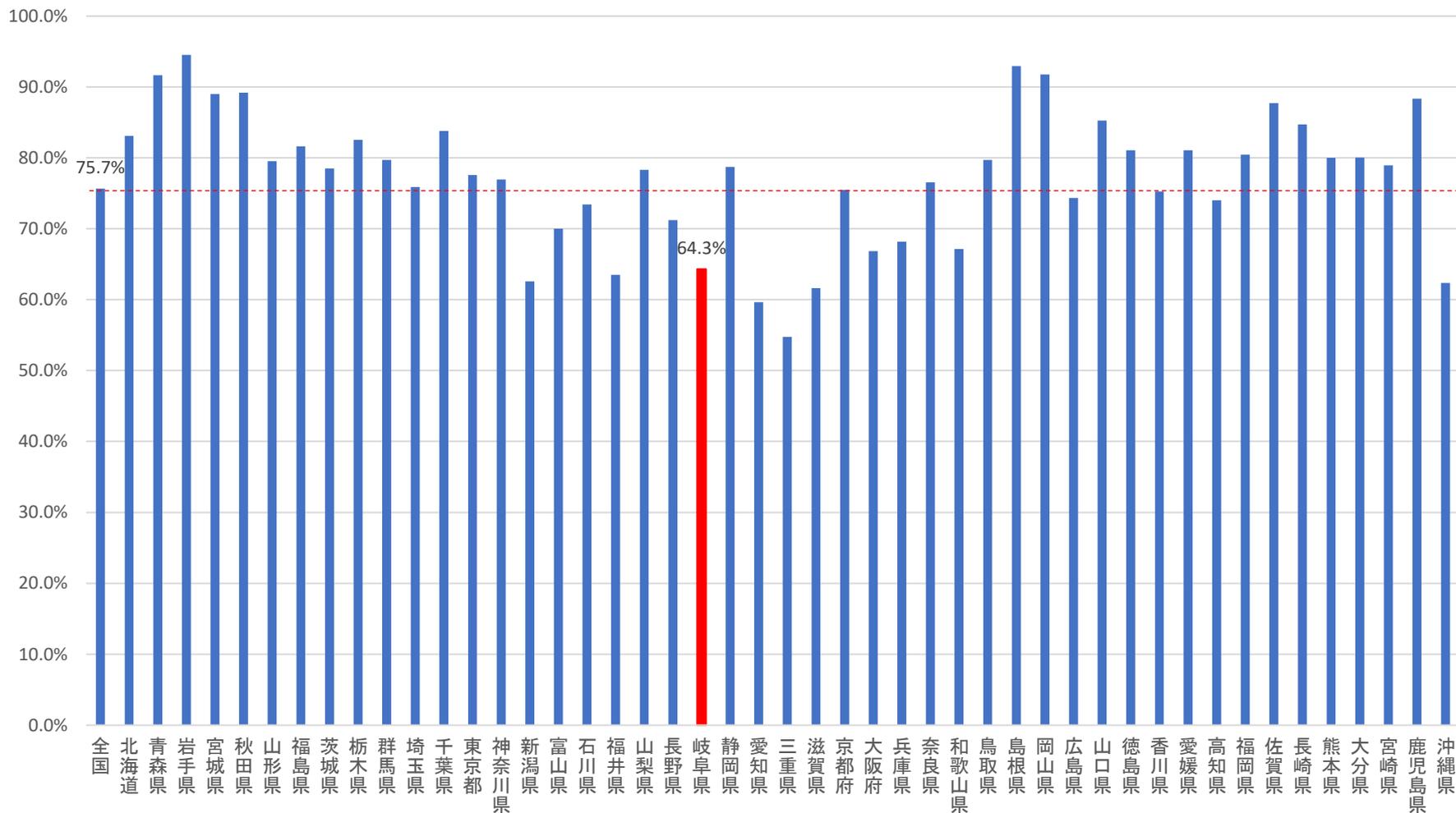
特定給食施設における  
管理栄養士・栄養士数の変化



【参考 健康増進法】  
(特定給食施設における栄養管理)  
第二十一条 特定給食施設であって特別の栄養管理が必要なものとして厚生労働省令で定めるところにより都道府県知事が指定するものの設置者は、当該特定給食施設に管理栄養士を置かなければならない。  
2 前項に規定する特定給食施設以外の特定給食施設の設置者は、厚生労働省令で定めるところにより、当該特定給食施設に栄養士又は管理栄養士を置くように努めなければならない。  
3 特定給食施設の設置者は、前二項に定めるもののほか、厚生労働省令で定める基準に従って、適切な栄養管理を行わなければならない。

# 特定給食施設における管理栄養士・栄養士の設置比率 (R4)

岐阜県では管理栄養士・栄養士が設置されている割合が全国平均に比べ低い



## 地域連携・機関間連携

# 地域社会が求める人材

産業の担い手不足が課題  
既存産業や創業・企業の支援に取り組んでいる

## (ii) 雇用に関する問題

・市内事業所（1,128事業所）へのアンケート結果では、雇用に関する問題を抱える事業所は全体の84.8%に上り、「人材確保」や「従業員の高齢化」を問題と認識している事業所が多いことがわかります。

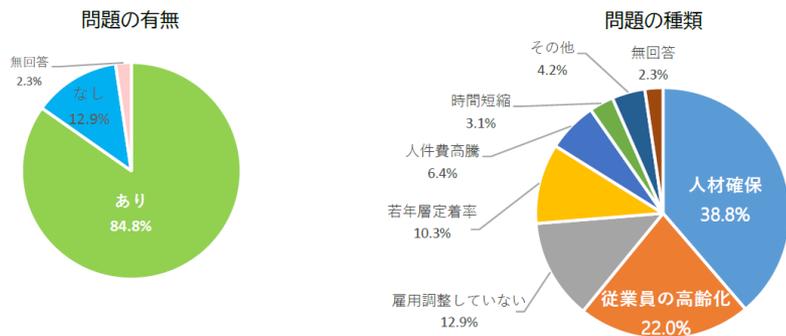


図15 市内事業所の雇用に関する問題  
【出典:令和2年度 岐阜市「労働実態調査」】

岐阜市産業振興ビジョン

## (vii) 創業比率の推移

・本市の創業比率<sup>17)</sup>は岐阜県平均より高いものの、全国平均を下回っています。  
(平成26～28年…岐阜市:4.46%、岐阜県平均:4.36%、全国平均:5.04%)

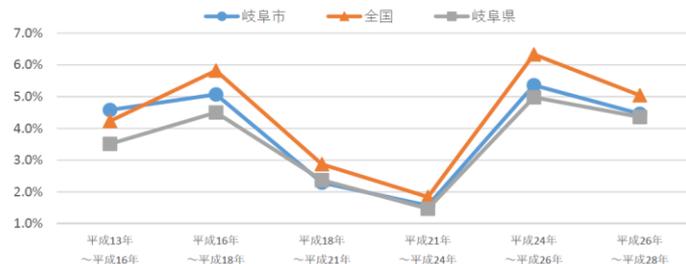


図24 創業比率の推移  
【出典:内閣官房「地域経済分析システム」】

岐阜市産業振興ビジョン

## ■ 施策の基本的方向

### 魅力あるしごとにつながる地域産業の競争力強化

市内企業の生産性の向上を図り、競争力を強化することは、企業の収益力を高めるとともに、安定した収入などに反映され、労働者の満足度につながります。一方、後継者不足などに伴う廃業は、価値ある企業の減少にもつながり、働く場の減少とともに地域経済の縮小を招く恐れがあります。そこで、地場産業も含め地域産業の経営力強化を図るとともに、事業承継の促進や地域経済の新陳代謝に寄与する創業の促進を通じて、若者などの雇用を創出し、地域経済を支える力強い地域産業全体の競争力強化に努めます。

施策事項	地域への貢献/地域産業の経営力強化/新たな産業や事業の創出/企業誘致の促進/地場産業の振興/
KPI	企業などが新事業を展開しやすいまちだと思ふ人の割合 12.0%*をアップ ※2017年度実績(未来地図 KPI) 企業立地件数 3件*をアップ ※2018年度実績

SDGs

主な事業 経営改善の支援、事業承継に対する支援、事業創造の支援 など

第2期岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 民間の新しいチャレンジを応援

- 産学官連携で、AI、IoT、ロボティクス、ビッグデータなどのデジタル技術を活用したイノベーションと、人材・資金・情報の集約によるスタートアップを創出し、地域内に新たな取引関係と付加価値を生み出す
- 地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、民間活力による新たな開発手法及び農業6次産業化など新たな分野も含めた、ものづくり産業等の集積や、産学官連携によるライフサイエンス拠点形成を目指した企業誘致・立地支援を推進
- 脱炭素社会の実現に資する再生可能エネルギー関連の産業創出を促進し、エネルギーの地産地消による地域経済循環の向上など、経済と環境の好循環の実現を図る
- 将来の産業構造の変化にも適応し、新たな価値を生み出すことのできる柔軟で創造性の高い人材を育成



地域経済の活性化には、新しい産業や事業の創出が必要であるため、岐阜市では商工会議所や金融機関等と連携して「スタートアップ相談窓口」を設置し、起業意識醸成や実際の起業、その後の経営相談など、伴走型の支援を行っています。

岐阜市未来のまちづくり構想

# 岐阜市が設置する教育機関

(中学校卒業レベル以上、特別支援学校を除く)

岐阜市立の教育機関において、女子短期大学の在り方のほか、薬科大学の法人化など、将来像にかかわる議論が進行中。

こうした議論の進行も踏まえながら、地域の教育環境全体の向上に資する連携等の在り方を検討していくことが必要。

## 岐阜薬科大学



- 薬学科（6年制）、大学院を設置
- 1932年岐阜薬学専門学校として設立、1949年大学として発足
- 学生数759人（R5年度）

## 岐阜市立女子短期大学



- 国際コミュニケーション学科、健康栄養学科、デザイン環境学科（2年制）を設置
- 1946年岐阜女子専門学校として設立、1954年岐阜女子短期大学発足
- 学生数374人（R5年度）

## 岐阜市立看護専門学校



- 看護学科（3年制）を設置
- 1941年岐阜市民病院附属看護婦養成所として設立、1980年専門学校化
- 学生数109人（R5年度）

## 岐阜市立岐阜商業高校



- ビジネス情報科、ビジネス科（3年制）を設置
- 1969年設立
- 生徒数471人（R5年度）